令和5年度

持続可能な地区別まちづくり支援事業

地区別まちづくり住民ワークショップ

令和６年３月

上越市創造行政研究所

目　次

1　はじめに 1

2　持続可能な地区別まちづくり支援事業の概要 2

⑴　目的 2
⑵　本事業の特徴 2

3　年間プログラム 3

4　実施体制 3

5　実施方法 4

6　活動報告 6

第１回　活動報告 6
第２回　活動報告 12
第３回　活動報告 19
第４回　活動報告 26
成果発表会 27

参考資料（地区別データシート） 48

１　はじめに

人口減少や高齢化がますます進む中、地域コミュニティの維持や生活支援、地域内外の交流など、様々な地域課題への対応が求められています。人口の安定化をはじめ、経済の面においても、環境の面においても、地域内外の多様な人材が多様な働き方や交流、そして定住することにより、持続可能なまちづくりを進めることが重要と考えています。

私はこれまで「田園回帰 1％戦略」を提唱してきました。地域人口の 1％にあたる人々の定住・回帰が毎年積み重なれば、人口構造は着実に安定化します。また、地域で生み出された所得が地域内で循環する仕組みを強めることで、地域社会は持続可能性を確保することができます。人口減少時代においても、こうした小さな変化の積み重ねが地域の未来を切り拓く鍵になると考えています。

そこで今年度、大島、浦川原、牧の3区をモデル地区に選定し、地域の現状・課題を整理し、地域が持続可能であるための将来像を考え、定住促進に向けた課題やアイデアを検討する住民ワークショップを行いました。

本書では、住民自らが人口診断や定住推進策を試みる住民ワークショップの実例と、人口シミュレーションによる地域人口の「人口安定化シナリオ」（定住目標）の設定や、「地元関係図」・「地元天気図」による現状把握から定住を実現していく地域の進化形のあり方、定住促進の取組を考える上でのポイント等、そして定住戦略を策定するための考え方、手法などをまとめています。ぜひ、参考にしていただき、それぞれの地域でご活用ください。

藤山　浩　上越市創造行政研究所　所長

1959 年、島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士（マネジメント）。島根県中山間地域研究センター等を経て 2017 年に一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所を設立し、所長を務める。2023 年 4 月から上越市創造行政研究所長を兼任

総務省地域力創造アドバイザー他、国・県委員多数。専門は、中山間地域政策、未来社会論、地域計画、地域分析（人口・経済）、地域づくり支援。著書に「田園回帰１％戦略」、「循環型経済をつくる」、「小さな拠点をつくる」、「日本はどこで間違えたのか」など

2　持続可能な地区別まちづくり支援事業の概要

⑴　目的

・持続可能な上越市とするため、環境・経済・社会いずれの面においても住みやすいまちをつくり、人口の安定化を目指す。

・市内各地区での持続可能なまちづくりに向けて、地域住民と行政職員が協働によって地域の現況を学習し、課題を整理し、課題解決策を検討・実施するプロセスを浸透するため、調査研究機関としての伴走型支援により地区別まちづくりのモデルを構築する。

⑵　本事業の特徴

①　定住人口の確保など、持続可能な地域づくりを目標とする

・人口、経済、社会、環境的側面において持続可能な状態とその道筋を描くことを目的とする。（地域自治はあくまでもその手段として捉える）

・そのため、中長期的な視点、バックキャスティングの思考を取り入れる。（現状の延長線上で考えるのではなく、理想の姿を描いた現状と改善箇所の検討、その実現に向けたアイデアの検討などを行う。）

②　地域経営のプロセスに基づいて設計する

・地域づくりの課題検討（CA）、方針づくり（P）、実施（D）のサイクルをつくる。

③　学び合いによる共進化を力にする

・老若男女・様々な立場の人々が参加し、前向き思考ができるようメンバー選定に最大限配慮する。

・市に対する要望や陳情ではなく、地区同士の学び合いによる共進化を促進する。

④　人材・組織づくりを念頭に置く

・職員に対しては、事業の推進に必要な基本的な考え方や手法についての研修を実施するほか、資料の共同作成を通じたOJTなどにより、能力強化を図る。

・地域住民に対しては、具体的な取組課題を地域住民と共に抽出することにより、結果としての人材発掘や組織形成を目指す。

・このことに対し、自治体シンクタンクとして伴走支援を行う。

3　年間プログラム

日　時	会場	内　容
職員研修 10 月 20（金） 9:30～ 11:30	浦川原地区 公民館	**地域の人口分析と地元天気図の作成** ○座学 ○地域人口、就農人口の予測シミュレーション ○地元天気図作成のシミュレーション
3 区合同 11月 13（月） 18:30～ 20:30	浦川原地区 公民館	**地域の現状を把握する** ○藤山所長講演 ○人口安定化シナリオ、地元関係図の確認 ○地元天気図作成 ①現状課題編 定住推進に向けて、地区の強み、弱み、連携不足などの現状を「天気図」にまとめる
3 区合同 12月 11（月） 18:30～ 20:30	浦川原地区 公民館	**地域の目指す将来像を考える** ○地元天気図作成 ②課題解決編 課題を解決する地域ぐるみのつなぎ直しを具体的に「天気図」上に表現する ○具体的に取り組む 3 本柱の検討
地区別 1～2月	各区	**定住を実現するためのアイデアを出しあう** 具体的に取り組む3本柱及び可視化した地区の情報をもとに、取り組みを話合い、出された案をとりまとめる
3 区合同 3月 10 日 （日） 13:30～ 15:30	浦川原 コミュニティプラザ	**地域の未来について語る** 本年度の予測や分析、検討結果を報告。モデル地区同士で情報を共有するとともに取り組みの発表と意見交換を行う

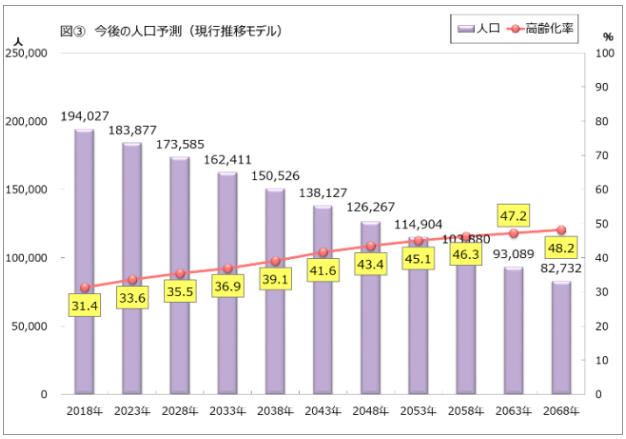
4　実施体制

所　属	体　制	役　割
モデル地区 住民	大島・浦川原・牧区住民 36 人（各 12 人） ・各区ベテランチーム（50～70 代）6 人 ヤングチーム（20 代～40 代）6 人	ワークショップ参加
総合事務所	総合事務所職員 12 人（各区 4 人）	会場準備、住民サポート、ファシリテート
藤山所長 上越市創造 行政研究所	4 人（各区担当制）	総合事務所職員サポート （当日進行、事前・事後研修）

５　実施方法

第1ステップ＝「人口分析」

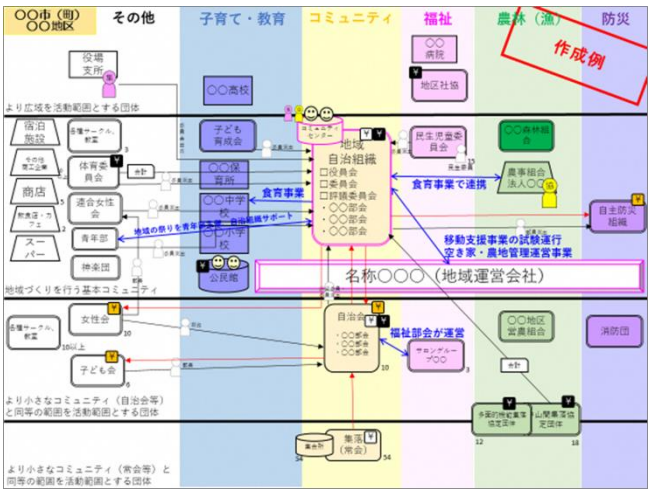
今のままでは、20代女性を中心とした人口の流出を十分に取り戻せていないために、人口減少と高齢化が急激に進行します。しかし、それぞれの地域自治区で年に現在人口の約1%の定住が実現すれば人口の安定化が見えてきます。現状や課題そして今後の推移を確かめ、その要因を考えます。そして人口安定化のためには実際にどのくらいの定住を増加させればよいか、シュミレーションし、「これならできる」と思われる定住増加目標を定めます。

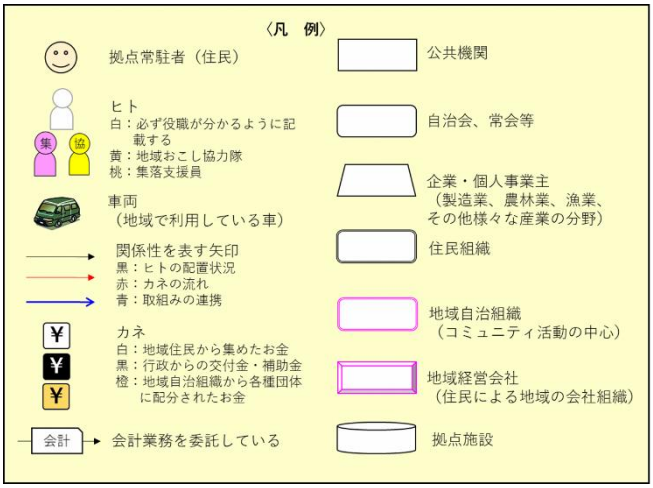


第2ステップ＝「地元関係図」の作成

様々な先行事例から、今後の地域の取り組みには、分野を横断した手法（「事業内容」、「お金の使い方」など）により、地域の仕組みも分野横断を可能にするものを目指す必要があります。

地域の仕組みを団体や人材の繋がり、お金の流れから明らかにする（＝見える化する）ことで、自分の地域の仕組みをどうしていきたいか（今の課題に取り組むためにはどうあれば良いか）を考えるための材料として活用します。





特定の地域について、団体・組織とその周辺を<u>階層（縦軸）と分野（横軸）</u>ごとに記載しそれらの関係性（ヒト・モノ・カネの関係）を地区内網羅的に図示するもの。

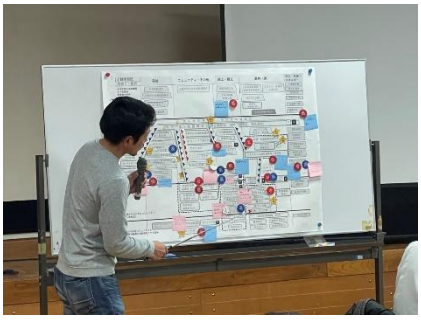
第３ステップ＝「住民 WS①」～「地元天気図」づくり

地域自治区の「地元関係図」を基に、次世代の定住を実現していく上で、現時点での強み（＝高気圧）や弱み（＝低気圧）をまとめ、わかりやすく地域の課題と可能性を「地元天気図」としてまとめ、今後の定住実現の取り組みの方向を見出していきます。地域自治区ごとに、老若男女12人（男6、女6）の住民が集まって、話合いを進めます。

①ヤング、ベテランのチームを結成

②高気圧、低気圧、台風マークを貼っていく

③グループ発表で成果を共有する



第４ステップ＝「住民 WS②、③」 ～「アイデア出し」

地域自治区ごとの人口分析や「地元天気図」を踏まえ、定住の実現に向け、地域の強みを生かし、弱みを補い、地域の人たちがいきいきと暮らすことができる具体的な取組（アイデア）を出し合い、まとめます。

地区別定住戦略の原案構成

〇人口分析
〇将来の地元天気図
〇取組の３本柱
〇具体的な取組（アイデア）案

６　活動報告

第１回 活動報告

職員研修

10/20
（金）

開催しました

テーマ 『地区まち W.S の運営手法』

場　所：浦川原地区公民館
参加者：浦川原・大島・牧区総合事務所
　　職員　12 名

開催内容

～持続可能な地区別まちづくり支援
　事業モデル地区における職員研修～

ワークショップの進め方や住民の主体性を高める手法、ポイント等を習得します

研修の流れ

9：30　講義　（講師：藤山所長）

・将来人口・就農推計の必要性と推計方法
・地元天気図（現状・未来）のつくり方と活用
・具体的な取組の検討視点（3 柱のたて方）
・住民の主体性を高めるための手法やポイント

10：00　グループワーク

各区にわかれて、地域人口・就農人口の予測シミュレーション、地元天気図（現状）の作成演習行いました。

11：00　成果発表

代表者が意見の発表を行いました。

浦川原区

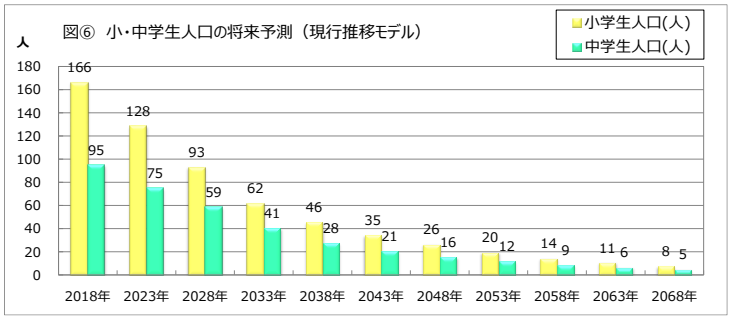
※定住増加目標は、職員が演習で作成した一例。

○定住増加目標：11 世帯 26 人/年　現在人口の0.9%（111 人に1人）

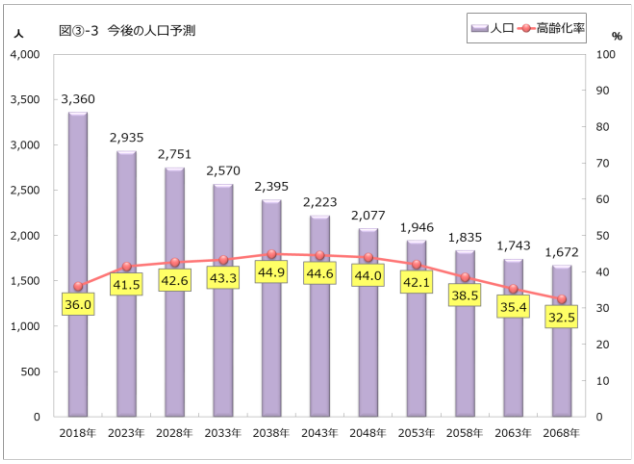
内訳：20 代男女 4 組＋30 代夫婦 4 組＋60 代夫婦 3 組

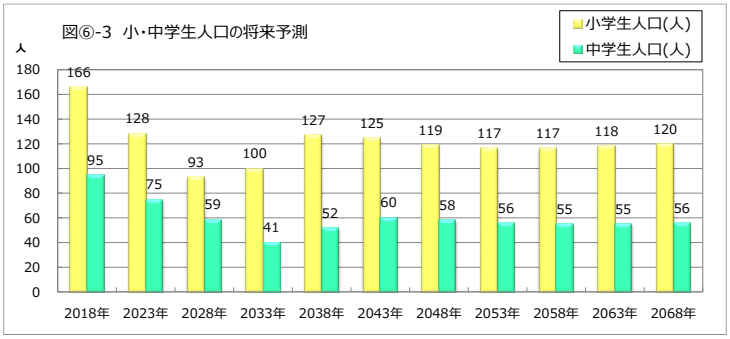
※出生率向上と流出率抑制とも連動条件

①将来予測＜現状推移シナリオ＞



②人口が安定する組み合わせのシナリオ





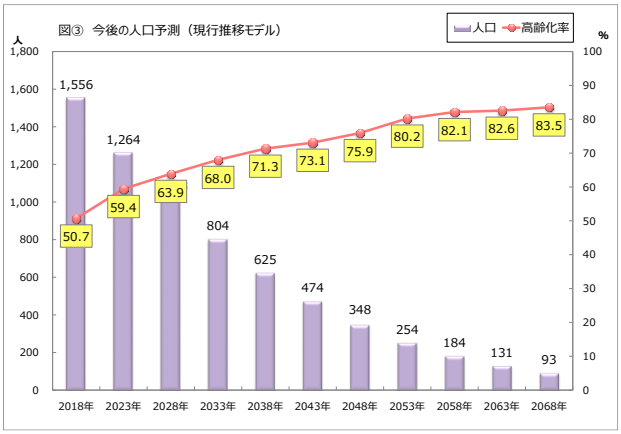
大島区

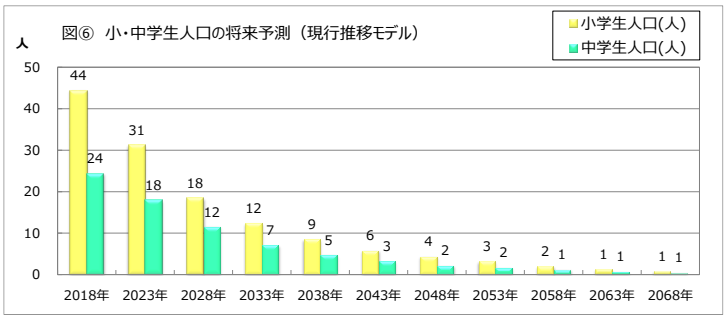
○定住増加目標：6.5 世帯 15 人/年間　現在人口の1.2%（83 人に1人）

内訳：20 代男女1組＋20 代女性 2 人＋30 代夫婦 2.5 組＋60 代夫婦 3 組

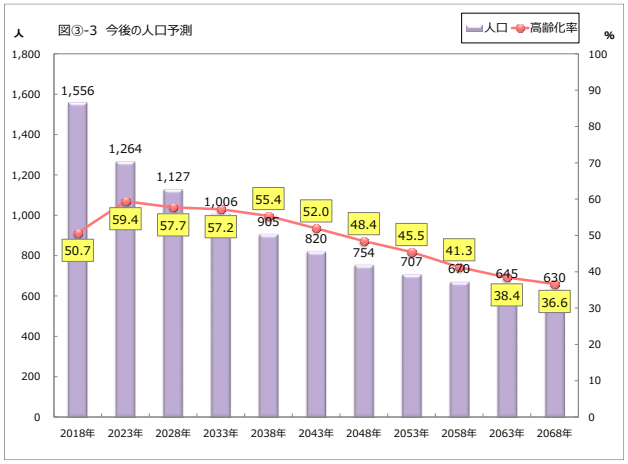
※出生率向上と流出率抑制とも連動条件

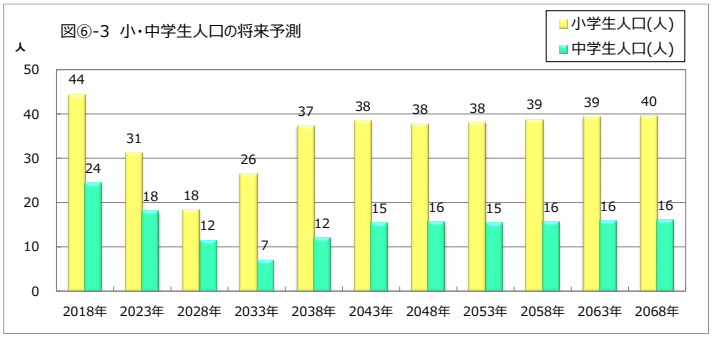
①将来予測＜現状推移シナリオ＞





②人口が安定する組み合わせのシナリオ





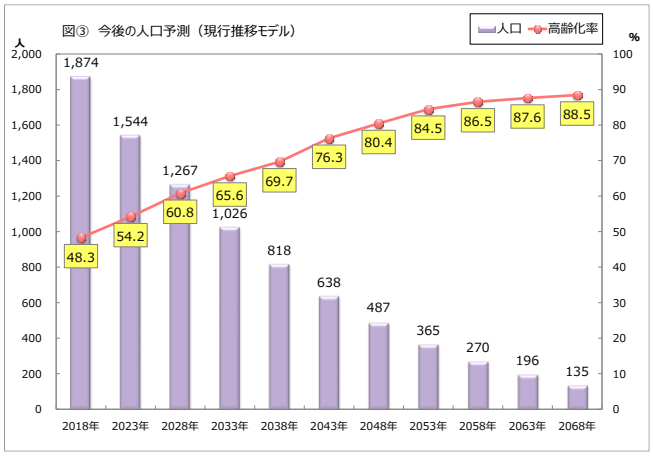
牧区

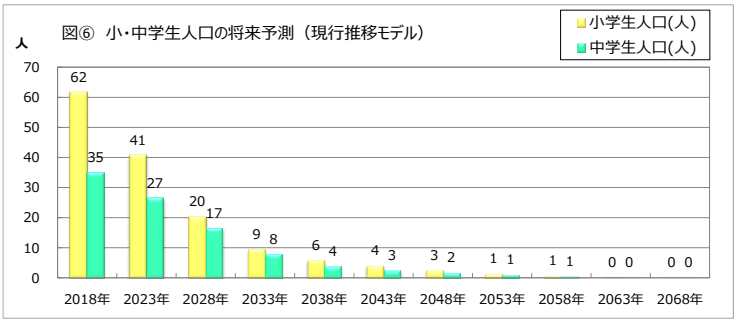
〇定住増加目標：5世帯 13 人/年　現在人口の 0.8%（119 人に1人）

内訳:20 代男女 1 組＋20 代女性 1 人＋30 代夫婦 2 組＋60 代夫婦 2 組）

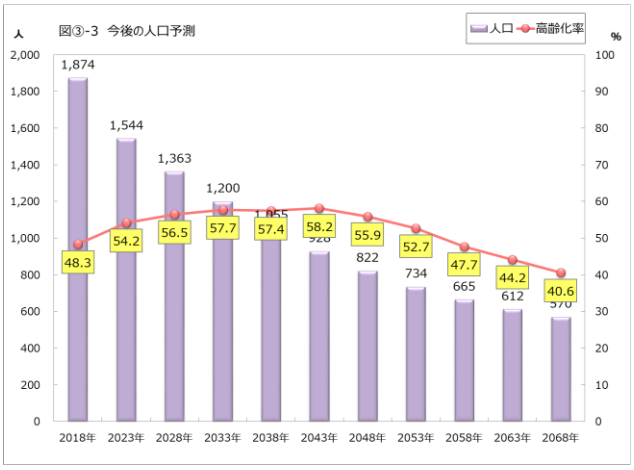
※出生率向上と流出率抑制とも連動条件

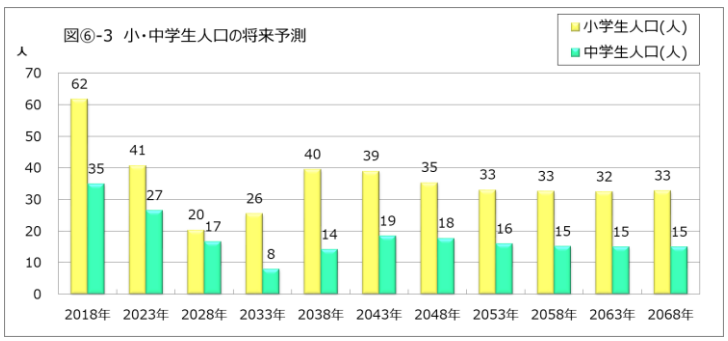
①将来予測＜現状推移シナリオ＞



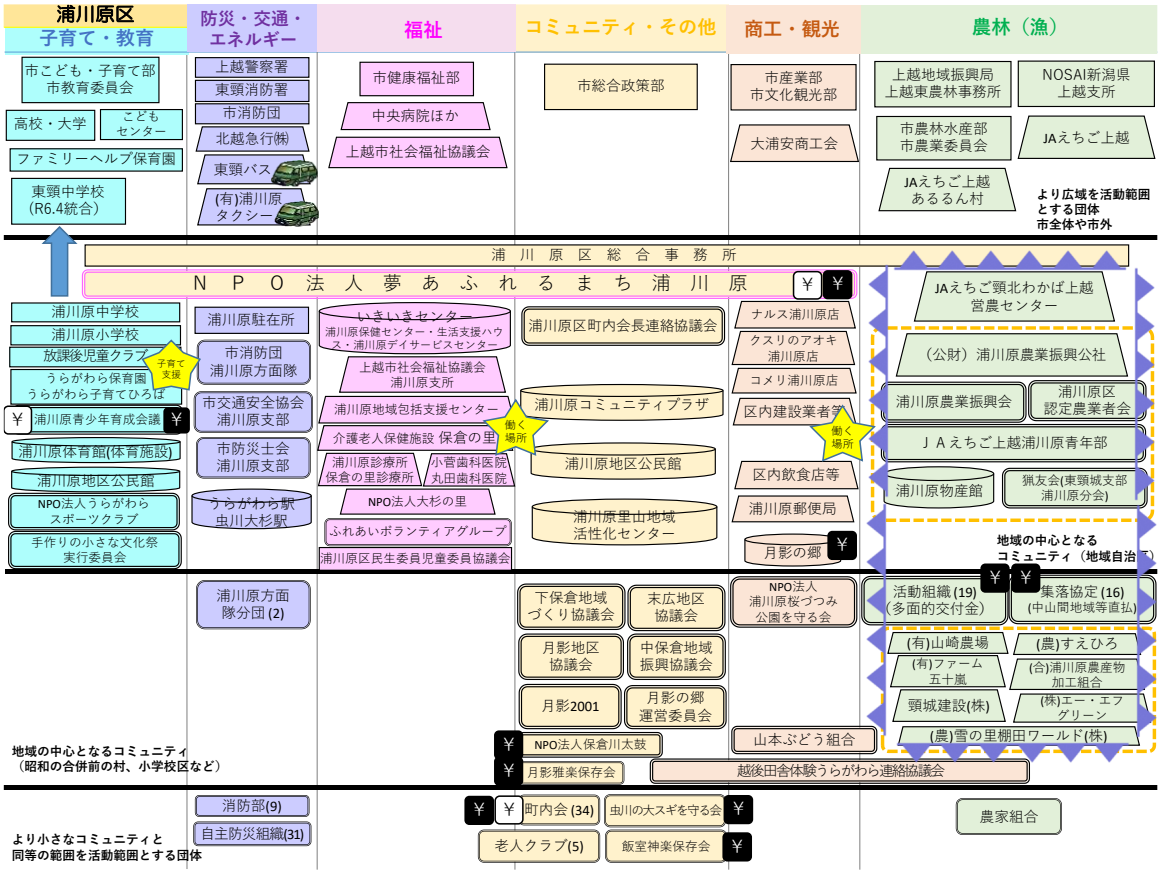


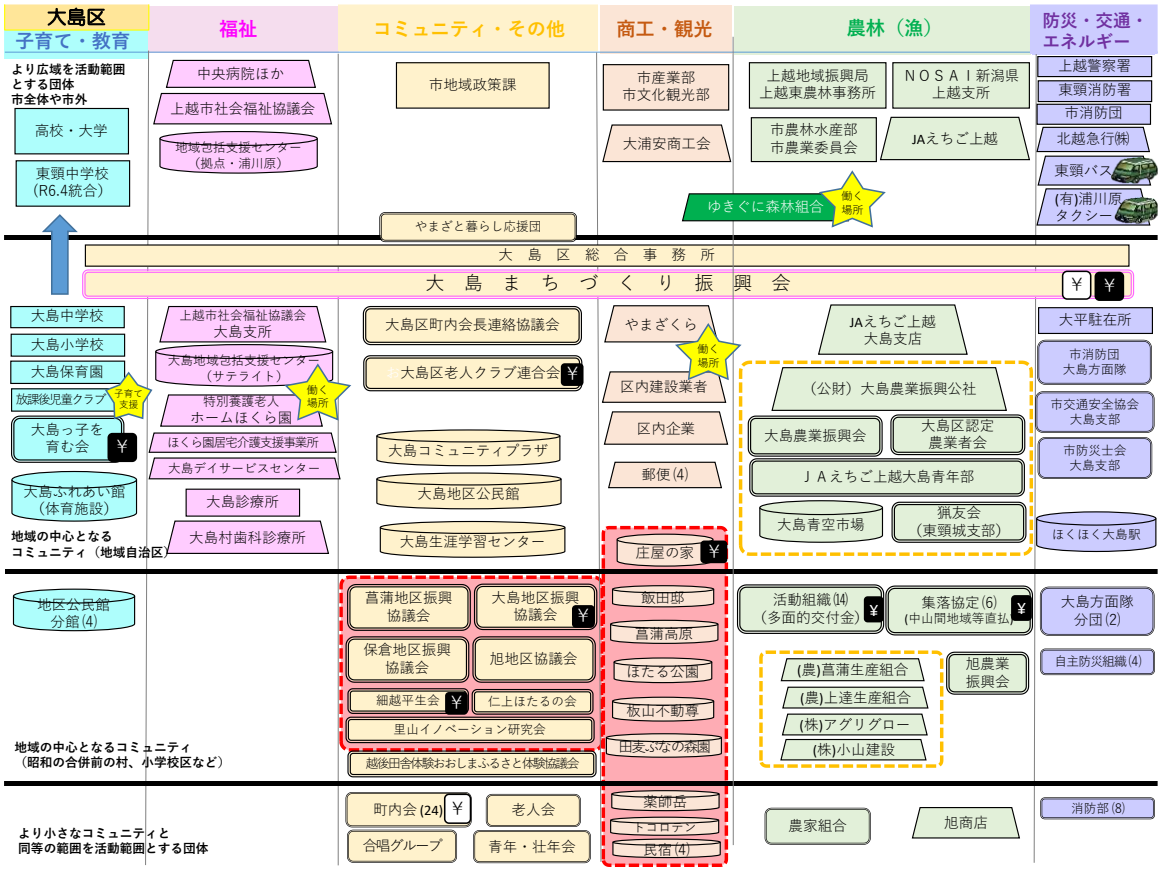
②人口が安定組み合わせのシナリオ

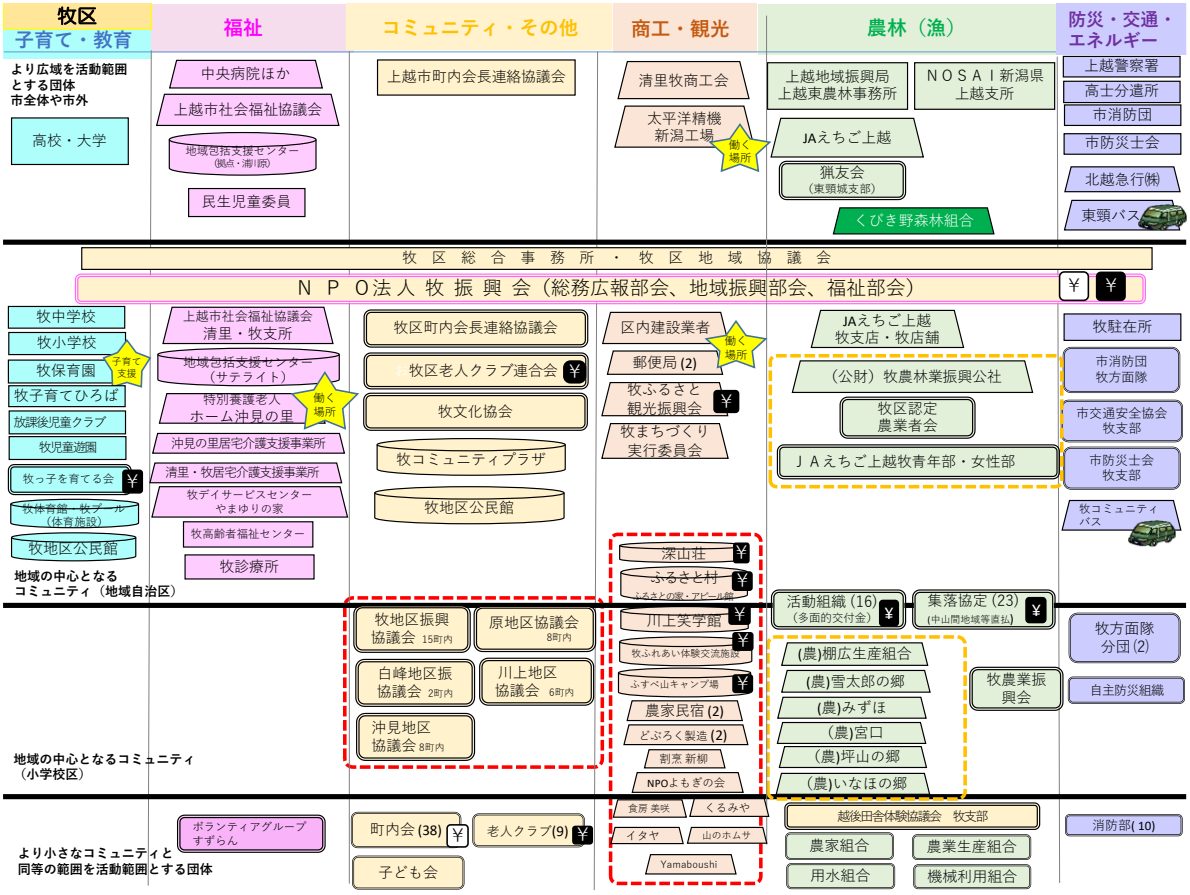




地元関係図　※総合事務所職員作成






牧区
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
高校・大学
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
地域包括支援センター（拠点・浦川原）
民生児童委員
上越市町内会長連絡協議会
清里牧商工会
太平洋精機新潟工場
働く場所
上越地域振興局 上越東農林事務所
ＮＯＳＡＩ新潟県上越支所
JAえちご上越
猟友会（東頸城支部）
くびき野森林組合
上越警察署
高士分遣所
市消防団
市防災士会
北越急行㈱
東頸バス
牧区総合事務所・牧区地域協議会
ＮＰＯ法人牧振興会（総務広報部会、地域振興部会、福祉部会）
牧中学校
牧小学校
牧保育園
子育て支援
牧子育てひろば
放課後児童クラブ
牧児童遊園
牧っ子を育てる会
牧体育館・牧プール（体育施設）
牧地区公民館
地域の中心となるコミュニティ（地域自治区）
上越市社会福祉協議会 清里・牧支所
地域包括支援センター（サテライト）
特別養護老人ホーム沖見の里
働く場所
沖見の里居宅介護支援事業所
清里・牧居宅介護支援事業所
牧デイサービスセンター やまゆりの家
牧高齢者福祉センター
牧診療所
牧区町内会長連絡協議会
牧区老人クラブ連合会
牧文化協会
牧コミュニティプラザ
牧地区公民館
区内建設業者
郵便局 (2)
牧ふるさと観光振興会
牧まちづくり実行委員会
JAえちご上越 牧支店・牧店舗
（公財）牧農林業振興公社
牧区認定農業者会
ＪＡえちご上越牧青年部・女性部
牧駐在所
市消防団 牧方面隊
市交通安全協会 牧支部
市防災士会 牧支部
牧コミュニティバス
深山荘
ふるさと村
ふるさとの家・アピール館
川上笑学館
牧ふれあい体験交流施設
ふすべ山キャンプ場
農家民宿 (2)
どぶろく製造 (2)
割烹 新柳
NPOよもぎの会
食房 美咲
くるみや
イタヤ
山のホムサ
Yamaboushi
活動組織 (16)（多面的交付金）
集落協定 (23)（中山間地域等直払）
(農)棚広生産組合
(農)雪太郎の郷
(農)みずほ
(農)宮口
(農)坪山の郷
(農)いなほの郷
牧農業振興会
牧方面隊 分団 (2)
自主防災組織
地域の中心となるコミュニティ（小学校区）
牧地区振興協議会 15町内
原地区協議会 8町内
白峰地区振協議会 2町内
川上地区協議会 6町内
沖見地区協議会 8町内
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体
ボランティアグループ すずらん
町内会 (38)
老人クラブ(9)
子ども会
越後田舎体験協議会　牧支部
農家組合
農業生産組合
用水組合
機械利用組合
消防部(10)

第２回 活動報告

地区まち住民ワークショップ

11/13
（月）

開催しました

テーマ

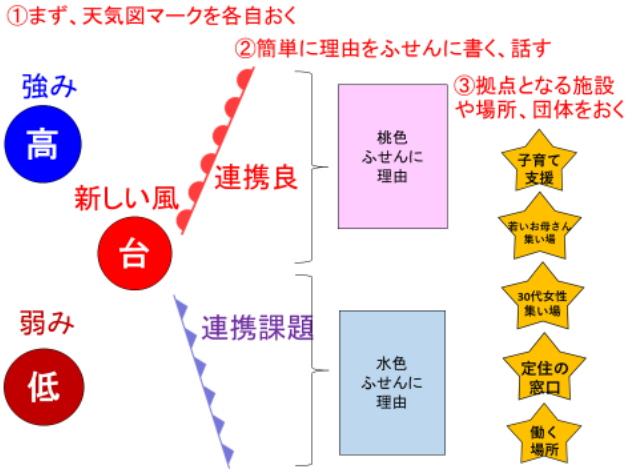
『地域の現状を把握する』

場　所：浦川原地区公民館
時　間：18 時 30 分から 20 時 30 分
参加者：浦川原・大島・牧区市民 36 人

開催内容

～「地元天気図」により地域の現状を整理する～

地域の強み・弱みや連携の良さ・弱さを「地元関係図」上に「天気図」として表すことで、地域の現状を見える化します。



ワークショップの流れ

18：30 概要説明

ワークショップの目的とプロジェクトの経緯について説明しました。

18：40 講義（講師：藤山所長）

各地域の人口分析の結果、農村の地域資源を活用した定住推進の具体策を、全国事例も交えて藤山所長から紹介しました。

19：15 グループワーク

各区２グループ（ヤング・ベテラン）計６グループにわかれて、地元関係図を使ったグループワークを行いました。

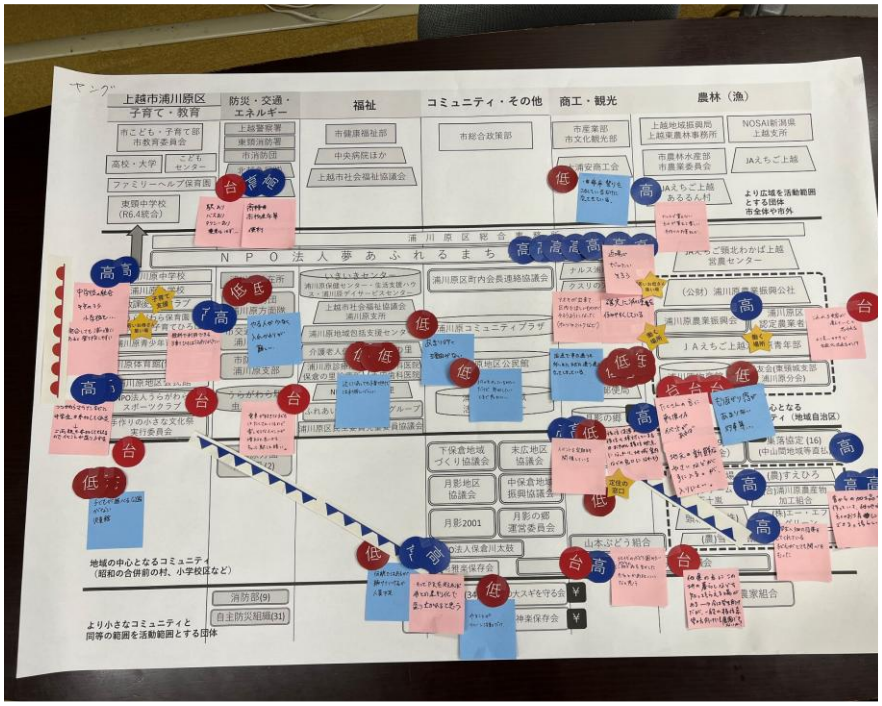
20：05 成果発表

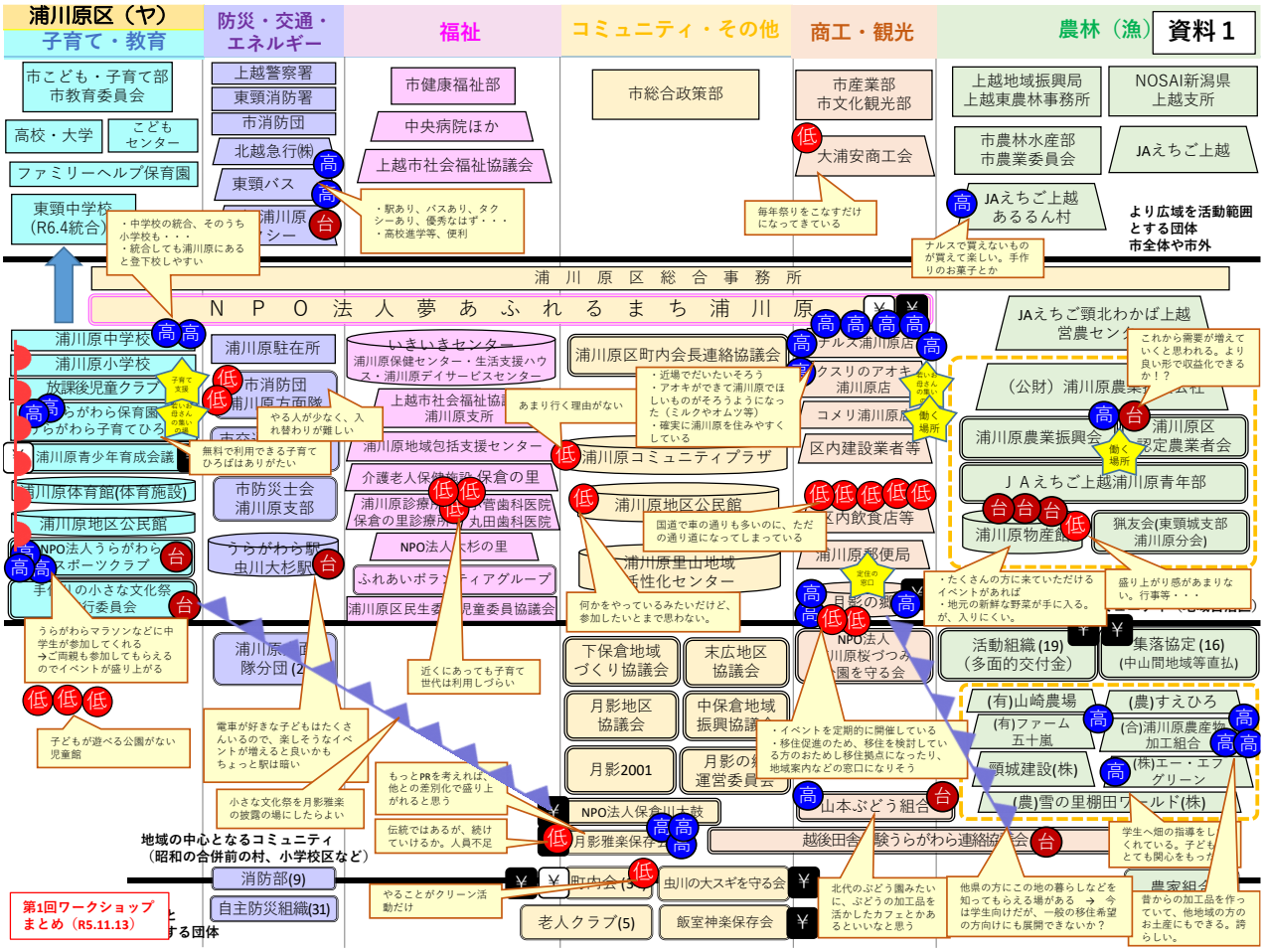
各グループの代表者が意見の発表を行いました。

20：30 閉会

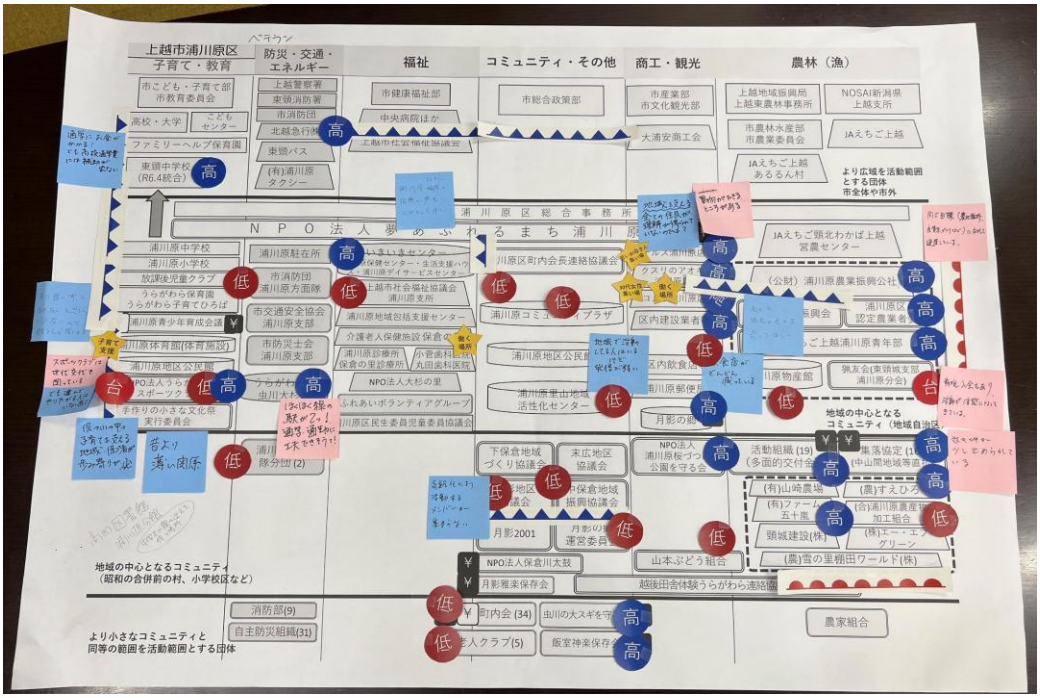
※ 個人情報の観点から名簿非掲載、地元天気図は実際の状況に基づかない

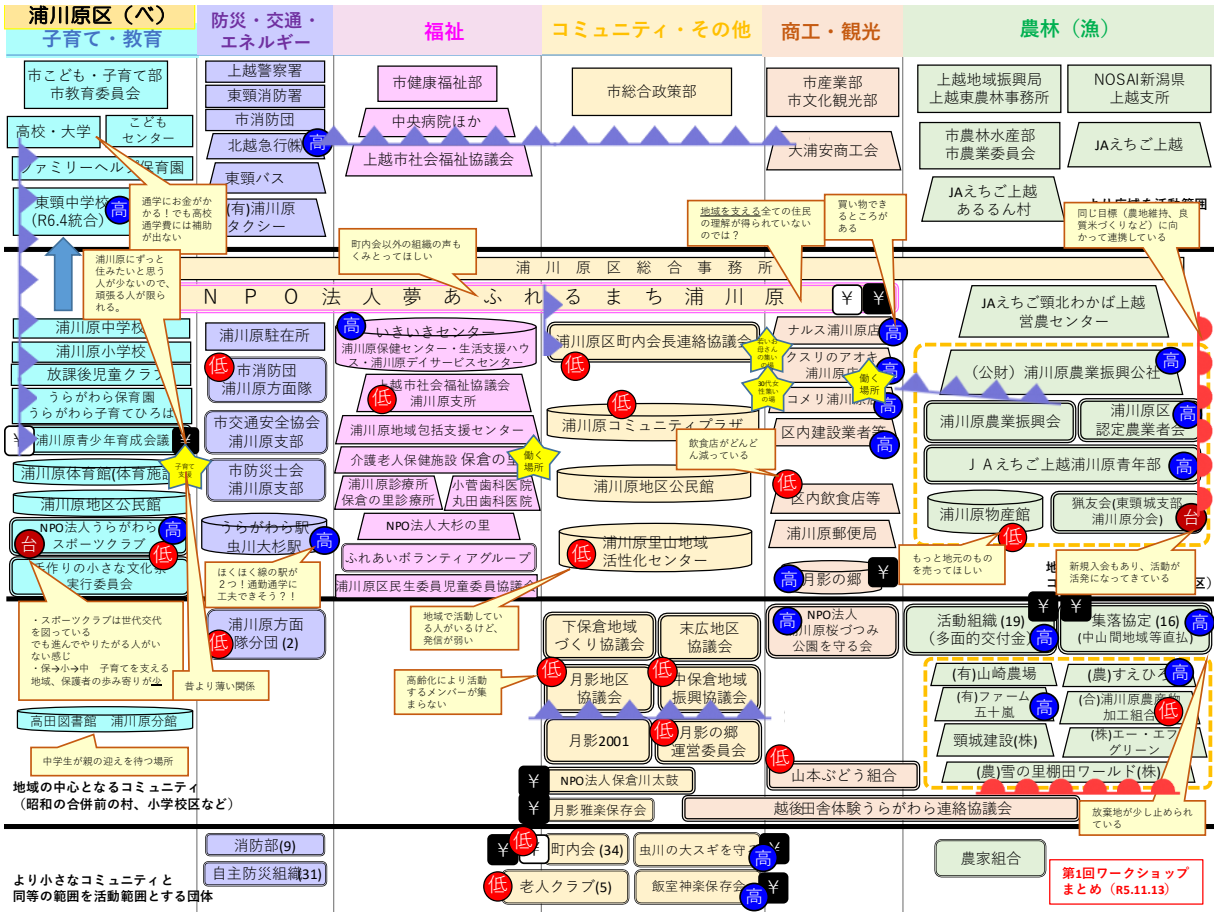
浦川原（ヤング）



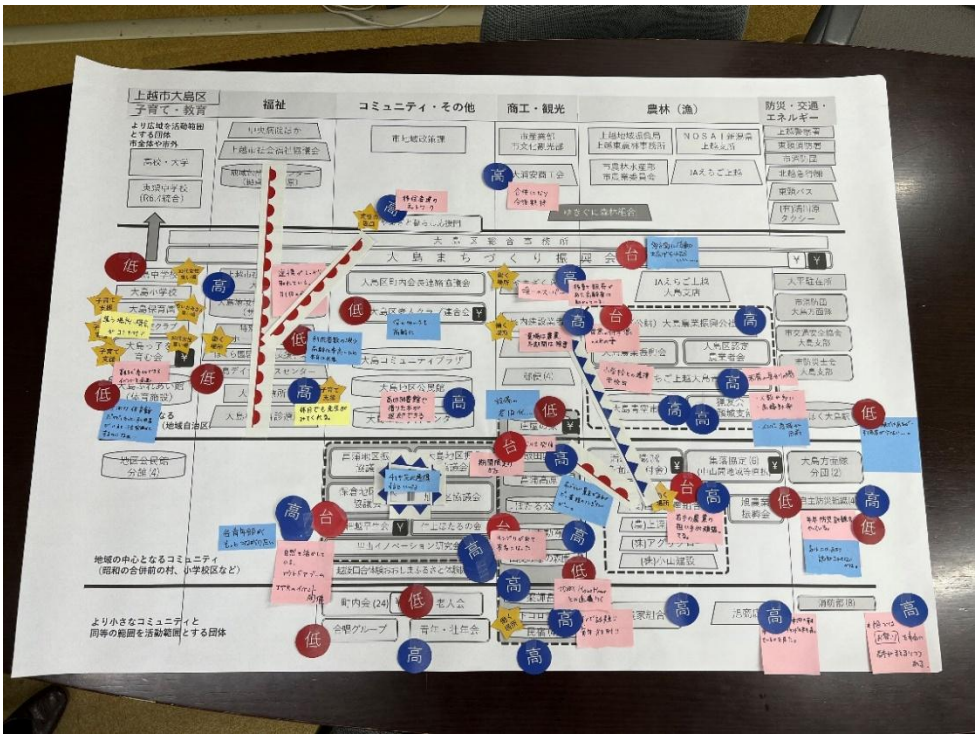


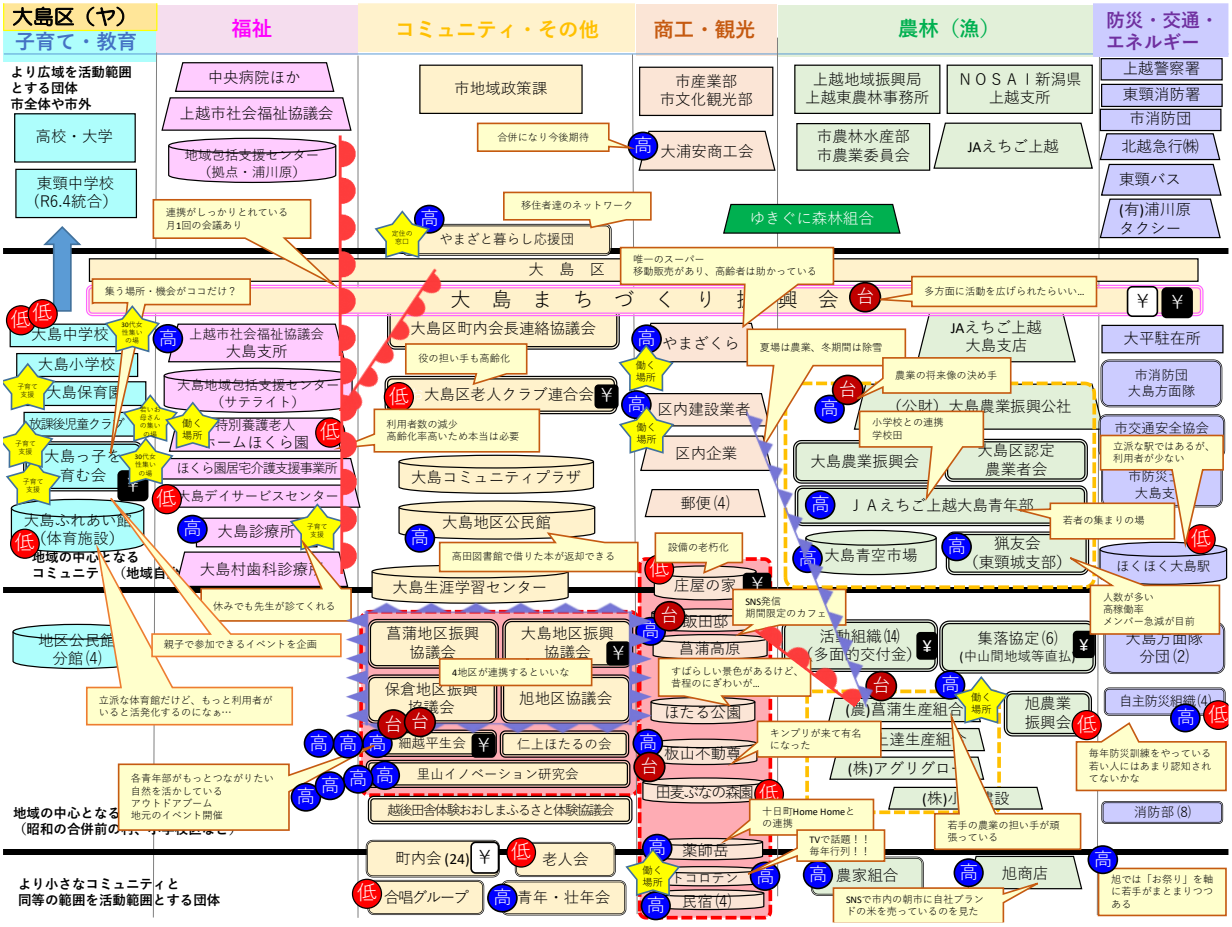
浦川原（ベテラン）


ベテラン
上越市浦川原区
子育て・教育
防災・交通・エネルギー
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
市こども・子育て部 市教育委員会
高校・大学
こども センター
ファミリーヘルプ保育園
東頸中学校 (R6.4統合)
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行(株)
東頸バス
(有)浦川原 タクシー
市健康福祉部
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
市総合政策部
市産業部 市文化観光部
大浦安商工会
上越地域振興局 上越東農林事務所
NOSAI新潟県 上越支所
市農林水産部 市農業委員会
JAえちご上越
JAえちご上越 あるるん村
より広域を活動範囲とする団体 市全体や市外
浦川原区総合事務所
NPO法人夢あふれるまち浦川原
浦川原中学校
浦川原小学校
放課後児童クラブ
うらがわら保育園 うらがわら子育てひろば
浦川原青少年育成会議
浦川原体育館(体育施設)
浦川原地区公民館
NPO法人うらがわら スポーツクラブ
手作りの小さな文化祭 実行委員会
浦川原駐在所
市消防団 浦川原方面隊
市交通安全協会 浦川原支部
市防災士会 浦川原支部
うらがわら駅 虫川大杉駅
浦川原方面 隊分団 (2)
いきいきセンター
浦川原保健センター・生活支援ハウス・浦川原デイサービスセンター
上越市社会福祉協議会 浦川原支所
浦川原地域包括支援センター
介護老人保健施設 保倉の里
浦川原診療所 保倉の里診療所
小菅歯科医院 丸田歯科医院
NPO法人大杉の里
ふれあいボランティアグループ
浦川原区民生委員児童委員協議会
浦川原区町内会長連絡協議会
浦川原コミュニティプラザ
浦川原地区公民館
浦川原里山地域 活性化センター
下保倉地域 づくり協議会
末広地区 協議会
月影地区 協議会
中保倉地域 振興協議会
月影2001
月影の郷 運営委員会
NPO法人保倉川太鼓
月影雅楽保存会
町内会 (34)
虫川の大スギを守る
老人クラブ(5)
飯室神楽保存会
ナルス浦川原店
クスリのアオキ 浦川原店
コメリ浦川原店
区内建設業者等
区内飲食店等
浦川原郵便局
月影の郷
NPO法人 浦川原桜づつみ 公園を守る会
山本ぶどう組合
越後田舎体験うらがわら連絡協議会
JAえちご頸北わかば上越 営農センター
(公財) 浦川原農業振興公社
浦川原農業振興会
浦川原区 認定農業者会
ＪＡえちご上越浦川原青年部
浦川原物産館
猟友会(東頸城支部 浦川原分会)
地域の中心となる コミュニティ（地域自治区）
活動組織 (19) (多面的交付金)
集落協定 (16) (中山間地域等直払)
(有)山崎農場
(農)すえひろ
(有)ファーム 五十嵐
(合)浦川原農産物 加工組合
頸城建設(株)
(株)エー・エフ グリーン
(農)雪の里棚田ワールド(株)
地域の中心となるコミュニティ （昭和の合併前の村、小学校区など）
より小さなコミュニティと 同等の範囲を活動範囲とする団体
消防部(9)
自主防災組織(31)
農家組合

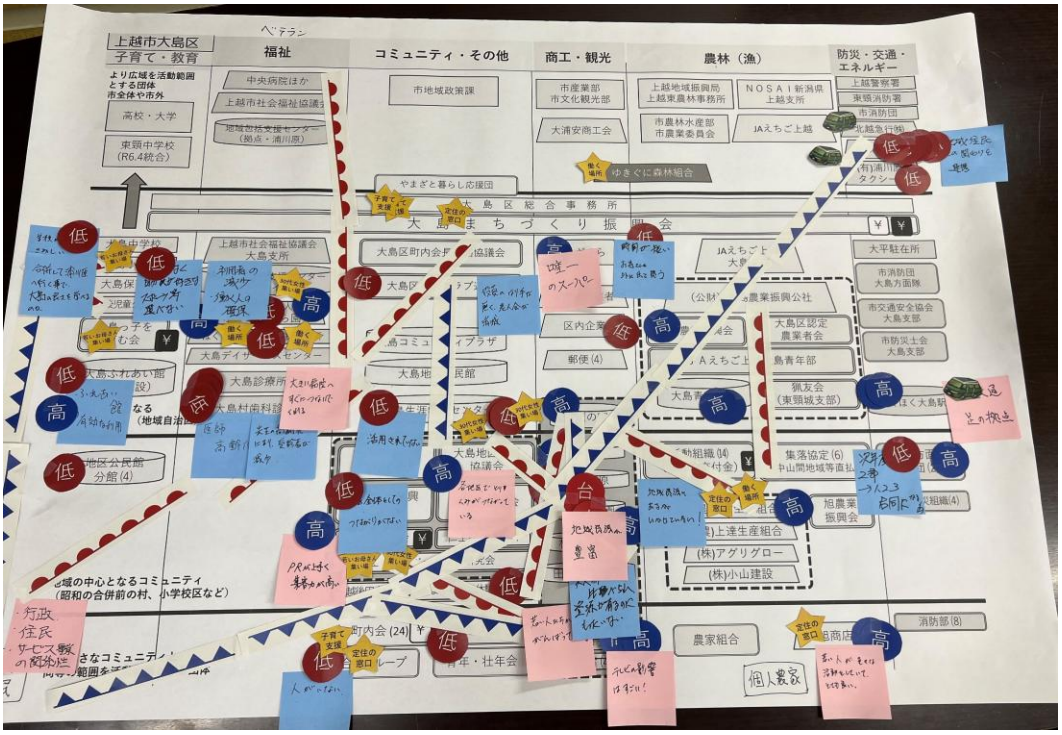

浦川原区（べ）
子育て・教育
防災・交通・エネルギー
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
市こども・子育て部 市教育委員会
高校・大学
こども センター
ファミリーヘルプ保育園
東頸中学校 (R6.4統合)
通学にお金がかかる！でも高校通学費には補助が出ない
浦川原にずっと住みたいと思う人が少ないので、頑張る人が限られる。
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行(株)
東頸バス
(有)浦川原 タクシー
市健康福祉部
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
町内会以外の組織の声もくみとってほしい
市総合政策部
地域を支える全ての住民の理解が得られていないのでは？
市産業部 市文化観光部
大浦安商工会
買い物できるところがある
上越地域振興局 上越東農林事務所
NOSAI新潟県 上越支所
市農林水産部 市農業委員会
JAえちご上越
JAえちご上越 あるるん村
同じ目標（農地維持、良質米づくりなど）に向かって連携している
浦川原区総合事務所
NPO法人夢あふれるまち浦川原
浦川原中学校
浦川原小学校
放課後児童クラブ
うらがわら保育園 うらがわら子育てひろば
浦川原青少年育成会議
子育て支援
浦川原体育館(体育施設)
浦川原地区公民館
NPO法人うらがわら スポーツクラブ
手作りの小さな文化祭 実行委員会
・スポーツクラブは世代交代を図っている でも進んでやりたがる人がいない感じ
・保→小→中　子育てを支える地域、保護者の歩み寄りが少
昔より薄い関係
高田図書館　浦川原分館
中学生が親の迎えを待つ場所
地域の中心となるコミュニティ （昭和の合併前の村、小学校区など）
より小さなコミュニティと 同等の範囲を活動範囲とする団体
消防部(9)
自主防災組織(31)
浦川原駐在所
市消防団 浦川原方面隊
市交通安全協会 浦川原支部
市防災士会 浦川原支部
うらがわら駅 虫川大杉駅
ほくほく線の駅が２つ！通勤通学に工夫できそう？！
浦川原方面 隊分団 (2)
いきいきセンター
浦川原保健センター・生活支援ハウス・浦川原デイサービスセンター
上越市社会福祉協議会 浦川原支所
浦川原地域包括支援センター
介護老人保健施設 保倉の里
働く場所
浦川原診療所 保倉の里診療所
小菅歯科医院 丸田歯科医院
NPO法人大杉の里
ふれあいボランティアグループ
浦川原区民生委員児童委員協議会
地域で活動している人がいるけど、発信が弱い
高齢化により活動するメンバーが集まらない
浦川原区町内会長連絡協議会
浦川原コミュニティプラザ
浦川原地区公民館
浦川原里山地域 活性化センター
下保倉地域 づくり協議会
末広地区 協議会
月影地区 協議会
中保倉地域 振興協議会
月影2001
月影の郷 運営委員会
NPO法人保倉川太鼓
月影雅楽保存会
町内会 (34)
虫川の大スギを守る
老人クラブ(5)
飯室神楽保存会
ナルス浦川原店
クスリのアオキ 浦川原店
コメリ浦川原店
区内建設業者等
飲食店がどんどん減っている
区内飲食店等
浦川原郵便局
月影の郷
もっと地元のものを売ってほしい
NPO法人 浦川原桜づつみ 公園を守る会
山本ぶどう組合
越後田舎体験うらがわら連絡協議会
JAえちご頸北わかば上越 営農センター
(公財) 浦川原農業振興公社
新規入会もあり、活動が活発になってきている
浦川原農業振興会
浦川原区 認定農業者会
ＪＡえちご上越浦川原青年部
浦川原物産館
猟友会(東頸城支部 浦川原分会)
活動組織 (19) (多面的交付金)
集落協定 (16) (中山間地域等直払)
(有)山崎農場
(農)すえひろ
(有)ファーム 五十嵐
(合)浦川原農産物 加工組合
頸城建設(株)
(株)エー・エフ グリーン
(農)雪の里棚田ワールド(株)
放棄地が少し止められている
農家組合
第1回ワークショップ まとめ（R5.11.13）

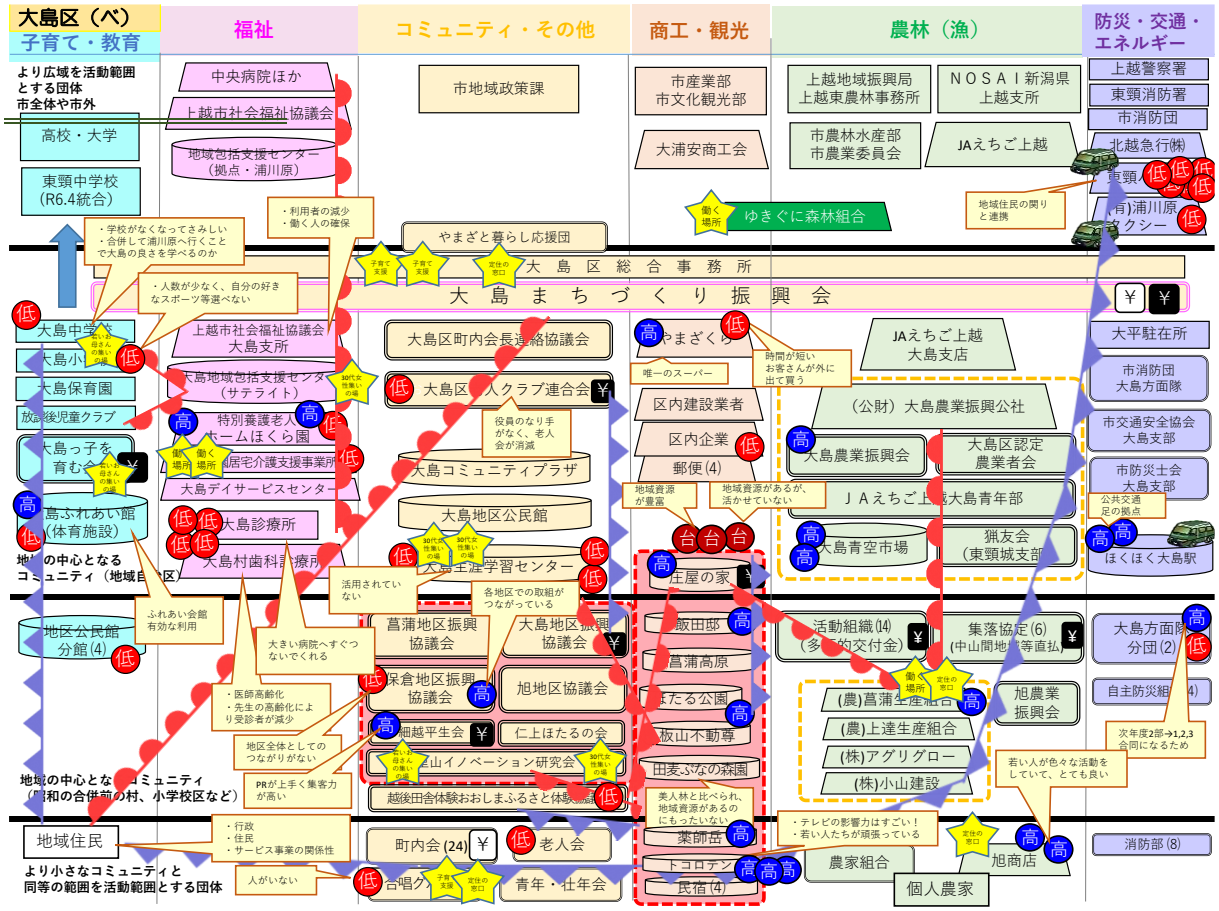
大島(ヤング)


上越市大島区
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
地域の中心となるコミュニティ
（昭和の合併前の村、小学校区など）
より小さなコミュニティと
同等の範囲を活動範囲とする団体

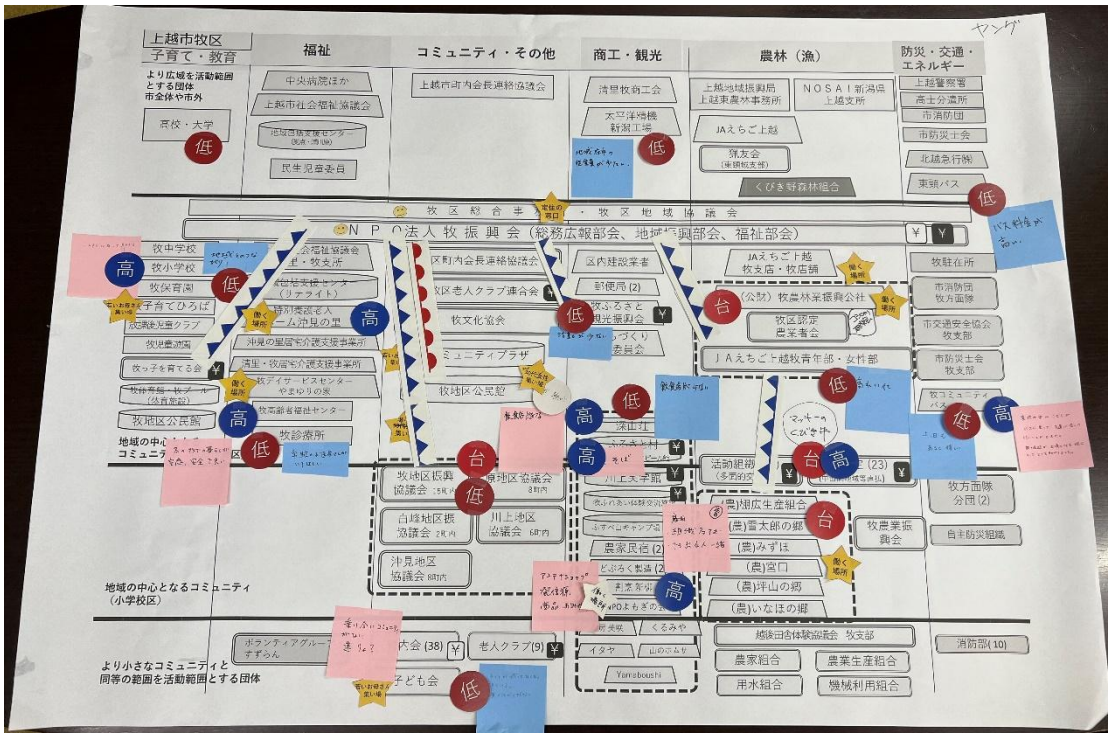

大島区（ヤ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
高校・大学
東頸中学校
(R6.4統合)
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
地域包括支援センター
（拠点・浦川原）
市地域政策課
市産業部
市文化観光部
大浦安商工会
上越地域振興局
上越東農林事務所
NOSAI新潟県
上越支所
市農林水産部
市農業委員会
JAえちご上越
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行㈱
東頸バス
(有)浦川原
タクシー
合併になり今後期待
移住者達のネットワーク
連携がしっかりとれている
月1回の会議あり
やまざと暮らし応援団
ゆきぐに森林組合
大島区
唯一のスーパー
移動販売があり、高齢者は助かっている
集う場所・機会がココだけ？
大島まちづくり振興会
多方面に活動を広げられたらいい…
大島中学校
大島小学校
大島保育園
放課後児童クラブ
大島っ子を育む会
大島ふれあい館
(体育施設)
地域の中心となるコミュニティ
（地域自治区）
地区公民館
分館(4)
上越市社会福祉協議会
大島支所
大島地域包括支援センター
（サテライト）
特別養護老人ホームほくら園
ほくら園居宅介護支援事業所
大島デイサービスセンター
大島診療所
大島村歯科診療所
休みでも先生が診てくれる
親子で参加できるイベントを企画
立派な体育館だけど、もっと利用者がいると活発化するのになぁ…
大島区町内会長連絡協議会
役の担い手も高齢化
大島区老人クラブ連合会
利用者数の減少
高齢化率高いため本当は必要
大島コミュニティプラザ
大島地区公民館
高田図書館で借りた本が返却できる
大島生涯学習センター
菖蒲地区振興協議会
大島地区振興協議会
保倉地区振興協議会
旭地区協議会
4地区が連携するといいな
細越平生会
仁上ほたるの会
里山イノベーション研究会
越後田舎体験おおしまふるさと体験協議会
各青年部がもっとつながりたい
自然を活かしている
アウトドアブーム
地元のイベント開催
町内会 (24)
老人会
合唱グループ
青年・壮年会
やまざくら
夏場は農業、冬期間は除雪
区内建設業者
区内企業
郵便(4)
設備の老朽化
庄屋の家
飯田邸
菖蒲高原
すばらしい景色があるけど、昔程のにぎわいが…
ほたる公園
キンプリが来て有名になった
飯田不動尊
田麦ぶなの森園
十日町Home Homeとの連携
薬師岳
トコロテン
民宿(4)
TVで話題！！
毎年行列！！
JAえちご上越
大島支店
農業の将来像の決め手
(公財) 大島農業振興公社
大島農業振興会
大島区認定農業者会
小学校との連携
学校田
ＪＡえちご上越大島青年部
若者の集まりの場
大島青空市場
猟友会
(東頸城支部)
人数が多い
高稼働率
メンバー急減が目前
活動組織(4)
(多面的交付金)
集落協定(6)
(中山間地域等直払)
(農)菖蒲生産組合
旭農業振興会
(株)アグリグロー
(株)小
若手の農業の担い手が頑張っている
農家組合
旭商店
SNSで市内の朝市に自社ブランドの米を売っているのを見た
大平駐在所
市消防団
大島方面隊
市交通安全協会
立派な駅ではあるが、利用者が少ない
大島方面隊
分団(2)
自主防災組織(4)
毎年防災訓練をやっている若い人にはあまり認知されてないかな
消防部(8)
旭では「お祭り」を軸に若手がまとまりつつある
地域の中心となる
（昭和の合併前の村、小学校区など）
より小さなコミュニティと
同等の範囲を活動範囲とする団体

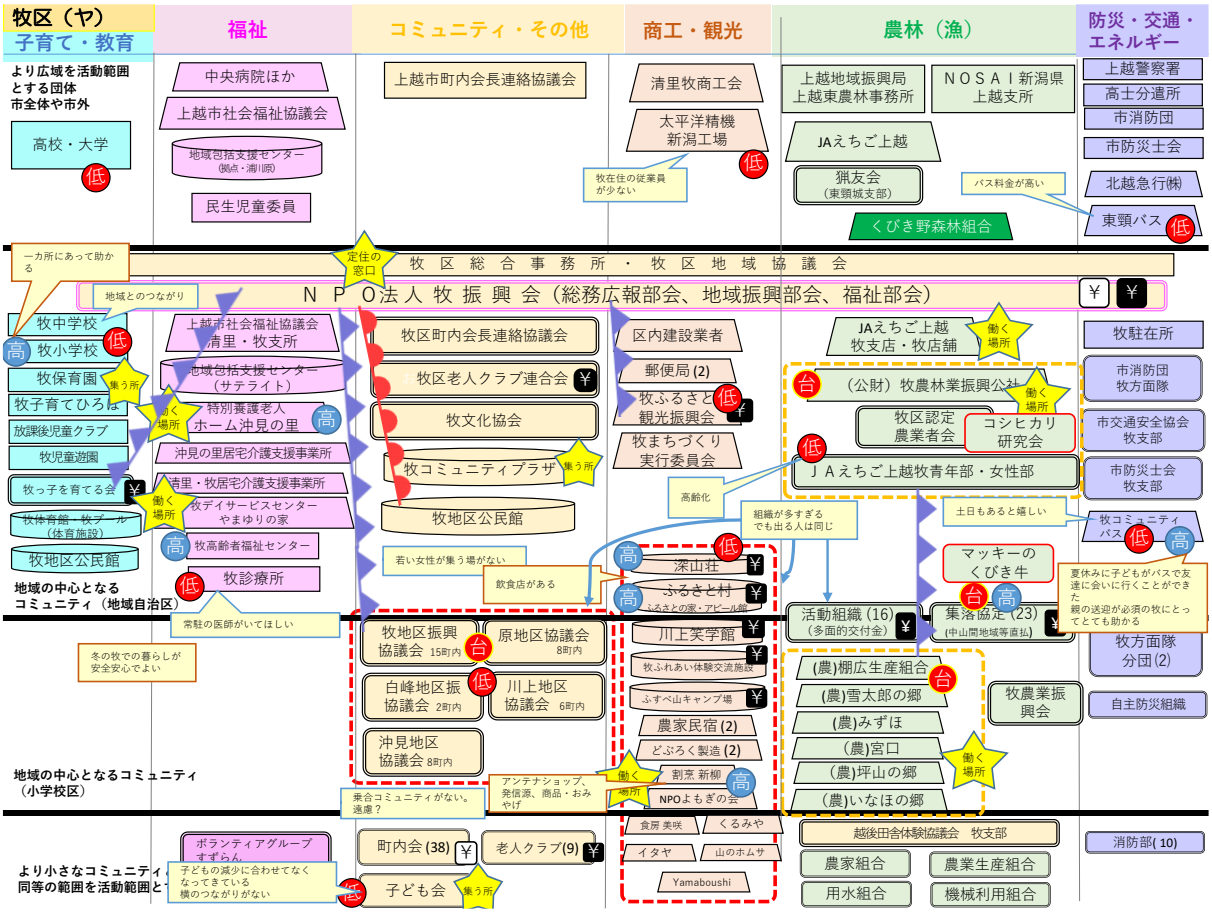
大島（ベテラン）


ベテラン
上越市大島区
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
大島まちづくり振興会
大島区総合事務所
ゆきぐに森林組合
個人農家
農家組合
旭商店
消防部(8)

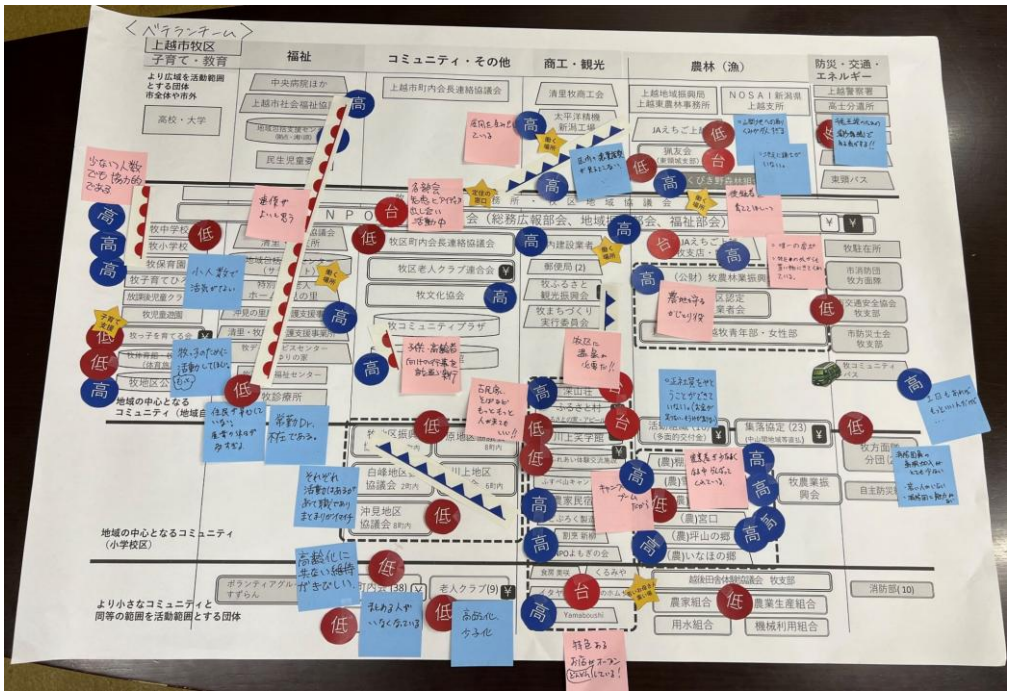

大島区（べ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
高校・大学
東頸中学校（R6.4統合）
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
地域包括支援センター（拠点・浦川原）
市地域政策課
市産業部 市文化観光部
大浦安商工会
上越地域振興局 上越東農林事務所
市農林水産部 市農業委員会
NOSAI新潟県 上越支所
JAえちご上越
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行㈱
(有)浦川原タクシー
ゆきぐに森林組合
やまざと暮らし応援団
大島区総合事務所
大島まちづくり振興会
大島中学校
大島小学校
大島保育園
放課後児童クラブ
大島っ子を育む会
大島ふれあい館（体育施設）
地域の中心となるコミュニティ（地域自治区）
地区公民館 分館(4)
地域住民
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体
上越市社会福祉協議会 大島支所
大島地域包括支援センター（サテライト）
特別養護老人ホームほくら園
居宅介護支援事業所
大島デイサービスセンター
大島診療所
大島村歯科診療所
大島区町内会長連絡協議会
大島区クラブ連合会
大島コミュニティプラザ
大島地区公民館
大島生涯学習センター
菅蒲地区振興協議会
大島地区振興協議会
保倉地区振興協議会
旭地区協議会
細越平生会
仁上ほたるの会
大島イノベーション研究会
越後田舎体験おおしまふるさと体験
町内会(24)
老人会
青年・壮年会
唯一のスーパー
区内建設業者
区内企業
郵便(4)
やまざくら
飯田邸
菅蒲高原
ほたる公園
板山不動尊
田麦ふなの森園
薬師岳
トコロテン
民宿(4)
JAえちご上越 大島支店
(公財)大島農業振興公社
大島農業振興会
大島区認定農業者会
JAえちご上越大島青年部
大島青空市場
猟友会（東頸城支部）
活動組織(14)（多面的交付金）
集落協定(6)（中山間地域等直払）
(農)菅蒲生産組合
(農)上達生産組合
(株)アグリグロー
(株)小山建設
旭農業振興会
大平駐在所
市消防団 大島方面隊
市交通安全協会 大島支部
市防災士会 大島支部
ほくほく大島駅
大島方面隊 分団(2)
自主防災組織(4)
消防部(8)
・学校がなくなってさみしい
・合併して浦川原へ行くことで大島の良さを学べるのか
・利用者の減少
・働く人の確保
・人数が少なく、自分の好きなスポーツ等選べない
ふれあい会館 有効な利用
大きい病院へすぐつないでくれる
・医師高齢化
・先生の高齢化により受診者が減少
地区全体としてのつながりがない
PRが上手く集客力が高い
・行政
・住民
・サービス事業の関係性
人がいない
活用されていない
各地区での取組がつながっている
役員のなり手がなく、老人会が消滅
地域資源が豊富
地域資源があるが、活かせていない
時間が短いお客さんが外に出て買う
地域住民の関りと連携
美人林と比べられ、地域資源があるのにもったいない
・テレビの影響力はすごい！
・若い人たちが頑張っている
若い人が色々な活動をしていて、とても良い
次年度2部→1,2,3合同になるため
公共交通 足の拠点

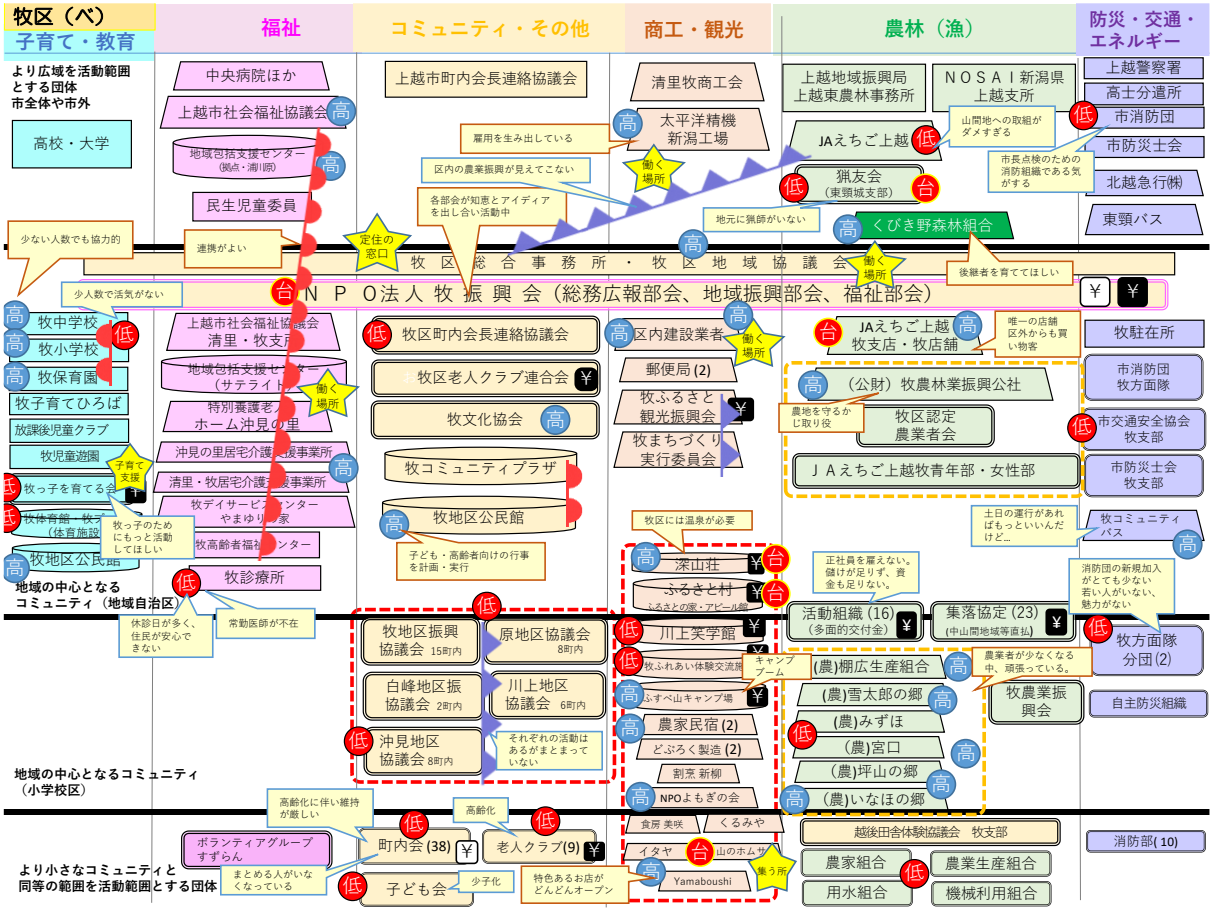
牧(ヤング)


上越市牧区
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
牧区総合事務所・牧区地域協議会
ＮＰＯ法人牧振興会（総務広報部会、地域振興部会、福祉部会）
地域の中心となるコミュニティ（小学校区）
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体


牧区（ヤ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
高校・大学
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
地域包括支援センター（鵜点・浦川原）
民生児童委員
上越市町内会長連絡協議会
清里牧商工会
太平洋精機新潟工場
牧在住の従業員が少ない
上越地域振興局上越東農林事務所
ＮＯＳＡＩ新潟県上越支所
ＪＡえちご上越
猟友会（東頸城支部）
くびき野森林組合
上越警察署
高士分遣所
市消防団
市防災士会
北越急行㈱
東頸バス
バス料金が高い
一カ所にあって助かる
定住の窓口
牧区総合事務所・牧区地域協議会
地域とのつながり
ＮＰＯ法人牧振興会（総務広報部会、地域振興部会、福祉部会）
牧中学校
牧小学校
牧保育園
牧子育てひろば
放課後児童クラブ
牧児童遊園
牧っ子を育てる会
牧体育館・牧プール（体育施設）
牧地区公民館
地域の中心となるコミュニティ（地域自治区）
集う所
働く場所
上越市社会福祉協議会 清里・牧支所
地域包括支援センター（サテライト）
特別養護老人ホーム沖見の里
沖見の里居宅介護支援事業所
清里・牧居宅介護支援事業所
牧デイサービスセンター やまゆりの家
牧高齢者福祉センター
牧診療所
常駐の医師がいてほしい
冬の牧での暮らしが安全安心でよい
牧区町内会長連絡協議会
牧区老人クラブ連合会
牧文化協会
牧コミュニティプラザ
牧地区公民館
若い女性が集う場がない
飲食店がある
牧地区振興協議会 15町内
原地区協議会 8町内
白峰地区振協議会 2町内
川上地区協議会 6町内
沖見地区協議会 8町内
区内建設業者
郵便局 (2)
牧ふるさと観光振興会
牧まちづくり実行委員会
高齢化
深山荘
ふるさと村
川上笑学館
牧ふれあい体験交流施設
ふすべ山キャンプ場
農家民宿 (2)
どぶろく製造 (2)
割烹 新柳
NPOよもぎの会
食房 美咲
くるみや
イタヤ
山のホムサ
Yamaboushi
JAえちご上越 牧支店・牧店舗
（公財）牧農林業振興公社
牧区認定農業者会
コシヒカリ研究会
ＪＡえちご上越牧青年部・女性部
組織が多すぎるでも出る人は同じ
活動組織 (16)（多面的交付金）
集落協定 (23)（中山間地域等直払）
マッキーのくびき牛
土日もあると嬉しい
夏休みに子どもがバスで友達に会いに行くことができた親の送迎が必須の牧にとってとても助かる
(農)棚広生産組合
(農)雪太郎の郷
(農)みずほ
(農)宮口
(農)坪山の郷
(農)いなほの郷
牧農業振興会
牧駐在所
市消防団 牧方面隊
市交通安全協会 牧支部
市防災士会 牧支部
牧コミュニティバス
牧方面隊 分団 (2)
自主防災組織
地域の中心となるコミュニティ（小学校区）
集会コミュニティがない。遠慮？
アンテナショップ、発信源、商品・おみやげ
ボランティアグループ すずらん
町内会 (38)
老人クラブ (9)
子ども会
子どもの減少に合わせてなくなってきている横のつながりがない
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体
越後田舎体験協議会 牧支部
農家組合
農業生産組合
用水組合
機械利用組合
消防部 (10)

牧(ベテラン)


ベテランチーム
上越市牧区
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
地域の中心となるコミュニティ（小学校区）
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体


牧区（ベ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体 市全体や市外
高校・大学
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
地域包括支援センター（拠点・潮川原）
民生児童委員
上越市町内会長連絡協議会
清里牧商工会
太平洋精機新潟工場
上越地域振興局 上越東農林事務所
NOSAI新潟県 上越支所
JAえちご上越
猟友会（東頸城支部）
くびき野森林組合
上越警察署
高士分遣所
市消防団
市防災士会
北越急行㈱
東頸バス
牧区総合事務所・牧区地域協議会
NPO法人牧振興会（総務広報部会、地域振興部会、福祉部会）
牧中学校
牧小学校
牧保育園
牧子育てひろば
放課後児童クラブ
牧児童遊園
牧っ子を育てる会
牧体育館（体育施設）
牧地区公民館
牧診療所
上越市社会福祉協議会 清里・牧支所
地域包括支援センター（サテライト）
特別養護老人ホーム沖見の里
沖見の里居宅介護支援事業所
清里・牧居宅介護支援事業所
牧デイサービスセンターやまゆり荘
牧高齢者福祉センター
牧区町内会長連絡協議会
牧区老人クラブ連合会
牧文化協会
牧コミュニティプラザ
牧地区公民館
区内建設業者
郵便局(2)
牧ふるさと観光振興会
牧まちづくり実行委員会
JAえちご上越 牧支店・牧店舗
（公財）牧農林業振興公社
牧区認定農業者会
ＪＡえちご上越牧青年部・女性部
牧駐在所
市消防団 牧方面隊
市交通安全協会 牧支部
市防災士会 牧支部
牧コミュニティバス
地域の中心となるコミュニティ（地域自治区）
牧地区振興協議会 15町内
原地区協議会 8町内
白峰地区振協議会 2町内
川上地区協議会 6町内
沖見地区協議会 8町内
深山荘
ふるさと村
川上笑学館
ふすべ山キャンプ場
農家民宿(2)
どぶろく製造(2)
割烹 新柳
NPOよもぎの会
食房 美咲
くるるみや
イタヤ
山のホムサ
Yamaboushi
活動組織(16)（多面的交付金）
集落協定(23)（中山間地域等直払）
(農)棚広生産組合
(農)雪太郎の郷
(農)みずほ
(農)宮口
(農)坪山の郷
(農)いなほの郷
牧方面隊分団(2)
牧農業振興会
自主防災組織
地域の中心となるコミュニティ（小学校区）
ボランティアグループすずらん
町内会(38)
老人クラブ(9)
子ども会
越後田舎体験協議会 牧支部
農家組合
農業生産組合
用水組合
機械利用組合
消防部(10)
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体

第３回 活動報告

地区まち住民ワークショップ

12/11
（月）

テーマ **『地域の目指す将来像を考える』**

場　所：浦川原地区公民館
時　間：18 時 30 分から 20 時 30 分
参加者：浦川原・大島・牧区市民 36 人

開催しました

開催内容

～ 次世代の定住を実現する取組の
3本柱を考える ～

定住の実現に向け、地域の強みを生かし、弱みを補い、地域の人たちがいきいきと暮らすことのできる「将来の地元関係図」としてまとめます。

①定住実現のため、何とかしたい、もっと盛り上げたいと思う組織はどこか？

②そのためにはどうすればいいか？

グループワークの様子（全体）

ワークショップの流れ

18：30 はじめに

前回のふりかえり、今回のグループワークの進め方や藤山所長からグループワークのアドバイス（定住実現につながる取組事例の紹介）がありました。

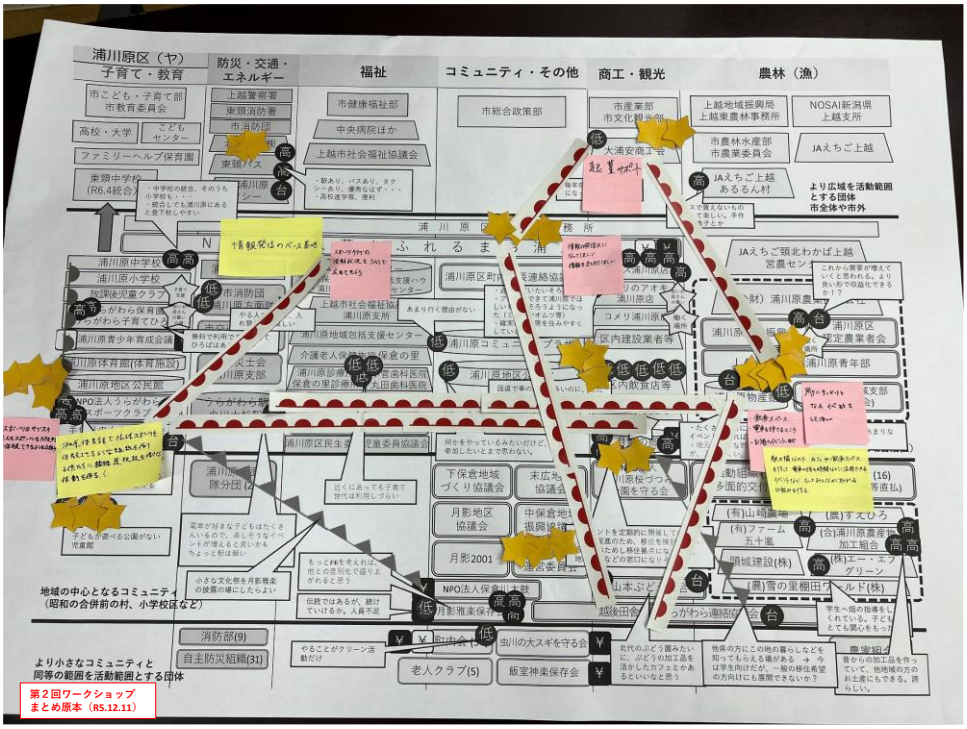
18：55 グループワーク

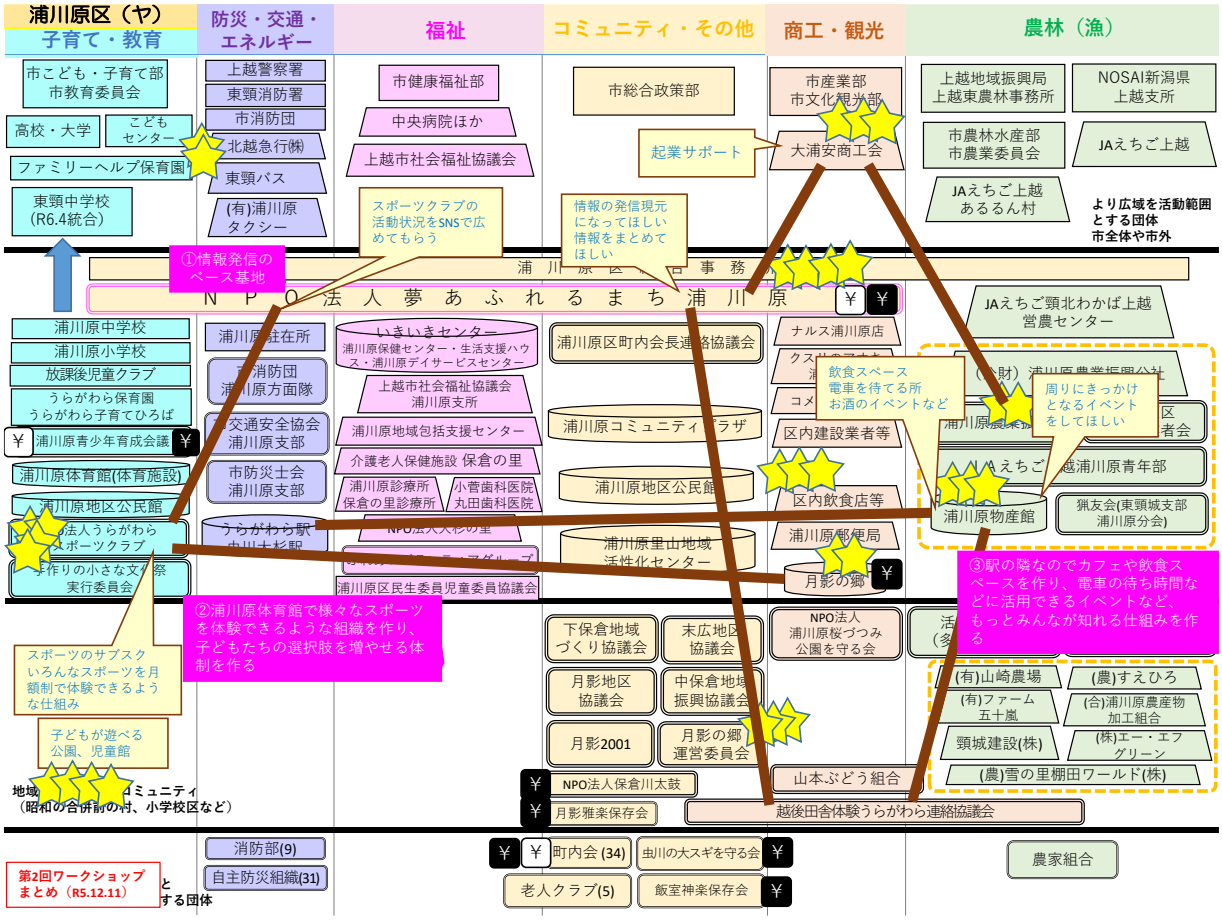
各区２グループ（ヤング・ベテラン）計６グループにわかれて、地元天気図を使ったグループワークを行いました。

20：05 成果発表

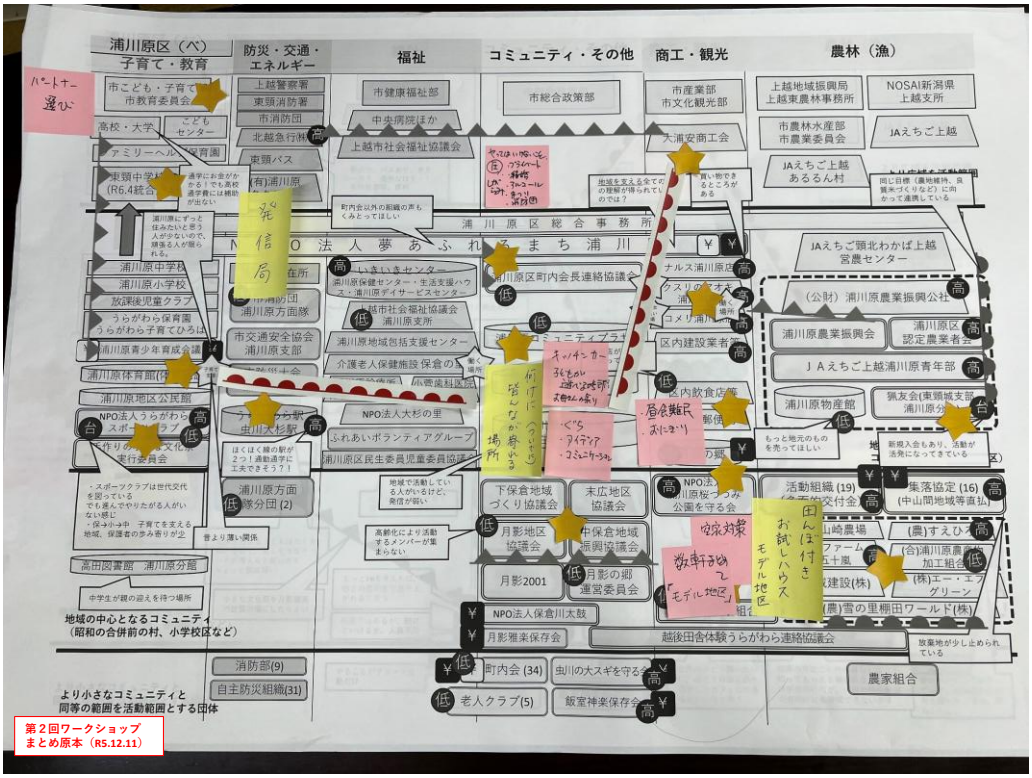
20：30 閉会

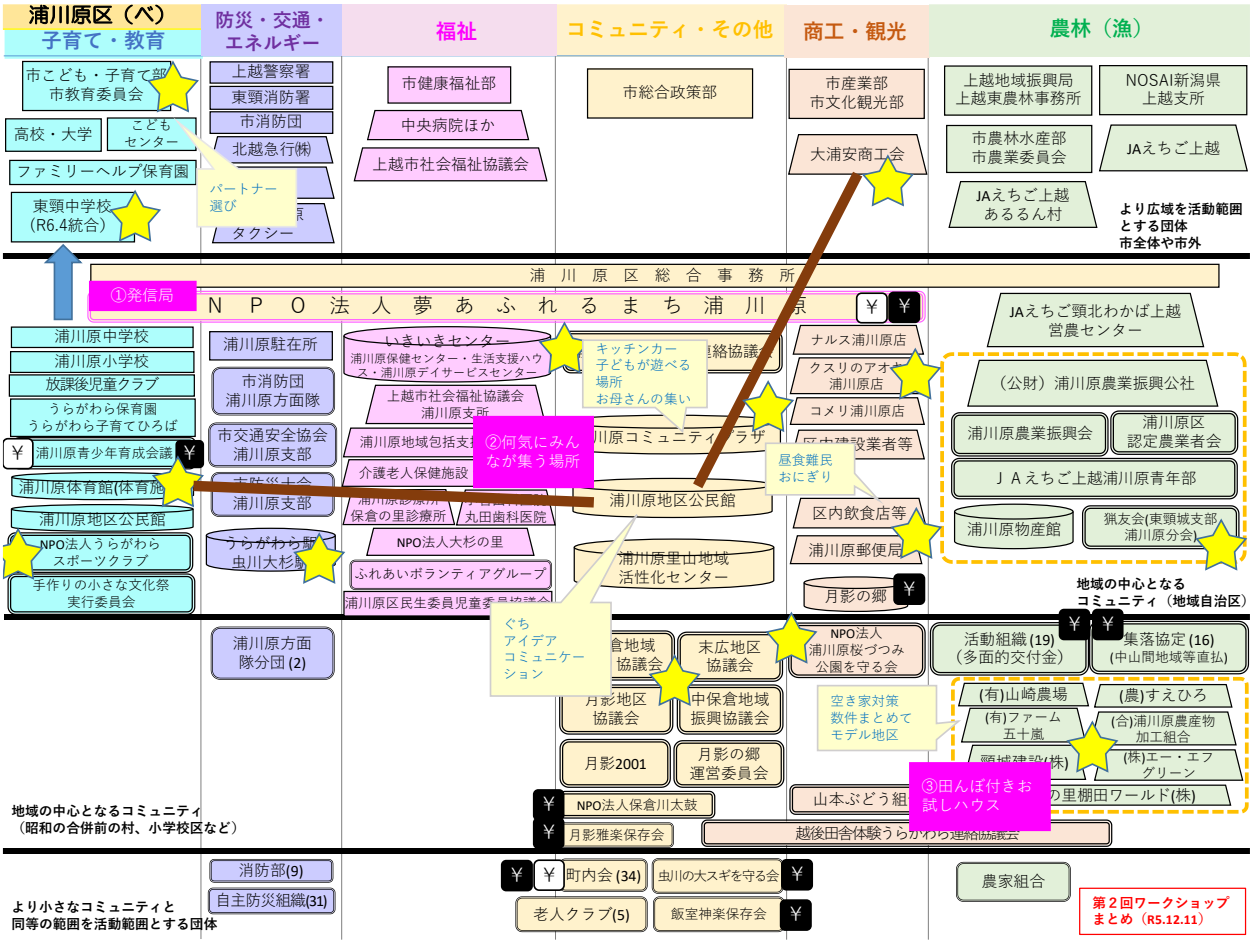
浦川原（ヤング）


浦川原区（ヤ）
子育て・教育
防災・交通・エネルギー
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
情報発信のベース基地
地域の中心となるコミュニティ
（昭和の合併前の村、小学校区など）
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
第２回ワークショップ
まとめ原本（R5.12.11）

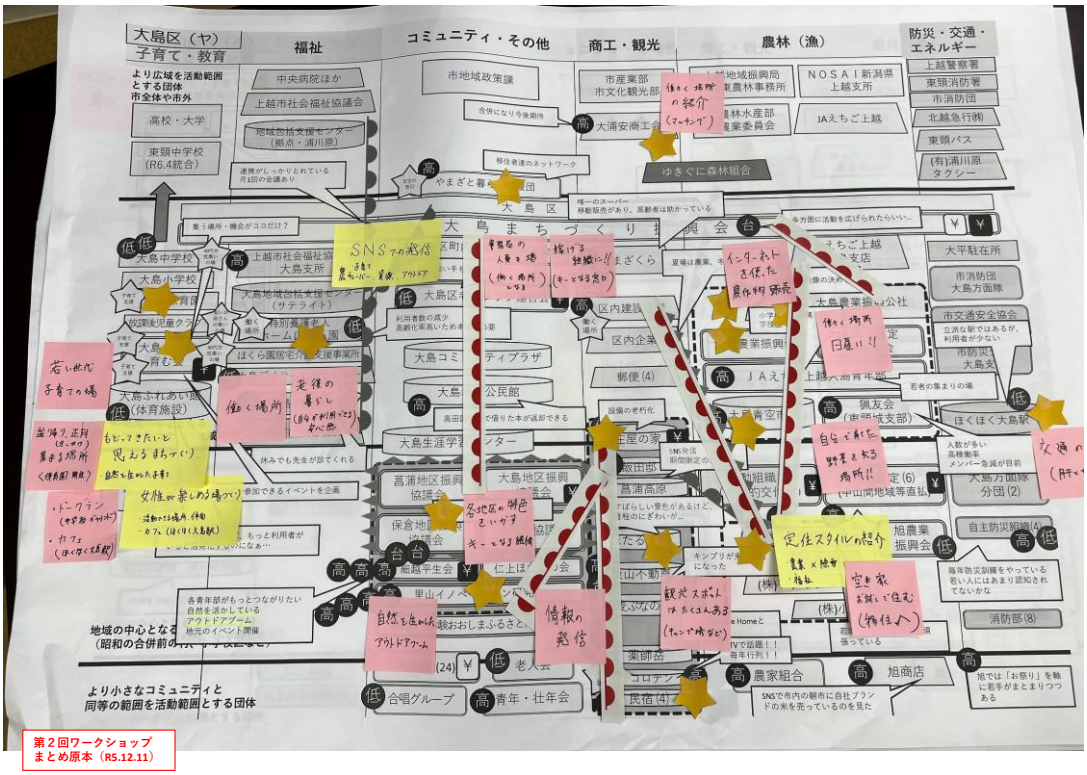

浦川原区（ヤ）
子育て・教育
防災・交通・エネルギー
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
市こども・子育て部
市教育委員会
高校・大学
こども センター
ファミリーヘルプ保育園
東頸中学校
(R6.4統合)
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行㈱
東頸バス
(有)浦川原タクシー
市健康福祉部
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
市総合政策部
市産業部
市文化観光部
大浦安商工会
起業サポート
上越地域振興局
上越東農林事務所
NOSAI新潟県
上越支所
市農林水産部
市農業委員会
JAえちご上越
JAえちご上越
あるるん村
より広域を活動範囲
とする団体
市全体や市外
スポーツクラブの
活動状況をSNSで広
めてもらう
情報の発信現元
になってほしい
情報をまとめて
ほしい
①情報発信の
ベース基地
浦川原中学校
浦川原小学校
放課後児童クラブ
うらがわら保育園
うらがわら子育てひろば
浦川原青少年育成会議
浦川原体育館(体育施設)
浦川原地区公民館
NPO法人うらがわら
スポーツクラブ
手作りの小さな文化祭
実行委員会
浦川原住在所
消防団
浦川原方面隊
交通安全協会
浦川原支部
市防災士会
浦川原支部
いきいきセンター
浦川原保健センター・生活支援ハウス・浦川原デイサービスセンター
上越市社会福祉協議会
浦川原支所
浦川原地域包括支援センター
介護老人保健施設 保倉の里
浦川原診療所
保倉の里診療所
小菅歯科医院
丸田歯科医院
うらがわら駅
浦川原区民生委員児童委員協議会
浦川原区町内会長連絡協議会
浦川原コミュニティプラザ
浦川原地区公民館
浦川原里山地域
活性化センター
ナルス浦川原店
区内建設業者等
区内飲食店等
浦川原郵便局
月影の郷
飲食スペース
電車を待てる所
お酒のイベントなど
周りにきっかけ
となるイベント
をしてほしい
JAえちご頸北わかば上越
営農センター
浦川原物産館
猟友会(東頸城支部
浦川原分会)
③駅の隣なのでカフェや飲食ス
ペースを作り、電車の待ち時間な
どに活用できるイベントなど、
もっとみんなが知れる仕組みを作
る
②浦川原体育館で様々なスポーツ
を体験できるような組織を作り、
子どもたちの選択肢を増やせる体
制を作る
スポーツのサブスク
いろんなスポーツを月
額制で体験できるよう
な仕組み
子どもが遊べる
公園、児童館
下保倉地域
づくり協議会
末広地区
協議会
月影地区
協議会
中保倉地域
振興協議会
月影2001
月影の郷
運営委員会
NPO法人保倉川太鼓
月影雅楽保存会
NPO法人
浦川原桜づつみ
公園を守る会
山本ぶどう組合
越後田舎体験うらがわら連絡協議会
(有)山崎農場
(有)ファーム
五十嵐
頸城建設(株)
(農)すえひろ
(合)浦川原農産物
加工組合
(株)エー・エフ
グリーン
(農)雪の里棚田ワールド(株)
農家組合
消防部(9)
自主防災組織(31)
町内会 (34)
虫川の大スギを守る会
老人クラブ(5)
飯室神楽保存会
地域の中心となるコミュニティ
（昭和の合併前の村、小学校区など）
第2回ワークショップ
まとめ（R5.12.11）

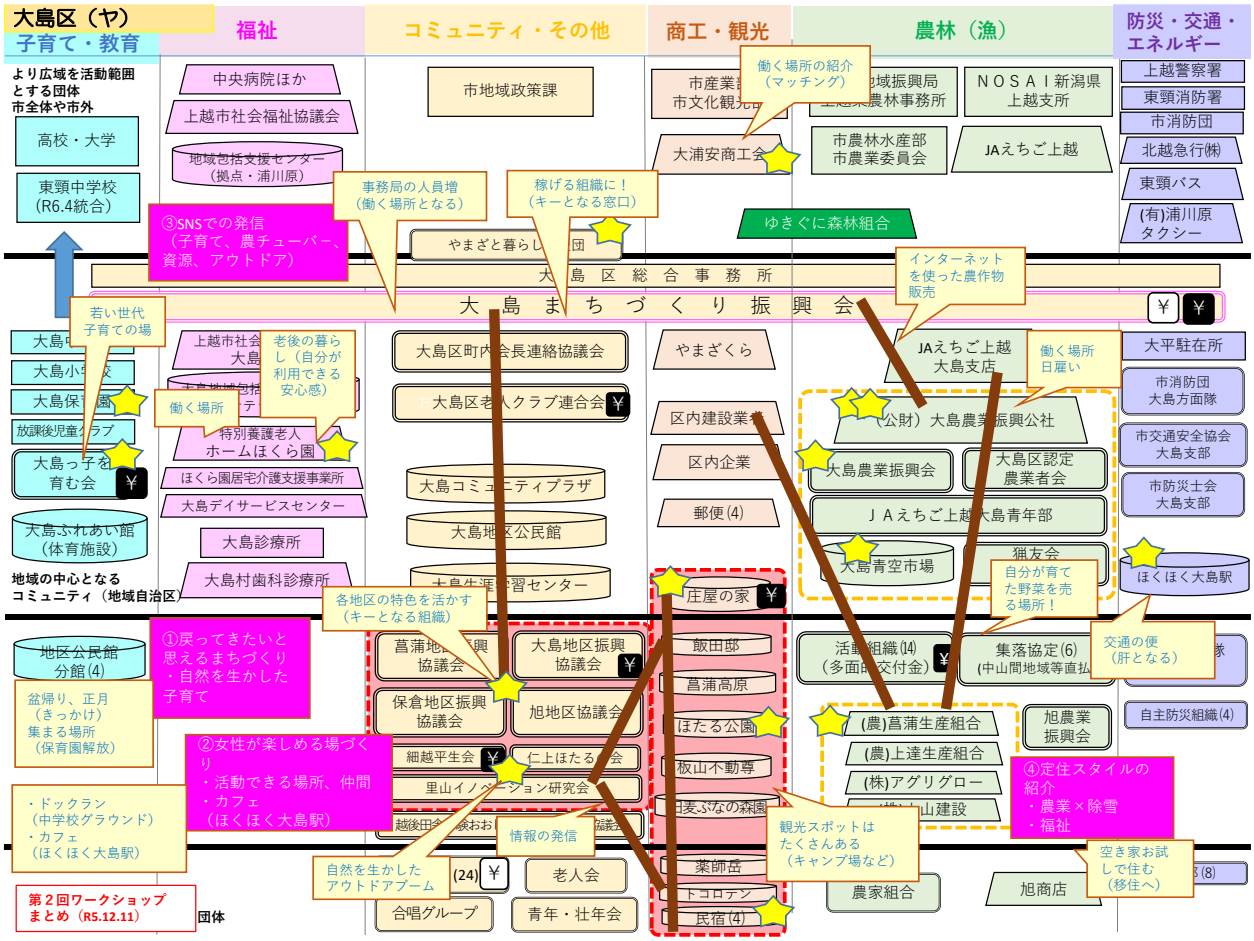
浦川原（ベテラン）


浦川原区（ベ）
子育て・教育
防災・交通・エネルギー
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
パートナー選び
発信局
NPO法人夢あふれるまち浦川
地域の中心となるコミュニティ（昭和の合併前の村、小学校区など）
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体
第２回ワークショップまとめ原本（R5.12.11）

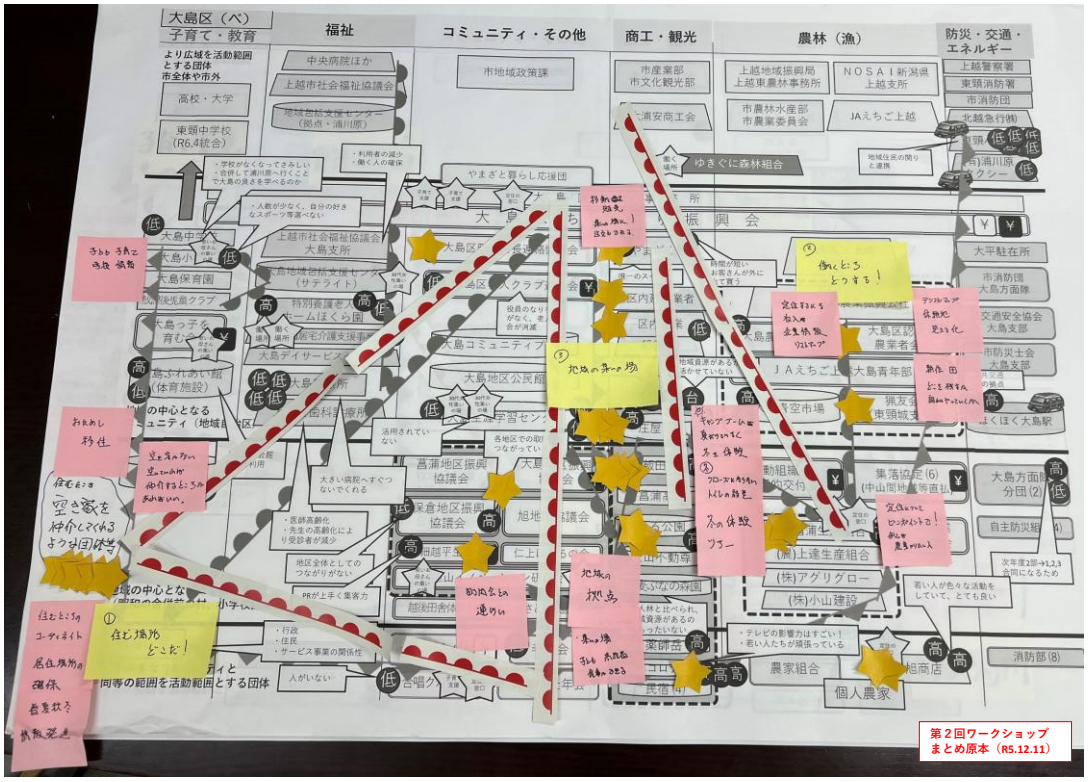

浦川原区（ベ）
子育て・教育
防災・交通・エネルギー
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
市こども・子育て部
市教育委員会
高校・大学
こども センター
ファミリーヘルプ保育園
東頸中学校（R6.4統合）
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行㈱
タクシー
市健康福祉部
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
市総合政策部
市産業部
市文化観光部
大浦安商工会
上越地域振興局
上越東農林事務所
NOSAI新潟県
上越支所
市農林水産部
市農業委員会
JAえちご上越
JAえちご上越あるるん村
パートナー選び
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
浦川原区総合事務所
①発信局
NPO法人夢あふれるまち浦川
浦川原中学校
浦川原小学校
放課後児童クラブ
うらがわら保育園
うらがわら子育てひろば
浦川原青少年育成会議
浦川原体育館(体育施
浦川原地区公民館
NPO法人うらがわらスポーツクラブ
手作りの小さな文化祭実行委員会
浦川原駐在所
市消防団浦川原方面隊
市交通安全協会浦川原支部
浦川原支部
うらがわら駅
虫川大杉駅
いきいきセンター
浦川原保健センター・生活支援ハウス・浦川原デイサービスセンター
上越市社会福祉協議会浦川原支所
浦川原地域包括支
介護老人保健施設
保倉の里診療所
丸田歯科医院
NPO法人大杉の里
ふれあいボランティアグループ
浦川原区民生委員児童委員協議会
②何気にみんなが集う場所
キッチンカー
子どもが遊べる場所
お母さんの集い
浦川原コミュニティプラザ
浦川原地区公民館
浦川原里山地域活性化センター
ぐち
アイデア
コミュニケーション
ナルス浦川原店
クスリのアオキ浦川原店
コメリ浦川原店
区内建設業者等
区内飲食店等
浦川原郵便局
月影の郷
昼食難民おにぎり
NPO法人浦川原桜づつみ公園を守る会
空き家対策数件まとめてモデル地区
③田んぼ付きお試しハウス
JAえちご頸北わかば上越営農センター
（公財）浦川原農業振興公社
浦川原農業振興会
浦川原区認定農業者会
ＪＡえちご上越浦川原青年部
浦川原物産館
猟友会(東頸城支部浦川原分会)
活動組織(19)（多面的交付金）
集落協定(16)（中山間地域等直払）
(有)山崎農場
(農)すえひろ
(有)ファーム五十嵐
(合)浦川原農産物加工組合
(株)エー・エフグリーン
地域の中心となるコミュニティ（地域自治区）
地域の中心となるコミュニティ（昭和の合併前の村、小学校区など）
浦川原方面隊分団(2)
末広地区協議会
月影地区協議会
中保倉地域振興協議会
月影2001
月影の郷運営委員会
NPO法人保倉川太鼓
月影雅楽保存会
越後田舎体験うらがわら連絡協議会
山本ぶどう組
農家組合
消防部(9)
自主防災組織(31)
町内会(34)
虫川の大スギを守る会
老人クラブ(5)
飯室神楽保存会
より小さなコミュニティと同等の範囲を活動範囲とする団体
第２回ワークショップまとめ（R5.12.11）

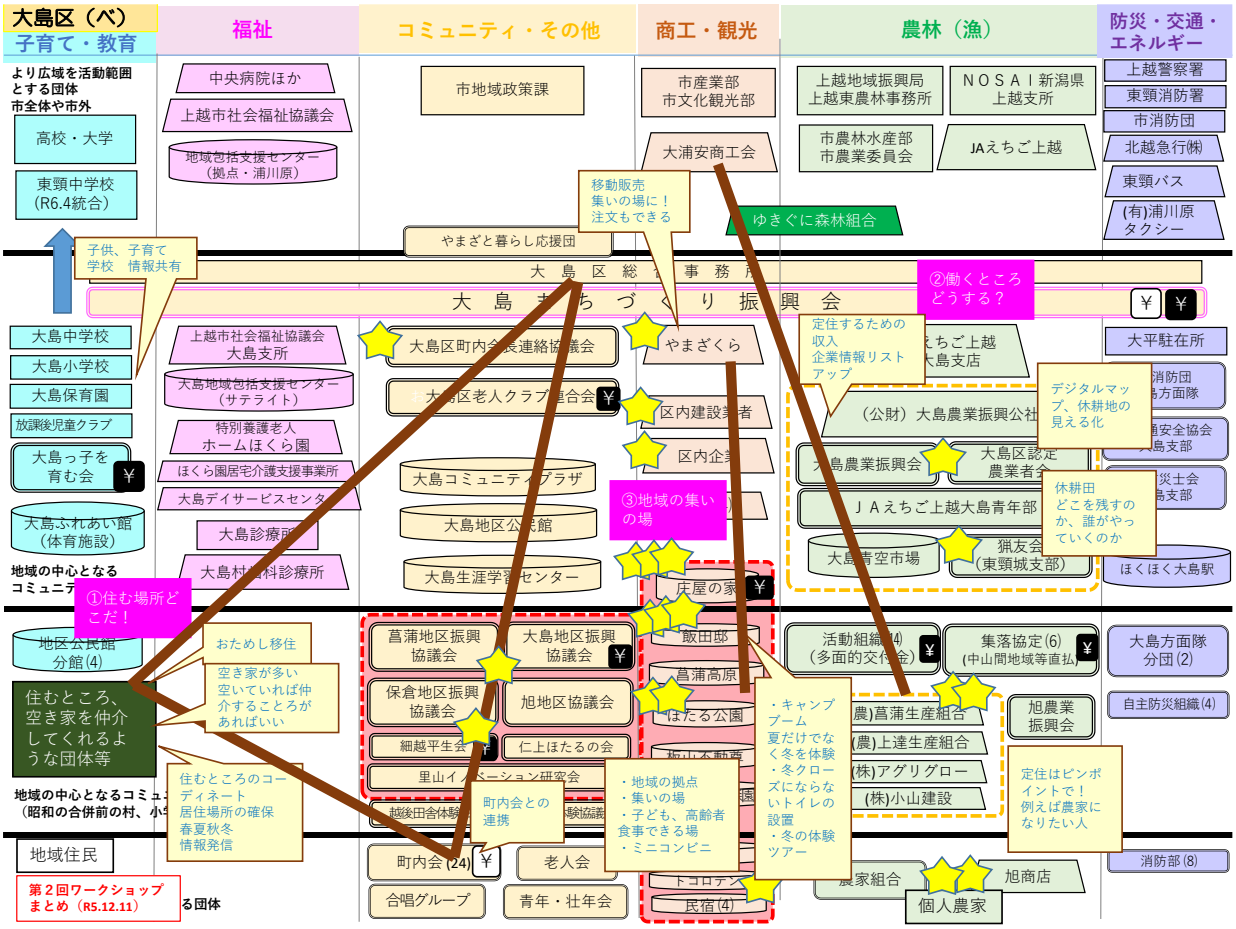
大島（ヤング）


大島区（ヤ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
第２回ワークショップ
まとめ原本（R5.12.11）

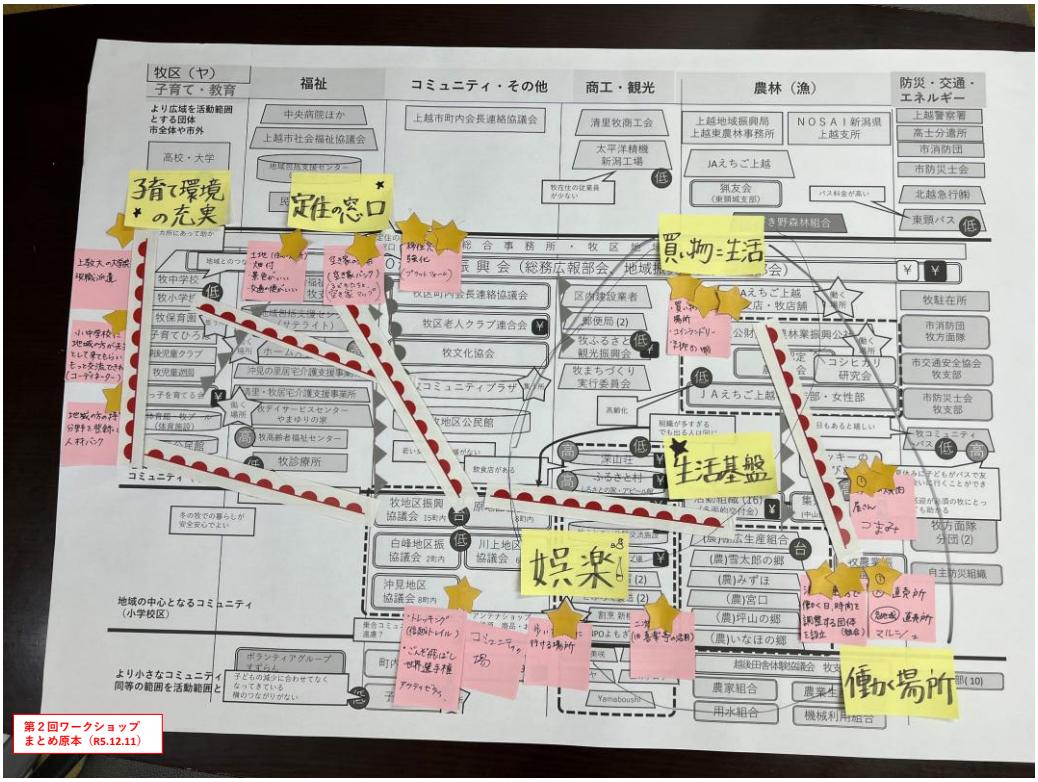

大島区（ヤ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
高校・大学
東頸中学校（R6.4統合）
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
地域包括支援センター（拠点・浦川原）
市地域政策課
市産業部 市文化観光部
大浦安商工会
市農林水産部 市農業委員会
JAえちご上越
ＮＯＳＡＩ新潟県 上越支所
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行㈱
東頸バス
(有)浦川原タクシー
ゆきぐに森林組合
やまざと暮らし応援団
大島区総合事務所
大島まちづくり振興会
大島中学校
大島小学校
大島保育園
放課後児童クラブ
大島っ子を育む会
大島ふれあい館（体育施設）
地域の中心となるコミュニティ（地域自治区）
地区公民館分館(4)
大島区町内会長連絡協議会
大島区老人クラブ連合会
大島コミュニティプラザ
大島地区公民館
大島生涯学習センター
やまざくら
区内建設業
区内企業
郵便(4)
庄屋の家
飯田邸
菖蒲高原
ほたる公園
板山不動尊
麦ふなの森園
薬師岳
トコロテン
民宿(4)
特別養護老人ホームほらく園
ほらく園居宅介護支援事業所
大島デイサービスセンター
大島診療所
大島村歯科診療所
菖蒲地区振興協議会
保倉地区振興協議会
大島地区振興協議会
旭地区協議会
細越平生会
仁上ほたる会
里山イノベーション研究会
越後田会
老人会
青年・壮年会
合唱グループ
JAえちご上越 大島支店
(公財) 大島農業振興公社
大島農業振興会
大島区認定農業者会
ＪＡえちご上越大島青年部
大島青空市場
猫友会
活動組織(14)（多面的交付金）
集落協定(6)（中山間地域等直払）
(農)菖蒲生産組合
(農)上達生産組合
(株)アグリグロー
旭農業振興会
農家組合
旭商店
大平駐在所
市消防団 大島方面隊
市交通安全協会 大島支部
市防災士会 大島支部
ほくほく大島駅
自主防災組織(4)
消防部(8)
働く場所の紹介（マッチング）
事務局の人員増（働く場所となる）
稼げる組織に！（キーとなる窓口）
③SNSでの発信（子育て、農チューバー、資源、アウトドア）
インターネットを使った農作物販売
若い世代子育ての場
老後の暮らし（自分が利用できる安心感）
働く場所
働く場所日雇い
各地区の特色を活かす（キーとなる組織）
自分が育てた野菜を売る場所！
①戻ってきたいと思えるまちづくり・自然を生かした子育て
盆帰り、正月（きっかけ）集まる場所（保育園解放）
②女性が楽しめる場づくり・活動できる場所、仲間・カフェ（ほくほく大島駅）
交通の便（肝となる）
④定住スタイルの紹介・農業×除雪・福祉
・ドックラン（中学校グラウンド）・カフェ（ほくほく大島駅）
観光スポットはたくさんある（キャンプ場など）
情報の発信
自然を生かしたアウトドアプーム
空き家お試しで住む（移住へ）
第２回ワークショップ
まとめ（R5.12.11）

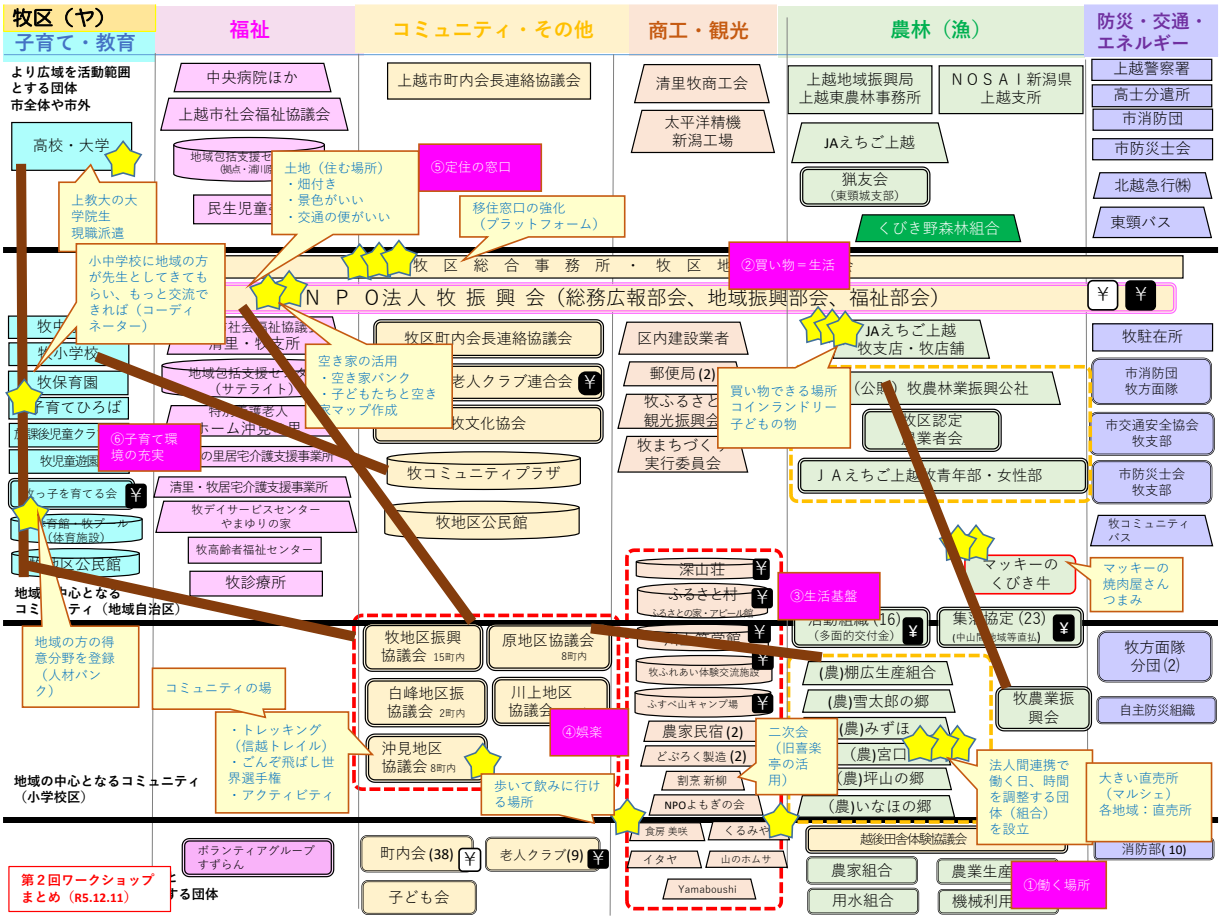
大島（ベテラン）


大島区（べ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
第２回ワークショップ
まとめ原本（R5.12.11）

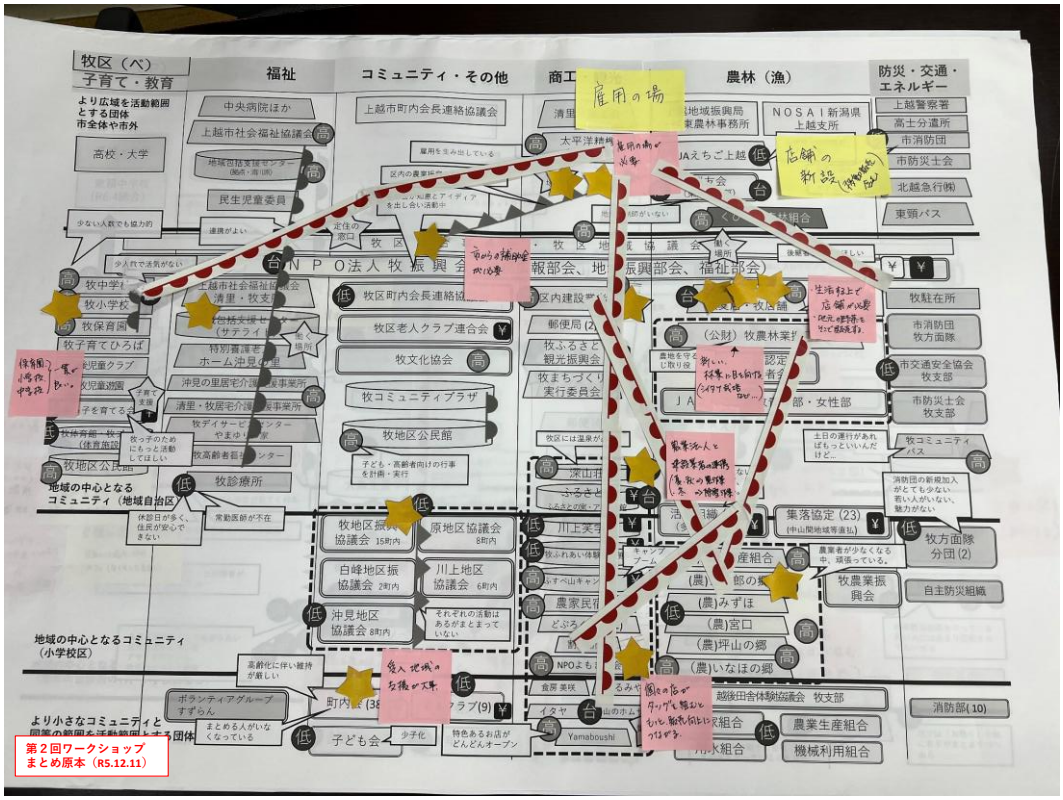

大島区（べ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
高校・大学
東頸中学校（R6.4統合）
中央病院ほか
上越市社会福祉協議会
地域包括支援センター（拠点・浦川原）
市地域政策課
市産業部 市文化観光部
大浦安商工会
上越地域振興局 上越東農林事務所
ＮＯＳＡＩ新潟県 上越支所
市農林水産部 市農業委員会
JAえちご上越
上越警察署
東頸消防署
市消防団
北越急行㈱
東頸バス
(有)浦川原タクシー
移動販売 集いの場に！ 注文もできる
子供、子育て 学校　情報共有
やまざと暮らし応援団
ゆきぐに森林組合
大島区総合事務所
大島まちづくり振興会
②働くところ どうする？
大島中学校
大島小学校
大島保育園
放課後児童クラブ
大島っ子を育む会
大島ふれあい館（体育施設）
地域の中心となるコミュニティ
上越市社会福祉協議会 大島支所
大島地域包括支援センター（サテライト）
特別養護老人ホームほくら園
ほくら園居宅介護支援事業所
大島デイサービスセンター
大島診療所
大島村歯科診療所
大島区町内会長連絡協議会
大島区老人クラブ連合会
大島コミュニティプラザ
大島地区公民館
大島生涯学習センター
やまざくら
区内建設業者
区内企業
庄屋の家
③地域の集いの場
定住するための収入 企業情報リストアップ
デジタルマップ、休耕地の見える化
（公財）大島農業振興公社
大島農業振興会
大島区認定農業者会
ＪＡえちご上越大島青年部
大島青空市場
猟友会（東頸城支部）
休耕田 どこを残すのか、誰がやっていくのか
大平駐在所
大島方面隊分団(2)
自主防災組織(4)
ほくほく大島駅
①住む場所どこだ！
おためし移住
空き家が多い 空いていれば仲介することがあればいい
住むところ、空き家を仲介してくれるような団体等
地域の中心となるコミュニティ（昭和の合併前の村、小学校区）
地区公民館分館(4)
菖蒲地区振興協議会
大島地区振興協議会
保倉地区振興協議会
旭地区協議会
細越平生会
仁上ほたるの会
里山イノベーション研究会
越後田舎体験協議会
飯田邸
菖浦高原
ほたる公園
・地域の拠点 ・集いの場 ・子ども、高齢者食事できる場 ・ミニコンビニ
・キャンブーム 夏だけでなく冬を体験 ・冬クローズにならないトイレの設置 ・冬の体験ツアー
活動組織(4)（多面的交付金）
集落協定(6)（中山間地域等直払）
(農)菖蒲生産組合
(農)上達生産組合
(株)アグリグロー
(株)小山建設
旭農業振興会
定住はピンポイントで！ 例えば農家になりたい人
住むところのコーディネート 居住場所の確保 春夏秋冬 情報発信
町内会との連携
地域住民
町内会(24)
老人会
合唱グループ
青年・壮年会
トコロテン
民宿(4)
農家組合
旭商店
個人農家
消防部(8)
第２回ワークショップ
まとめ（R5.12.11）

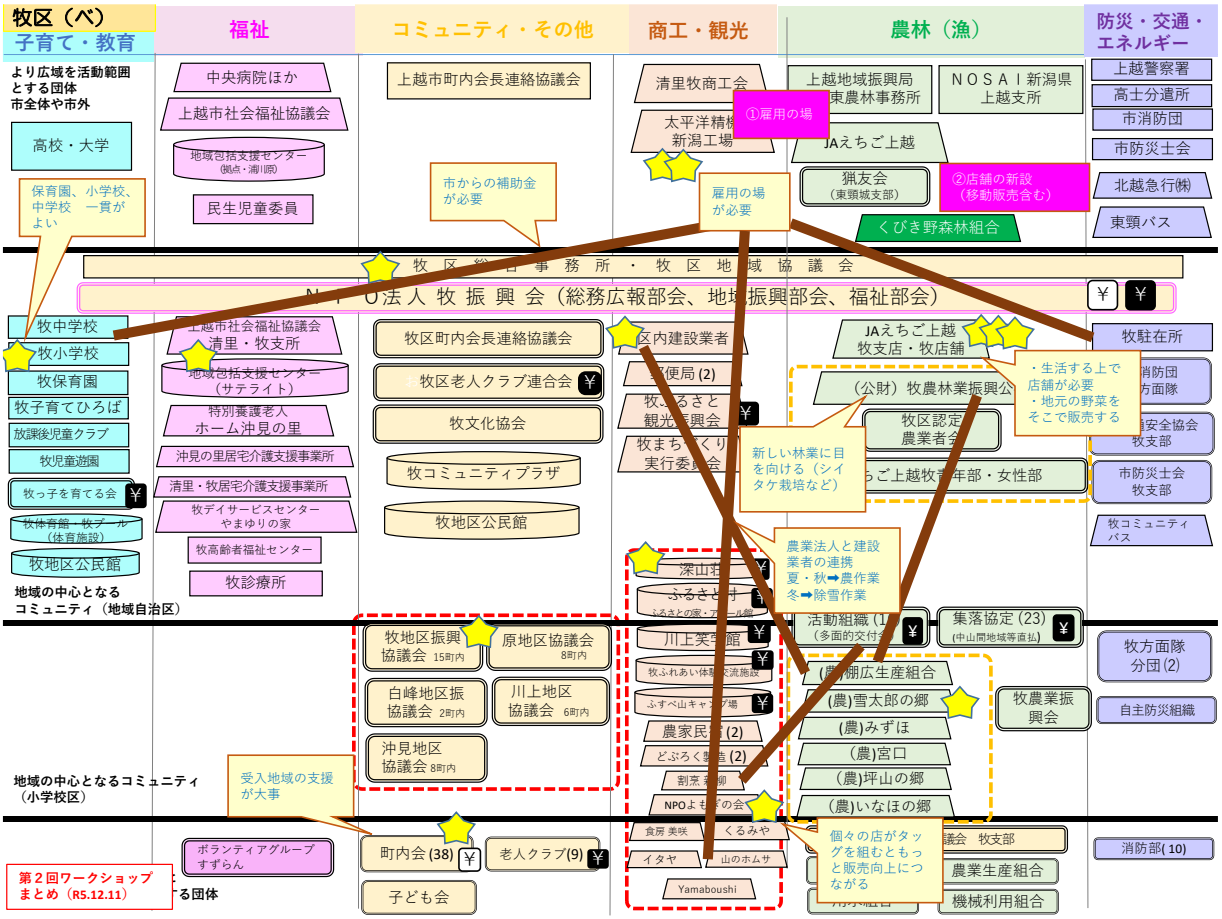
牧（ヤング）


牧区（ヤ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
子育て環境の充実
定住の窓口
買い物＝生活
生活基盤
娯楽
働く場所
第２回ワークショップ
まとめ原本（R5.12.11）


牧区（ヤ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
より広域を活動範囲とする団体
市全体や市外
高校・大学
上教大の大学院生現職派遣
土地（住む場所）
・畑付き
・景色がいい
・交通の便がいい
⑤定住の窓口
移住窓口の強化（プラットフォーム）
②買い物＝生活
小中学校に地域の方が先生としてきてもらい、もっと交流できれば（コーディネーター）
空き家の活用
・空き家バンク
・子どもたちと空き家マップ作成
買い物できる場所
コインランドリー
子どもの物
⑥子育て環境の充実
③生活基盤
マッキーの焼肉屋さんつまみ
地域の方の得意分野を登録（人材バンク）
コミュニティの場
・トレッキング（信越トレイル）
・ごんぞ飛ばし世界選手権
・アクティビティ
④娯楽
歩いて飲みに行ける場所
二次会（旧喜楽亭の活用）
法人間連携で働く日、時間を調整する団体（組合）を設立
大きい直売所（マルシェ）各地域：直売所
①働く場所
地域の中心となるコミュニティ（小学校区）
第２回ワークショップ
まとめ（R5.12.11）

牧(ベテラン)


牧区（べ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
雇用の場
店舗の新設
第２回ワークショップ
まとめ原本（R5.12.11）


牧区（べ）
子育て・教育
福祉
コミュニティ・その他
商工・観光
農林（漁）
防災・交通・エネルギー
①雇用の場
②店舗の新設
（移動販売含む）
保育園、小学校、中学校　一貫がよい
市からの補助金が必要
雇用の場が必要
・生活する上で店舗が必要
・地元の野菜をそこで販売する
新しい林業に目を向ける（シイタケ栽培など）
農業法人と建設業者の連携
夏・秋➡農作業
冬➡除雪作業
受入地域の支援が大事
個々の店がタッグを組むともっと販売向上につながる
第２回ワークショップ
まとめ（R5.12.11）

第４回 活動報告

テーマ 『定住を実現するためのアイデアを出し合う』

1/16（火）浦川原

1/18（木）大島

2/26（火）牧

① 浦川原区 １月 16 日(火)
２月 20 日(火)
場所:浦川原区総合事務所 301 会議室
時間:18 時 30 分から 20 時 30 分

② 大島区 1月 18 日(木)
２月 22 日(木)
場所:大島区コミプラ 市民活動室１
時間:18 時 30 分から 20 時 30 分

③ 牧区 ２月 26 日(月)
場所:牧区総合事務所 301 会議室
時間:18 時 30 分から 20 時 30 分

開催内容

～ 次世代の定住を実現する取組（アイデア）を考える ～

人口の安定化シナリオや将来の地元関係図等の実現に向けて、実践する具体的な取組（アイデア）を出し、まとめる

① 定住を推進するための、具体的な取組（アイデア）は何か？

② その取組（アイデア）は、誰が主体となり、どのように連携して行ったらよいか？

③ 来年度取組む内容（お試しも含む）を考える

ワークショップの流れ

18:30 はじめに
前回のふりかえり、今回のグループワークの進め方、定住推進の取組みを考える上でのポイントを説明しました

18:45～20:30 グループワーク
各 2 グループ（ヤング・ベテラン）にわかれて、模造紙を使ったグループワークを行いました。

成果発表会

1 趣 旨

近年、人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティの維持や生活支援、地域内、地域外との交流など、様々な地域課題への対応が求められている。そのためには、人口の安定化をはじめ、経済の面においても、環境の面においても、将来にわたり持続可能なまちづくりを、地区ごとに進めることが重要と考えている。

令和 5 年度は、大島、浦川原、牧の 3 区をモデル地区とした「地区別まちづくりワークショップ」をスタートさせた。ワークショップには様々な活動分野から、老若男女の住民が参加し、地域の現状・課題を整理し、地域が持続可能であるための将来像を考え、定住を実現するためのアイデアを提示することを目的としていた。

この各チームのアイデアを報告、話し合いの経過等を発表・共有する場づくりとするとともに、来年度以降の実践に向けた場づくりのキックオフを行うもの。

2 日 時

令和 6 年 3 月 10 日（日） 13:30～15:30

3 会 場

浦川原コミュニティプラザ 市民ホール

4 参加者

約 90 人（ワークショップ参加者 45、3 区住民 25、その他住民 10、議員 4、報道 4）

5 プログラム

時 間	内 容
13:30～13:35	挨拶（内海副所長）
13:35～13:45	趣旨・ワークショップの開催実績報告
13:45～15:00	ワークショップ成果報告 【発表内容】 人口シミュレーション 地元関係図・天気図（地域の仕組み・強み・弱み） 定住推進に向けた取組（アイデア） ① 大島ベテランチーム ② 大島ヤングチーム ③ 浦川原ベテランチーム ④ 浦川原ヤングチーム ⑤ 牧ベテランチーム ⑥ 牧ヤングチーム
15:00～15:25	総評と今後の活動に向けて（藤山所長）
15:25～15:30	発表を聞いての感想（市長）

～ 令和5年度 上越市持続可能な地区別まちづくり支援事業 ～

大島・浦川原・牧区

地区別まちづくり ワークショップ 成果発表会

3/10（日）
13時30分～15時30分
（開場 １３時）

［会　場］ **浦川原コミュニティプラザ 4階　市民ホール**
（上越市浦川原区釜淵５番地）

地域内の人口や組織などを共有

持続可能な地域づくり（定住戦略）に向けたアイデア出しを実施中

ワークショップでの話し合った成果を発表

★定住促進に向けた取組のアイデアを発表します！！

近年、人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティの維持や生活支援、地域内外との交流など、様々な地域課題への対応が求められています。そのためには、人口の安定化をはじめ、経済の面においても、環境の面においても、将来にわたり持続可能なまちづくりを、地区ごとに進めることが重要と考えています。

そこで、今年度大島、浦川原、牧の３区をモデル地区に選定し、地域の現状・課題を整理し、地域が持続可能であるための将来像を考え、定住促進に向けた課題やアイデアを検討するための住民ワークショップを行ってきました。

今回、この事業の概要を振り返るともに、ワークショップの成果を発表します。地域づくりや協働のあり方など、関心のある皆様の参加をお待ちしています。

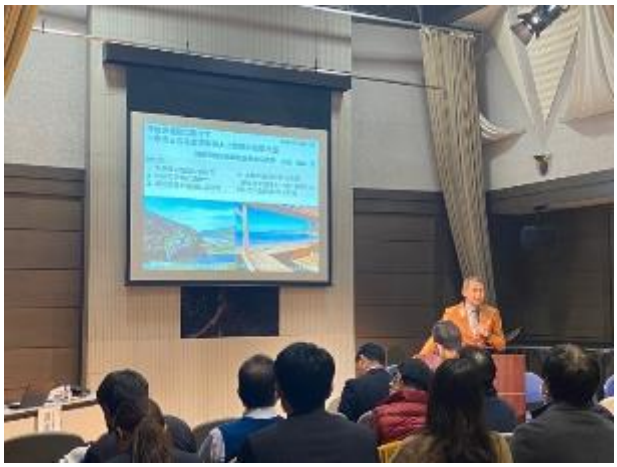
■統括アドバイザー

上越市創造行政研究所
所長　**藤山　浩**

【お問合せ】**上越市創造行政研究所**　025-526-3490（平日8:30～17:15）

成果発表会の様子（全体）

なぜ、持続可能なまちづくりが必要なのか？
■背景
■事業の目的
持続可能な地域（上越市）をつくる！！
住みやすいまちをつくり、人口の安定化を目指す



① 大島区ベテランチーム

大島区の定住推進に向けて

シート番号	④
チーム名	大島区ベテランチーム

現状・課題

・人口減少の要因として、大島区の高齢化率が高いことに伴う自然減のほか、10代後半から20代前半までにかけて、進学や就職を機に市外へ転出する若者が多い。また、20代後半から30代の子育て世代の女性の転出も多い。

・少子高齢化に伴い様々な担い手が不足し、自治運営やまちづくり活動が減少している。

・働く場所や職種が少なく、就職のため区外に転出する人が多いため、地域の活力が無くなってきている。

・高齢者世帯や一人暮らし世帯が多い大島区では、年々、空き家が増えている。

・社会変化や高齢化により地域活動の場が減少し、各種活動に関する意欲の低下やつながりが薄れてきている。

地域の魅力・特徴

・ほたるやぶなの森、飯田邸などほかの地域にはない魅力的な資源が大島にはある。

・農業に携わる法人や組織がある一方で、若い人たちが農を切り口に新たな活動に取り組んでいる。

・移動販売車を活用した地域巡回型の顔の見える取組を展開しながら、地域の見守りも行っている。

・特別養護老人ホームほくら園をはじめ、福祉施設が充実しており、それぞれの関係機関で連携が図られている。

取組の柱

★３つの柱

❶ 「住むところ」

❷ 「働くところ」

❸ 「集うところ」

柱① 住むところ

シート番号	⑤
チーム名	大島区ベテランチーム

取組の概要

・一元的に住むところをコーディネートできる仕組みをつくる。

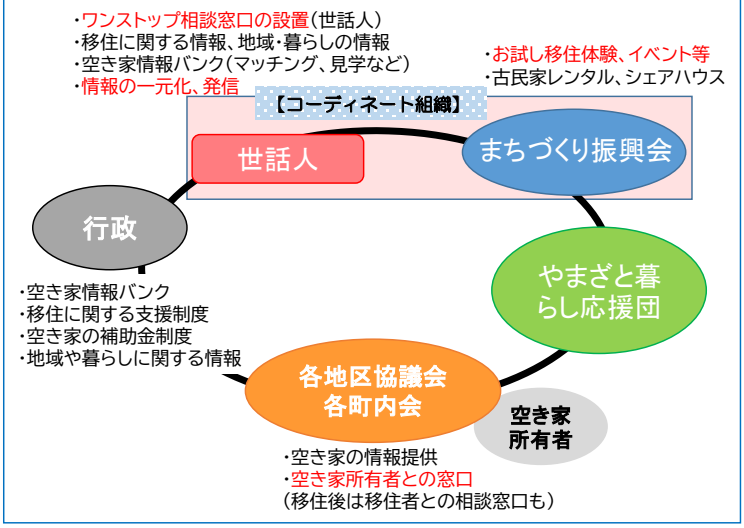
・行政と地域が連携し、空き家などの情報の共有、所有者との連絡窓口の機能を担う。

・まちづくり振興会とやまざと暮らし応援団が協力して、移住先として選ばれるための取組を実施する。

・コーディネート組織は移住に関する情報や体験イベント、住宅や空き家等の情報を一元化し、発信する。

推進体制

・まずは大島区に訪れてもらい、人や自然にふれあう中で、移住先のひとつとして選ばれる取組を、展開できる仕組みを構築する。
・移住者のニーズにあった住宅や空き家の紹介をはじめ、地域や暮らしの情報を一元化し、発信する。



柱②	働くところ	シート番号	⑥
		チーム名	大島区ベテランチーム

取組の概要

・商工会が中心となり各団体や企業と連携し、就業に関する情報を提供する。

・農林業を生業とする取組を展開し、新たな就業機会を生み出す。

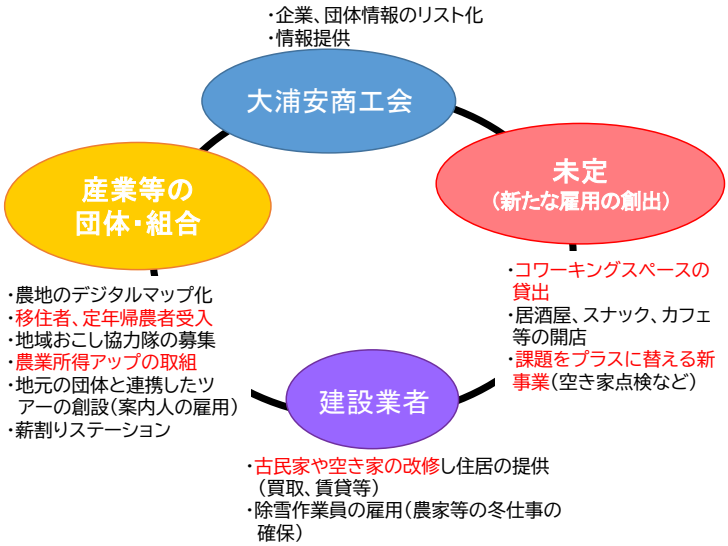
・利用していない施設や空き家等を活用し、誰もが利用できる場所をつくり、新たな雇用を創出する。

・IT産業とのコラボ、ネット環境の整備など、社会情勢の変化にあった就業場所をつくる。

・建設業会等は古民家や空き家を改修し、別荘や住まいを提供する。

推進体制

・商工会が中心となり区内の企業や団体の就業情報等をリストアップし、移住者にとって就業に必要な情報を提供する。
・社会変化にマッチした取組や地域資源（空き家も含む）を活用した新たな産業や雇用の機会を創出する。



柱③	集うところ	シート番号	⑦
		チーム名	大島区ベテランチーム

取組の概要

・移住者や地域住民が気軽に集える拠点場所をつくる。

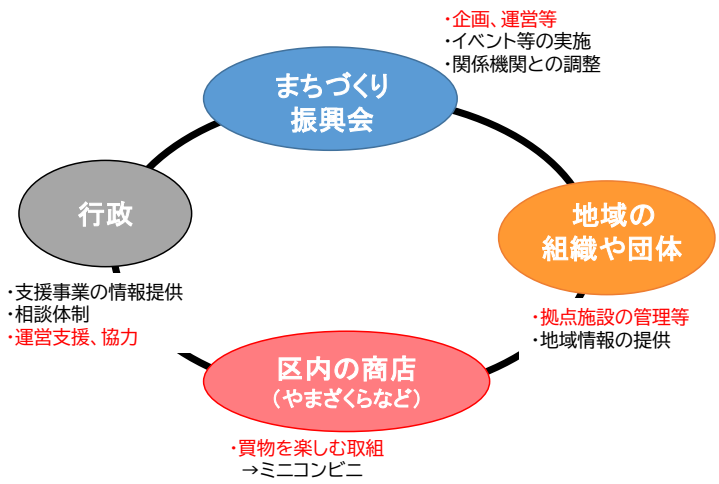
・移住者や地域住民が一緒に楽しめる取組を行い、人や地域とのつながりを高める。

・そこに行けば情報があり、相談もできる体制をつくる。

・1日中集えるように、区内の商店（やまざくらなど）が中心となって、プチ買い物ができる環境をつくる。

推進体制

・地域資源や施設等を活用し、移住者や地域住民が一同に集える場所をつくり、人や地域とのつながりを高める。



・・・ ゆくゆくはみんなの「心」の拠りどころに！(^^)!

選ばれる地域になるための体制づくり	シート番号	⑧
	チーム名	大島区ベテランチーム

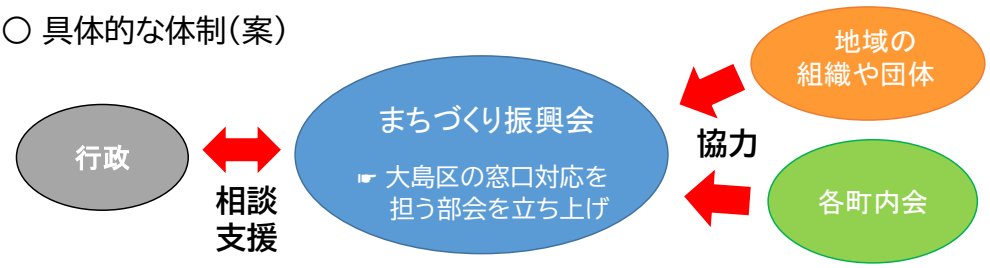
○ ワンストップコーディネートの窓口づくり

移住する場所(住むところ)を決めるには、移住するための情報探しがキーポイント。
そこを判断するには・・・・・どこでどんな情報が手に入るのか、それも簡単に！

移住に関する情報を一元化し、一箇所で情報収集や相談等ができる
窓口一本化に向けた体制を検討する。

【一元化する主な項目】
- ・移住に関する情報
- ・住むところ、働くところ、地域の情報
- ・住居の情報(市営住宅、空き家等)
- ・暮らし体験イベント

○ 具体的な体制(案)



② 大島区ヤングチーム

大島区の定住推進に向けて	シート番号	④
	チーム名	大島区ヤングチーム

現状・課題

- ・人口減少の要因として、高齢化による自然減のほか、進学や就職、結婚を機に市外へ転出する若者が多い。
- ・あらゆる分野の担い手不足が顕著化しており、若者の参画や活動を活性化する必要がある。
- ・４地区（旧学校区）のつながりが弱い。
- ・移住や暮らしに関する情報や定住の窓口となる体制が一元化されておらず、移住定住の獲得機会を逃している。
- ・大島区の資源、観光スポットなどのＰＲが不足している。

地域の魅力・特徴

- ・ほたるやぶなの森、飯田邸など、ほかの地域にはない魅力がある。また、立派な「ほくほく大島駅」がある。
- ・農業に参加する若い人たちが増えてきている。
- ・細越平生会や里山イノベーションなど若い人たちによる新たな取組が展開されている。
- ・特別養護老人ホームほか、福祉施設がある。また、福祉関係の連携が図られている。

取組の柱

❶ 戻ってきたい！と思えるまちづくり

❷ 誰もが楽しめる場づくり

❸ 大島区の情報発信

柱①	戻ってきたい！と思えるまちづくり	シート番号	⑤
		チーム名	大島区ヤングチーム

取組の概要

・各団体や企業が連携し、日常の生活基盤を整える。

・まちづくり振興会が各団体や企業との橋渡し、調整を行う。

・4地区（振興）協議会は、各地域のイベントを盛り上げ、伝統文化の継承を行う。

・子ども会は、子ども達が楽しめるイベントを企画する。

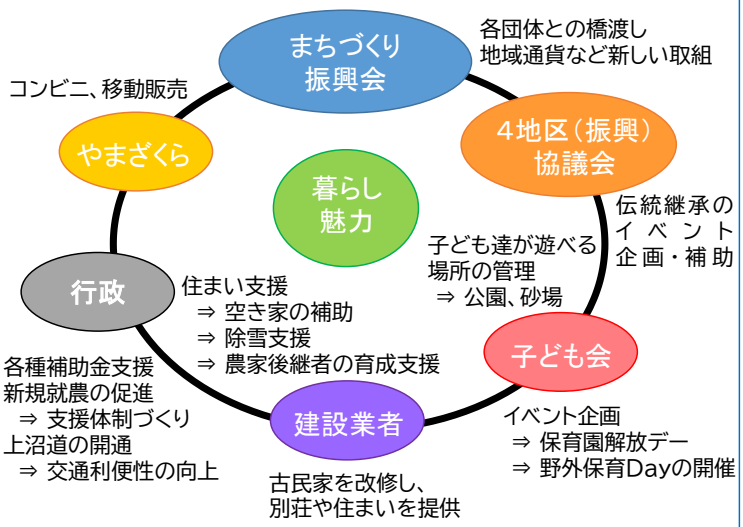
・建設業者は、古民家を改修して、住まいを提供する。

・行政は、補助金制度による移住者への支援を行う。

・やまざくらは、日用品を購入できる場所を提供する。

推進体制

大島区から転出した人や関わった人が、「戻ってきたい！」と思えるようなきっかけや生活基盤をつくる。
⇒伝統継承イベントの企画、子育て環境の整備、補助金制度による移住者への各種支援、交通インフラの整備、住まいの提供



柱②	誰もが楽しめる場づくり	シート番号	⑥
		チーム名	大島区ヤングチーム

取組の概要

・大島中学校と大島小学校を入れ替える。

・まちづくり振興会が主体となり学校やほくほく大島駅を利用した複合施設をつくる。

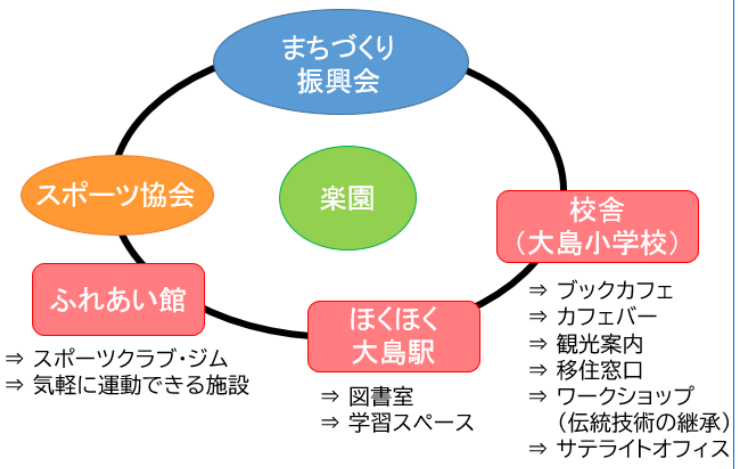
・小学校の校舎を複合施設に改修し、ブックカフェなどの娯楽施設や、サテライトオフィスにする。

・ほくほく大島駅を改修し、図書室や学習スペースをつくる。

・スポーツ協会を立ち上げる。ふれあい館を拠点としてスポーツクラブや、ジムの運営、イベント企画を行う。

推進体制

・廃校、ほくほく大島駅を利用し、誰もが気軽に集まれるカフェなどの娯楽施設がある複合施設をつくる。
・ふれあい館を利用した運動施設をつくる。
⇒ 4地区からアクセスしやすい場所に、幅広い世代が楽しめる場をつくることで、交流の輪を広げる。



柱③	大島区の情報発信	シート番号	⑦
		チーム名	大島区ヤングチーム

取組の概要

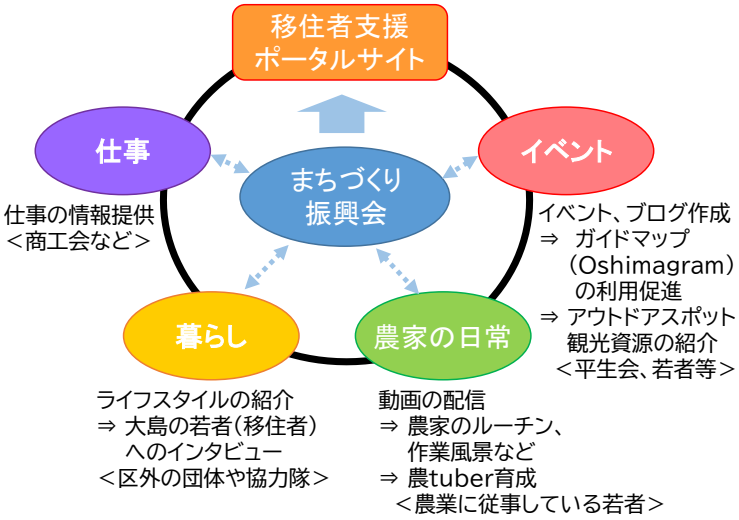
・移住を検討している人が大島区を選んでくれるように、大島区の情報発信を行う。

・まちづくり振興会が、移住者支援のポータルサイトを作成する。

・移住者が大島での生活をイメージできるようにポータルサイトを通じて、各分野ごとの情報発信を行う。

推進体制

・ソーシャルメディアを活用し、大島区の情報を発信する。
⇒ 移住者側が、具体的な移住後のライフスタイルをイメージできるよう日常の暮らしや仕事の情報を発信する。
⇒ 閲覧しやすいように、移住者支援情報の窓口を一元化する。



大島小学校の校舎を利用した複合施設の開業	シート番号	⑧
	チーム名	大島区ヤングチーム

☆大島小学校を大島中学校（来年度廃校）校舎へ移転
理由　中学校は教室も広く複式学級にはピッタリサイズ。トイレもきれいで、給食センターもあるため温かい給食を食べることができる。
☆小学校校舎を複合施設にする
理由　小学校校舎を複合施設にすることにより、農協、郵便局、総合事務所など、様々な施設が近隣に集まり利便性が高い。国道253号線からも見える建物なので、外部からの集客も期待できる。
☆施設の概要
カフェ、観光案内、移住窓口、各種ワークショップ、サテライトオフィス

大島小学校の校舎

廃校活用した校舎内の音楽スタジオ
（参考事例：愛媛県　旧・中津小学校）

③ 浦川原ベテランチーム

浦川原区の定住推進に向けて	シート番号	④
	チーム名	浦川原区ベテランチーム

現状・課題

・人口減少の要因として、10代後半から20代前半までにかけて、進学や就職を機に市外へ転出する若者が多く、その後、戻ってくる人も減少している。また、20代後半から30代の子育て世代の転出も多い。

・このまま放置すると、急激な人口減少と高齢化が進行する。

・何もしないと、小・中学生数は、１０年間で半減もあり得る。

・移住や暮らしに関する情報や定住の窓口となる体制が一元化されておらず、移住や定住の獲得機会を逃している。

・まちづくりの様々な分野において、担い手不足が顕著化しており、若者の参画や活動を活性化する必要がある。

地域の魅力・特徴

・【強み】農業関係の組織の充実・連携

・【強み】子育て環境が整っている。
【台風】NPO法人うらがわらスポーツクラブ

・【強み】スーパーやドラッグストア、ホームセンターなど、買い物ができるところがある。
→ 若いお母さん・30代女性の集いの場、働く場所

・【弱み】地区協議会や各分野の組織の関係性が薄い。
【台風】NPO法人夢あふれるまち浦川原
→ 各組織を結びつけるハブ機能の役割

取組の柱

柱❶ 集いの場

浦川原に暮らしている人たちの満足度を上げないと、そこに暮らしてみたいと思う人は増えない！
まずは、地元の人たちが集い、おしゃべりしたり、子どもを遊ばせたり、学び合うなどの場を作る。

柱❷ おためしハウス

空き家を活用し、田舎暮らしを体験する「おためしハウス」をモデル地区や町内会で開設し、移住・定住の促進につなげる。

柱❸ 情報の発信

浦川原区内の様々な情報をリンクさせ、ホームページやSNSなどで区内外へ発信する発信局を作る。

柱① 集いの場	シート番号	⑤
	チーム名	浦川原区ベテランチーム

取組の概要

浦川原に暮らしている人たちの満足度を上げないと、そこに暮らしてみたいと思う人は増えない！
まずは、地元の人たちが集い、おしゃべりしたり、子どもを遊ばせたり、学び合うなどの場を作る。

NPO法人
夢あふれるまち浦川原
・「集いの場」を開設する。
・集まった人の声を吸い上げるとともに、コミュニケーションを通じて、暮らしの満足度を上げるアイデアを得る。
・時には、キッチンカーやカフェなどを併設するため、業者を手配する。
・市やJAの施設を会場に利用する。

市・浦川原区総合事務所
・会場として、公共施設を提供する。
・コミュニティプラザ、公民館、駅待合室、体育館（スポーツクラブのイベント）、月影の郷・サッカーグラウンド　など

JA
・会場として、浦川原物産館　など

推進体制

・会場や管理人の手配
・集まった人の声を吸い上げる。
・コミュニケーションを通じて、暮らしの満足度を上げるアイデアを得る。
・キッチンカーやカフェなどの併設（手配）

NPO法人
夢あふれるまち
浦川原

浦川原に暮らしている人の満足度向上
→ 暮らしてみたいと思う人の増加！

市
浦川原区
総合事務所

ＪＡ

・浦川原物産館　など

・公共施設を提供
コミュニティプラザ、公民館、駅待合室、体育館（スポーツクラブのイベント）、月影の郷・サッカーグラウンド　など

柱②	おためしハウス	シート番号	⑥
		チーム名	浦川原区ベテランチーム

取組の概要

空き家を活用し、田舎暮らしを体験する「おためしハウス」をモデル地区や町内会で開設し、移住・定住の促進につなげる。

モデル地区やモデル町内会
・「おためしハウス」を開設する。
・NPOと空き家や遊休農地の情報を共有する。
・お試し期間や移住後の農業体験を実施する。
・地元の実情などを知るため、高齢者世帯へのショートステイを実施する。
・農業の指導や生活の相談相手として、主に高齢者が世話人の役目を担う。

NPO法人 夢あふれるまち浦川原
・移住・定住部門や相談窓口、案内人を設置し、移住に関する情報の一元化や発信を行う。
・空き家情報バンクにより、所有者と利用者のマッチングを図る。
・お試し期間や移住後の体験プラン（地域の伝統文化・芸能活動3団体、猟友会活動の見学など）を実施する。

農業公社、商工会
・就労や起業、事業継承の相談などを受ける。
・空き家のリノベーションや農地に関する相談などを受ける。

推進体制

・移住・定住部門の設置
・相談窓口、案内人の設置
・移住に関する情報の一元化・発信
・空き家情報バンク（所有者と利用者のマッチング）
・お試し期間や移住後の体験プラン（地域の伝統文化・芸能活動3団体、猟友会活動の見学　など）

・空き家や遊休農地の情報提供
・お試し期間や移住後の農業体験
・地元の実情や歴史などを知るため、高齢者世帯へショートステイ
・世話人の設置（農業の指導や生活の相談相手として、主に高齢者が役目を担う。）

・就労や起業、事業継承の相談　など
・空き家のリノベーションや農地に関する相談　など

柱③	情報の発信	シート番号	⑦
		チーム名	浦川原区ベテランチーム

取組の概要

浦川原区内の様々な情報をリンクさせ、ホームページやSNSなどで区内外へ発信する発信局を作る。

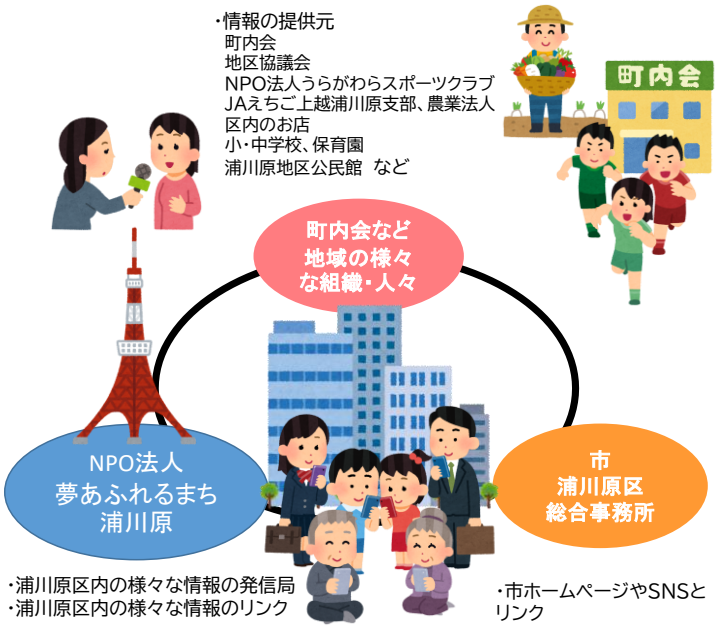
NPO法人 夢あふれるまち浦川原
・区内外へ発信する発信局となる。
・地域の様々な組織や人への取材や情報提供を受ける。

地域の様々な組織・人々
・情報の提供元

市・浦川原区総合事務所
・NPOの発信局の情報を市ホームページやSNSとリンクさせる。

推進体制

・情報の提供元
町内会
地区協議会
NPO法人うらがわらスポーツクラブ
JAえちご上越浦川原支部、農業法人
区内のお店
小・中学校、保育園
浦川原地区公民館　など



・浦川原区内の様々な情報の発信局
・浦川原区内の様々な情報のリンク

・市ホームページやSNSとリンク

浦川原区で来年度取組む内容	シート番号	⑧
	チーム名	浦川原区ベテランチーム

しゃべり場・遊び場・カフェコミプラ

浦川原コミュニティプラザ2階（玄関正面）の市民サロンを「集いの場」にしちゃおう！

・土曜か日曜に集まろう！
・市民サロンの真ん中に置かれている応接椅子（11脚）やテーブル（4台）を壁際に移して、サロンの中心を囲んで座れるようにしよう！
足りなければ、木のベンチも使える。
・空いたスペースに子供たちが遊べるマットを敷く。
大人が座って話をしてもいいね。
・美味しいコーヒーが飲みたいね。
・イベントをやってもいいね。
レクリエーションや音楽、イベントでなくても演奏できるかな？
・運営は誰がする？
ルールを決める必要があるね。

④ 浦川原ヤングチーム

浦川原区の定住推進に向けて	シート番号	④
	チーム名	浦川原区ヤングチーム

現状・課題

・人口減少の要因として、10代後半から20代前半までにかけて、進学や就職を機に市外へ転出する若者が多く、その後、戻ってくる人も減少している。また、20代後半から30代の子育て世代の転出も多い。

・このまま放置すると、急激な人口減少と高齢化が進行する。

・何もしないと、小・中学生数は、１０年間で半減もあり得る。

・移住や定住に関する情報が一元化されておらず、窓口が明確になっていない。また、浦川原区の魅力を発信する場がないことから、移住や定住の獲得機会を逃している。

地域の魅力・特徴

・【強み】NPO法人うらがわらスポーツクラブと学校の連携、放課後児童クラブ・子育てひろば等の子育て環境
→ 子育て支援・若いお母さんの集いの場

・【弱み】駅周辺の盛り上がり感がイマイチ…もっとイベント等があれば…
【台風】浦川原物産館
→ 駅に隣接している環境を生かして、イベント開催や店内への飲食スペース設置により人が集まる場所に

・【強み】スーパーやドラッグストア、ホームセンターなど買い物できる環境が充実
→ 若いお母さんの集いの場・働く場所

・【弱み】区内の各分野同士の連携不足
→ 各分野を結びつけるハブ機能を担う団体が必要

取組の柱

柱❶　スポーツでつながる地域

子どもたちの選択肢を増やすため、様々なスポーツを体験できるような機会を作る。
地域や住民同士のつながりを作るため、誰でも気軽にできる種目の体験会などを実施しながら区内に広める。

柱❷　うらがわら駅周辺の充実

駅の隣という好立地を生かし、浦川原物産館にカフェや飲食スペースを設けるほか、キッチンカーや飲食店の誘致など、日常の中での楽しみを増やし、地域の人が顔を合わせる場所にする。

柱❸　情報発信のベース基地

団体等が個々に情報発信するだけでなく、誰でも発信できる仕組みと合わせて様々な情報が集まるSNSサイトを作る。

柱①	スポーツでつながる地域	シート番号	⑤
		チーム名	浦川原区ヤングチーム

取組の概要

子どもたちの選択肢を増やすため、様々なスポーツを体験できるような機会を作る。

地域や住民同士のつながりを作るため、誰でも気軽にできる種目の体験会などを実施しながら区内に広める。

NPO法人うらがわらスポーツクラブ

・定額制の体験プログラムを作成し、子どもたちが様々な種目を体験できる機会にすることで、スポーツの選択肢を増やす。
・親子で楽しめる種目や誰でもできる種目の体験教室や大会を開催し、区内の地域や住民同士がつながっていけるような取組を広める。
・灯の回廊に絡めた雪を生かした雪上イベントを開催して子どもたちの忘れられない思い出作りの機会にする。

町内会　４地区協議会

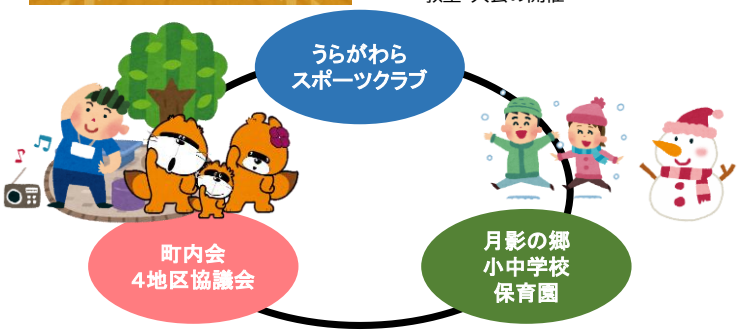
・健康づくりのため、地域住民も参加しながら、みんなで運動する取組（例えば子ども会等で行っているラジオ体操やウオーキングなど）の機会を継続・拡大する。
・誰でもできる種目で行われる地区別対抗大運動会に参加する。

月影の郷・小中学校・保育園

・各種イベントに協力する。

推進体制

・スポーツのサブスクリプション
・親子で楽しむスポーツ体験イベント
・誰でもできるスポーツ種目の体験教室・大会の開催



・みんなが運動でつながる取組（例えばラジオ体操など）
・誰でも気軽にできる種目で地区別対抗大運動会

・灯の回廊に絡めた雪を生かした雪上イベントで子どもたちの思い出づくりを

柱②	うらがわら駅周辺の充実	シート番号	⑥
		チーム名	浦川原区ヤングチーム

取組の概要

駅の隣という好立地を生かし、浦川原物産館にカフェや飲食スペースを設けるほか、キッチンカーや飲食店の誘致など、日常の中での楽しみを増やし、地域の人が顔を合わせる場所にする。

浦川原物産館

・店内にカフェや飲食スペースを作り、電車を待つ人や地域の人が顔を合わせる場所にする。
・定期的にキッチンカーを呼ぶ。
・定期的に小規模な市（マルシェ）のようなものを開催し、地域の人が集まり、顔を合わせる場所にする。

大浦安商工会

・お酒の飲める飲食店を誘致する。

新潟第一酒造（株）

・電車利用によるお酒のイベントを開催する。
・浦川原物産館のイベント等に出店する。

協力団体

・マルシェに出店して盛り上げる。

その他

・公園を作り、子どもが遊んだり地域の人が過ごしたりできる憩いの場にする。

推進体制

・お酒の飲める飲食店の誘致

・店内にカフェや飲食スペースを作り、地域の人が顔を合わせる場所に
・定期的にキッチンカーを誘致
・定期的に小規模な市(マルシェ)のようなものを開催

・公園を作ってみんなの憩いの場に

・駅を活用したお酒のイベント
・飲食店の出店

・マルシェに出店して盛り上げ

柱③	情報発信のベース基地	シート番号	⑦
		チーム名	浦川原区ヤングチーム

取組の概要

団体等が個々に情報発信するだけでなく、誰でも発信できる仕組みと合わせて様々な情報が集まるSNSサイトを作る。

住民組織

・誰でも発信できる仕組みと、浦川原の様々な情報が集まる場所（ポータルサイト）を作って管理する。
・情報発信する人をアルバイト的に雇用して内容を充実させる。
・情報発信方法を学ぶセミナー講習を開催する。

インフルエンサー

・区内の様々な情報を収集して発信する。

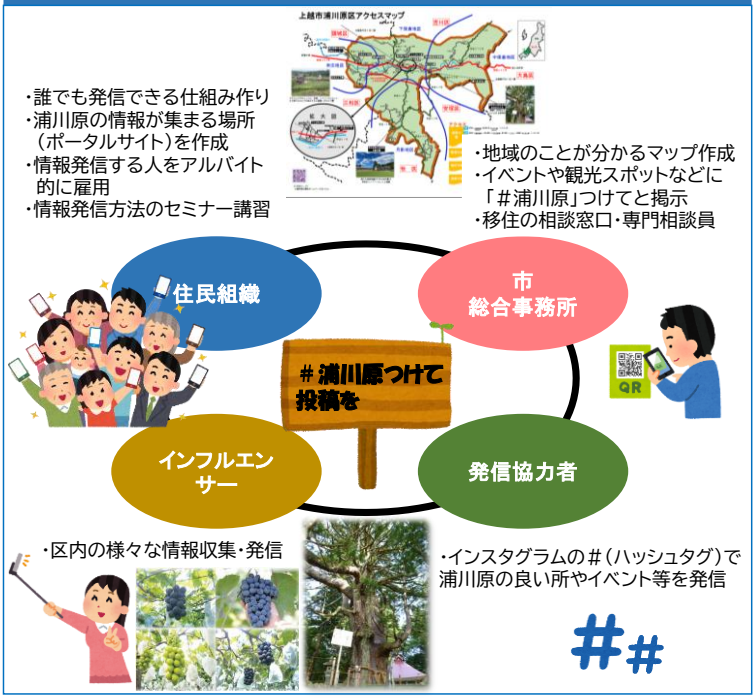
発信協力者

・インスタグラムの＃（ハッシュタグ）で浦川原の良いところやイベント等を発信する。

市・総合事務所

・地域のことが分かるマップを作成する。
・イベントや観光スポットなどに「＃浦川原つけて」と掲示する。
・移住の相談窓口を開設し専門相談員を配置する。

推進体制



浦川原区で来年度取組む内容	シート番号	⑧
	チーム名	浦川原区ヤングチーム

⑤ 牧ベテランチーム

牧区の定住推進に向けて	シート番号	④
	チーム名	牧 区 ベ テ ラ ン チ ー ム

現状・課題

- 人口減少の要因としては、10代後半から30代の成人人口が減少しているほか、年代に関係なく独身者が増加している。
- 進学後、牧区に戻ってくる人が少ないことや、市内への転居による人口流出が、近年顕著になっている。
- まちづくりの中心を担う人材が固定化しているほか、若者の参画や住民同士が区内で語り合う場所や機会（つながり）が減少している。
- 年間を通じての雇用環境が少ない。

地域の魅力・特徴

- NPO法人を核にしたまちづくりが行われていて、一部の団体とのつながりが強固である。
- 農業関係の団体が多く、集落単位をベースにした営農活動が活発である。
- 近年、カフェなど小規模なお店の出店があり、それぞれ地域の特徴をいかした営業を展開している。
- 宿泊施設や、宴会場など比較的規模の大きい施設があることや、区内定額のコミュニティーバスなど特徴的な取組があるが、相乗効果が不足している。

取組の柱

柱❶　働く場（雇用）の確保
- 農業法人と地元建設業者との連携
- 小規模店のタッグ

柱❷　生活基盤（店舗）の充実
- 既存店舗の多角的商品の取り扱い
- 移動販売の実施
- 地元野菜等の販売促進

柱❸　情報発信の充実
- 牧区ご当地キャラクターによる発信
- YouTubeを活用し農業、郷土食、暮らし等の情報発信

柱①	雇用の場（働く場所）の確保	シート番号	⑤
		チーム名	牧 区 ベ テ ラ ン チ ー ム

取組の概要

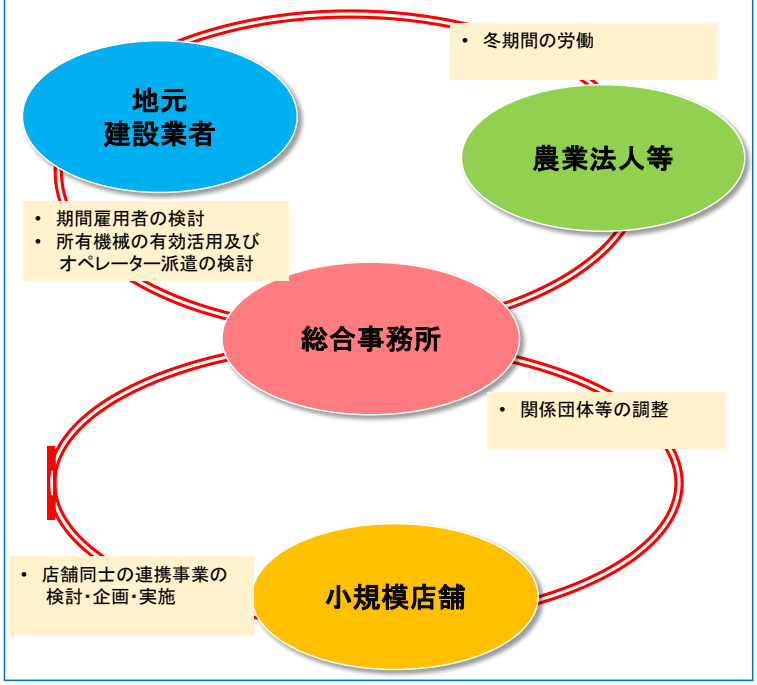
【農業法人、農業者】
- 冬期間の労働力

【地元建設業者】
- 期間雇用者の検討

【小規模店舗】
- 各店舗との連携事業の検討、実施

【総合事務所】
- 関係団体等の調整、仲介

推進体制



柱②	生活基盤(店舗)の充実	シート番号	⑥
		チーム名	牧 区 ベ テ ラ ン チ ー ム

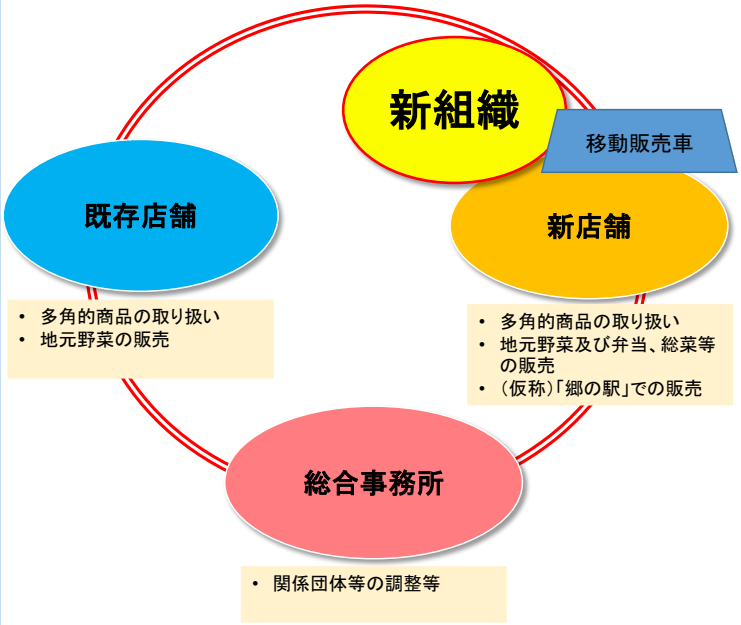
取組の概要

【既存店舗】
- 多角的商品の取り扱い
- 地元野菜の販売

【新店舗(移動販売も)】
- 多角的商品の取り扱い
- 地元野菜の販売
- (仮称)「郷の駅」での販売

【総合事務所】
- 関係団体等の調整、仲介

推進体制



柱③	情報発信の充実	シート番号	⑦
		チーム名	牧 区 ベ テ ラ ン チ ー ム

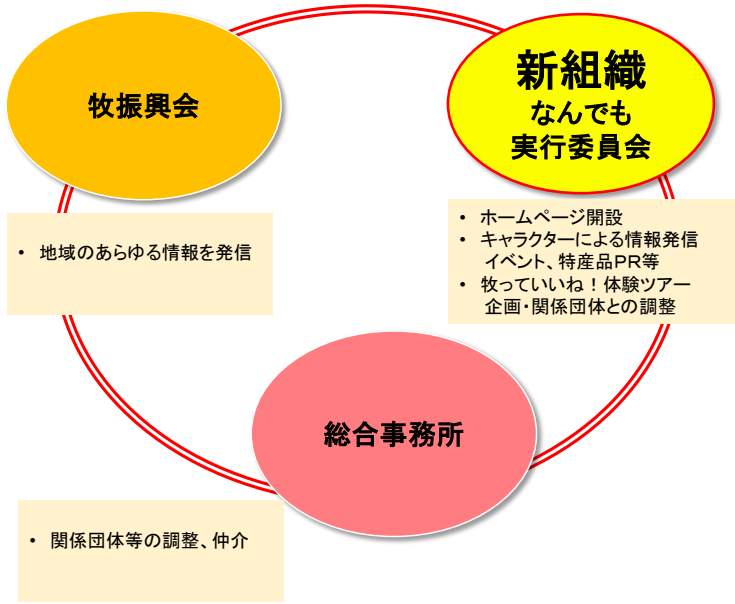
取組の概要

【なんでも実行(企画)委員会】 新設
- ホームページ開設
- キャラクターによる情報発信
  ご当地キャラクターを作り、地域のイベントや特産品のPR等で積極的に活用する。(YouTubeなど)
- 牧っていいね！体験ツアーの企画
  風景、イベント、農業・食、田舎体験

【牧振興会】
- 既存のホームページとのリンク
- 地域の情報提供

【総合事務所】
- 関係団体等の調整、仲介

推進体制



⑥ 牧ヤングチーム

牧区の定住推進に向けて	シート番号	④
	チーム名	牧 区 ヤ ン グ チ ー ム

現状・課題

- 人口減少の要因としては、10代後半から30代の成人人口が減少しているほか、年代に関係なく独身者が増加している。
- 進学後、牧区に戻ってくる人が少ないことや、市内への転居による人口流出が、近年顕著になっている。
- まちづくりの中心を担う人材が固定化しているほか、若者の参画や住民同士が区内で語り合う場所や機会（つながり）が減少している。
- 組織は多いが、参集するメンバーは同じ顔触れのことが多く、マンネリ化も見られている。

地域の魅力・特徴

- NPO法人を核にしたまちづくりが行われていて、一部の団体とのつながりが強固である。
- 農業関係の団体が多く、集落単位をベースにした営農活動が活発である。
- 近年、カフェなど小規模なお店の出店があり、それぞれ地域の特徴をいかした営業を展開している。
- 宿泊施設や、宴会場など比較的規模の大きい施設があることや、区内定額のコミュニティーバスなど特徴的な取組があるが、相乗効果が不足している。

取組の柱

柱❶　子育て環境の充実

- 地域⇔子ども⇔学校　つながり定着
- 地域の達人・名人バンクの作成・交流
- 地元学を波及（ないものねだり→あるもの探し）
- 集まれる場所を確保し、イベント開催

柱❷　移住・定住の窓口強化

- 移住・定住窓口の明確化、強化
- 空き家ＭＡＰの作成及びバンク化
- 情報の集約・発信
- 移住体験メニューの企画・実行

柱❸　生活基盤の充実（買い物・働く場所・娯楽）

- 買い物できる場所（子ども用品、ｺｲﾝﾗﾝﾄﾞﾘｰ）
- 現農業組織をアジャスト（調整）する新組織の設立
- 女性が働ける場所
- 旧飲食店舗を活用したお店の出店等（くびき牛の焼肉店など）
- 各地域の産物の直売マルシェの開催

柱①	子育て環境の充実	シート番号	⑤
		チーム名	牧 区 ヤ ン グ チ ー ム

取組の概要

【牧振興会】
・子どもイベントの充実
・子どもが集える場所の提供

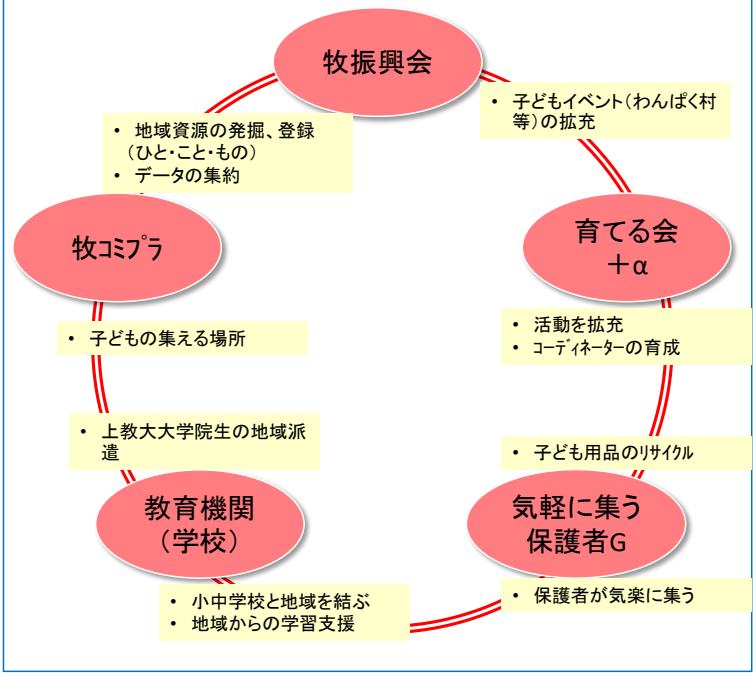
【牧コミュニティプラザ（公民館）】
・地域の資源の発掘・登録（ひと、もの、こと）

【牧っこを育てる会＋α】
・現組織を拡大
・ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの育成

【軽い感覚の保護者グループ】
・気軽に集まり、話せるグループ

【教育機関（学校）】
・地域と子どもたちの学習機会の創出
・実習生を活用した地域との交流

推進体制



柱②	移住・定住窓口の強化	シート番号	⑥
		チーム名	牧区ヤングチーム

取組の概要

【町内会・地域】
・お試し移住体験の提供（特に冬）
・住める家等の提供（畑付、景観、アクセス）

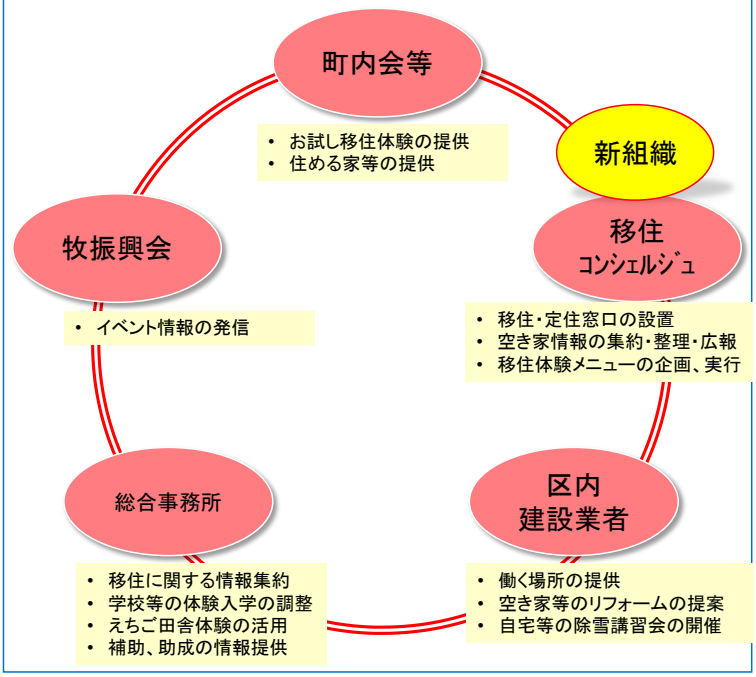
【牧振興会】
・イベント情報の集約・発信

【総合事務所】
・移住・定住に係る支援制度の相談・紹介
・学校等の体験入学の調整

【区内建設業者】
・働く場所の提供
・空き家等のリフォームの提案
・自宅等の除雪講習会の開催

【新窓口（移住コンシェルジュ）】 ■新設■
・移住・定住窓口の設置（関係者との調整）
・空き家情報の集約・整理・広報
・移住体験メニューの企画、実行

推進体制



柱③	生活基盤（買い物・働く場所・娯楽）の充実	シート番号	⑦
		チーム名	牧区ヤングチーム

取組の概要

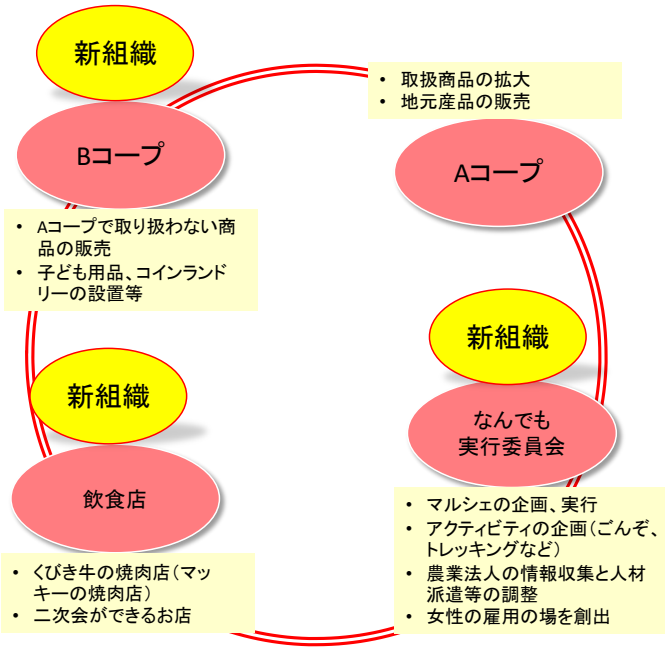
【Aコープ】
・取扱商品の拡大
・地元産品の販売

【Bコープ】 ■新設■
・Aコープで取り扱わない商品の販売
・子ども用品、コインランドリーの設置等

【飲食店】 ■新設■
・くびき牛の焼肉店（マッキーの焼肉店）
・二次会ができるお店

【なんでも実行（企画）委員会】 ■新設■
・マルシェの企画、実行
・アクティビティの企画（ごんぞ、トレッキングなど）
・農業法人の情報収集と人材派遣等の調整
・女性の雇用の場を創出

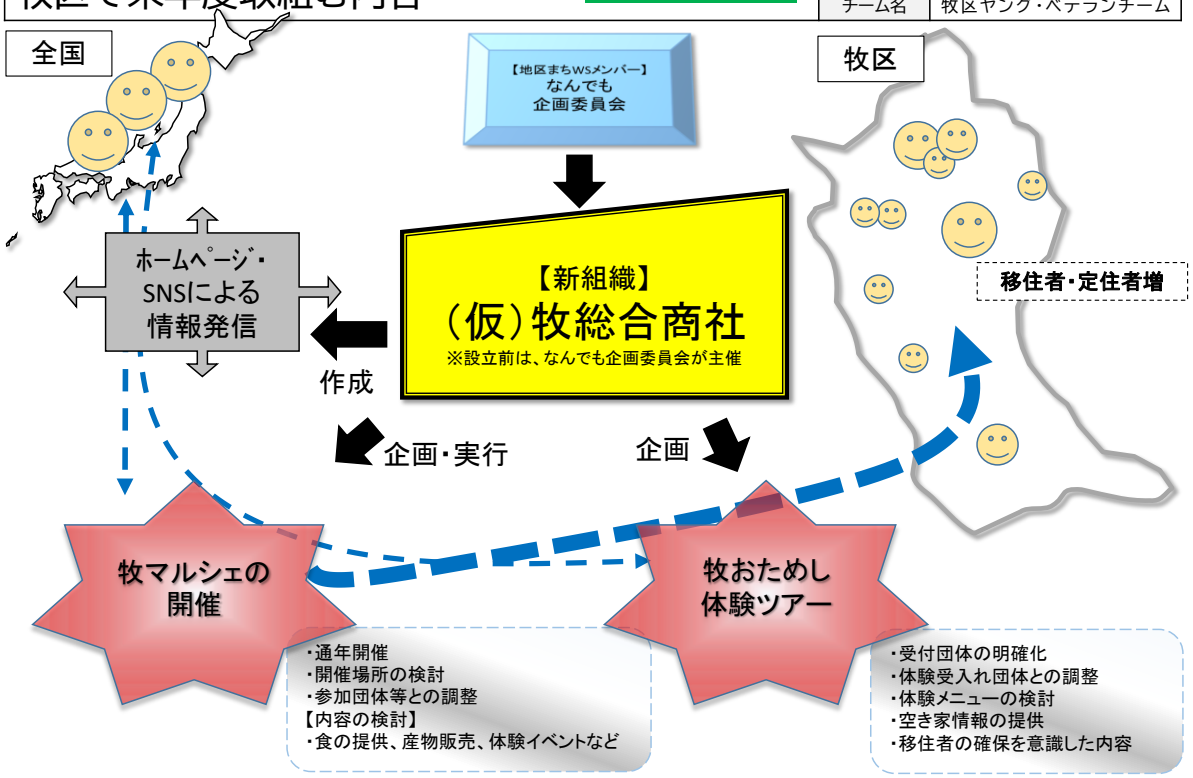
推進体制



牧区で来年度取組む内容

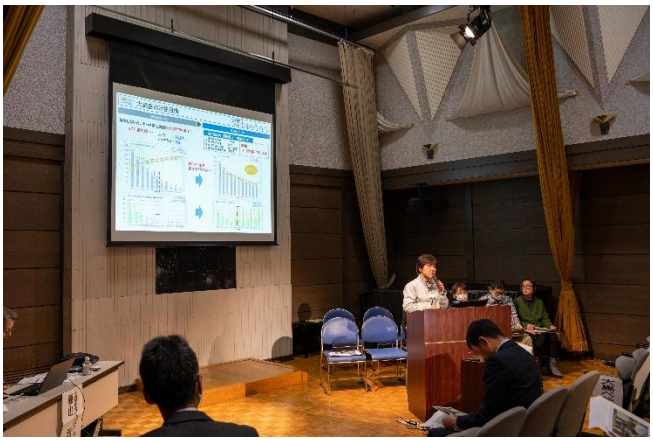
ヤング・ベテラン共通

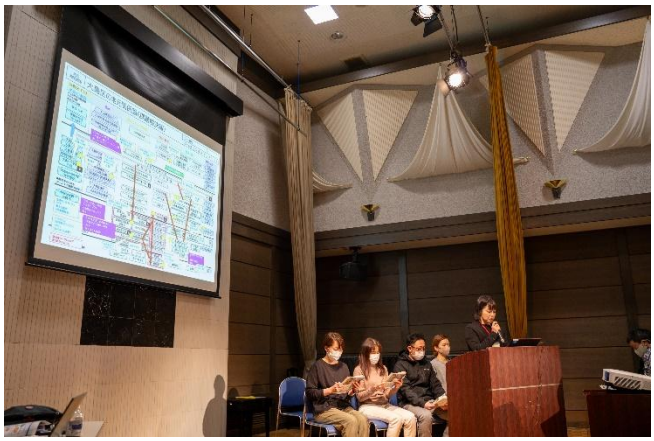
シート番号	⑧
チーム名	牧区ヤング・ベテランチーム



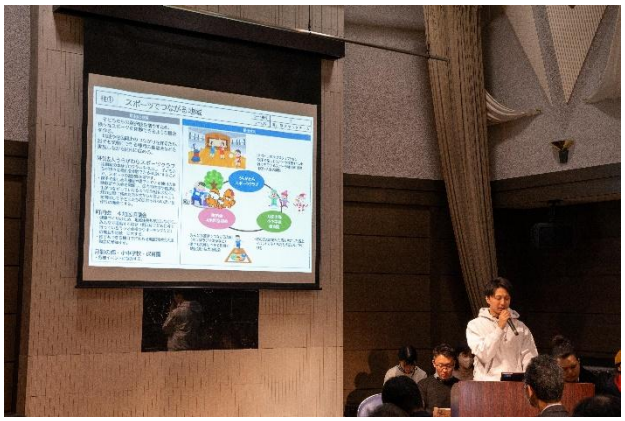
・通年開催
・開催場所の検討
・参加団体等との調整
【内容の検討】
・食の提供、産物販売、体験イベントなど

・受付団体の明確化
・体験受入れ団体との調整
・体験メニューの検討
・空き家情報の提供
・移住者の確保を意識した内容





大島区チーム



浦川原区チーム

牧区チーム

参考資料（地区別データシート）

人口予測シミュレーション

現行推移モデル

V4.0.4

Copyright(c) 2019 Research Institute for Sustainable Community Company.

都道府県名：	新潟県	地区ID：	1522218	人口予測FLG：	45	2018年世帯数：	680
市町村名：	上越市	地区名：	大島区	算出基準年度：	2023	2023年世帯数：	615

0人階級はプラス： 0.5 人として計算

	年齢層	～4	～9	～14	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～	合計	子ども計	高齢者計
2018年	男	14	18	12	31	16	20	32	33	29	33	37	55	76	93	64	61	65	36	12	735	44	331
	女	13	22	22	23	24	16	27	22	25	26	34	41	68	64	65	67	107	91	64	821	57	458
	男女計	27	40	34	54	40	36	59	55	54	59	71	96	142	157	129	128	172	127	76	1,556	101	789
2023年	男	6	10	14	9	19	10	16	28	29	21	30	38	49	67	84	58	49	42	17	596	30	317
	女	12	11	17	19	6	8	11	19	19	21	22	33	36	68	63	58	63	89	93	668	40	434
	男女計	18	21	31	28	25	18	27	47	48	42	52	71	85	135	147	116	112	131	110	1,264	70	751

→ 図④ → 図①

人口（人）	人口増減率(%)	高齢化率(%) 65以上	75以上	小学生人口(人) 男女別	計	中学生人口(人) 男女別	計
1,556	-	50.7	32.3	18 / 26	44	11 / 13	24
1,264	全体 -18.8 / 男 -18.9 / 女 -18.6	59.4	37.1	14 / 17	31	7 / 11	18

	年齢層	～4	～9	～14	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～	合計	子ども計	高齢者計
コーホート変化率	男	0.21	0.71	0.78	0.75	0.61	0.63	0.80	0.88	0.88	0.72	0.91	1.03	0.89	0.91	0.90	0.91	0.82	0.69	0.43			
	女	0.20	0.85	0.77	0.86	0.78	0.33	0.69	0.70	0.86	0.84	0.85	0.97	0.88	1.00	0.98	0.89	0.92	0.84	0.54			
予測人口 2028年	男	6	4	8	11	6	12	8	14	25	21	19	31	34	44	61	76	47	34	25	485	18	287
	女	6	10	9	15	15	2	6	8	16	16	18	21	29	36	67	56	53	53	98	533	25	363
〃 2033年	男	5	4	3	6	6	3	10	7	12	18	19	20	27	31	40	55	62	33	25	386	12	246
	女	4	5	8	7	11	5	1	4	7	14	14	17	19	29	35	60	52	45	81	417	17	301
〃 2038年	男	3	3	3	3	4	4	3	8	6	9	16	20	17	25	28	36	45	43	25	300	10	201
	女	3	4	4	7	6	4	3	1	3	6	12	13	15	19	29	32	55	43	67	324	10	244
〃 2043年	男	3	2	3	3	2	2	3	2	7	4	8	17	17	16	22	25	30	31	29	226	7	153
	女	2	2	3	3	5	2	3	2	1	3	5	11	12	15	18	25	29	46	59	248	8	194
〃 2048年	男	2	2	2	2	2	1	2	3	2	5	4	8	15	16	14	20	20	20	25	165	5	117
	女	2	2	2	2	3	2	1	2	2	1	2	5	10	12	15	16	23	24	57	182	5	147
〃 2053年	男	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	5	4	7	13	14	13	17	14	20	121	4	91
	女	1	1	2	2	2	1	1	1	2	2	1	2	4	10	11	13	15	20	43	133	4	113
〃 2058年	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	5	4	7	12	13	11	11	14	88	2	68
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	4	10	10	12	13	34	96	2	83
〃 2063年	男	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	4	3	6	11	11	7	11	63	2	49
	女	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	2	4	9	9	10	25	69	2	59
〃 2068年	男	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	4	3	5	9	7	8	45	1	37
	女	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	4	8	8	19	48	1	41

→ 図② → 図⑤ → 図③

人口（人）	人口増減率(%) 5年間	実2023年	高齢化率(%) 65以上	75以上	小学生人口(人) 男女別	計	中学生人口(人) 男女別	計
1,018	-19.5	-	63.9	43.5	7 / 11	18	5 / 6	12
804	-21.0	-36.4	68.0	51.2	5 / 8	12	3 / 5	7
625	-22.3	-50.6	71.3	55.4	4 / 5	9	2 / 3	5
474	-24.2	-62.5	73.1	57.9	3 / 3	6	2 / 2	3
348	-26.6	-72.5	75.9	59.7	2 / 2	4	1 / 1	2
254	-27.0	-79.9	80.2	60.9	2 / 2	3	1 / 1	2
184	-27.7	-85.5	82.1	64.3	1 / 1	2	1 / 1	1
131	-28.4	-89.6	82.6	70.8	1 / 1	1	0 / 0	1
93	-29.6	-92.7	83.5	73.3	0 / 0	1	0 / 0	1

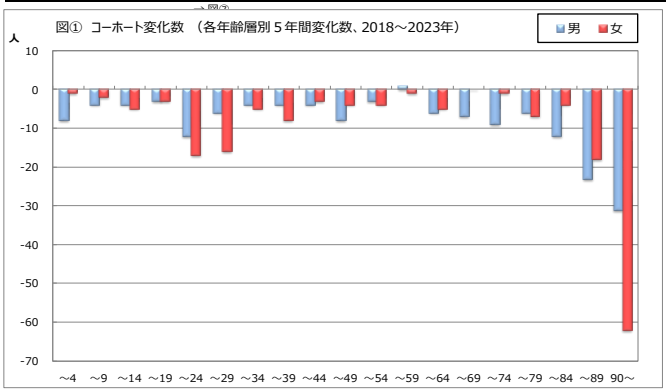
→ 図③ → 図⑥ ←

備考欄

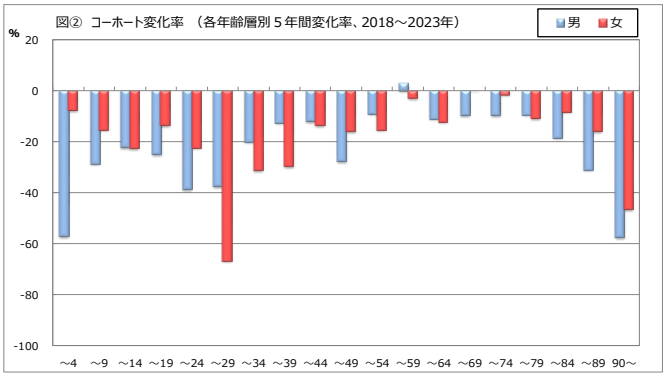
・30年後の対2023年比は

人口総数：	20.09	%	※90%以上が望ましい
高齢化率：	-20.80	%	※ 0%以上が望ましい（2023年の高齢化率が40%を超える場合のみ）
子ども人口：	10.57	%	※90%以上が望ましい

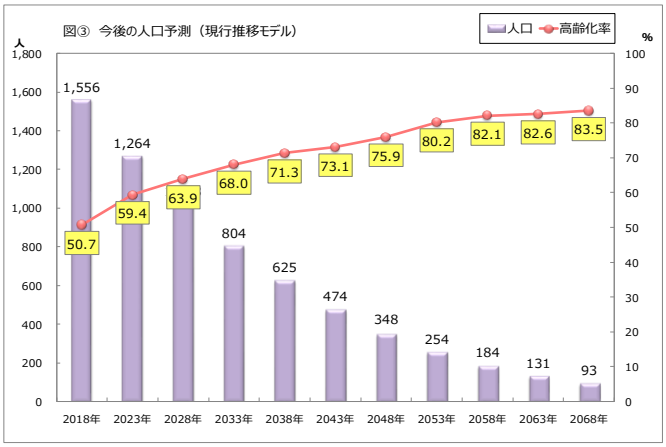
図① コーホート変化数 （各年齢層別５年間変化数、2018～2023年）



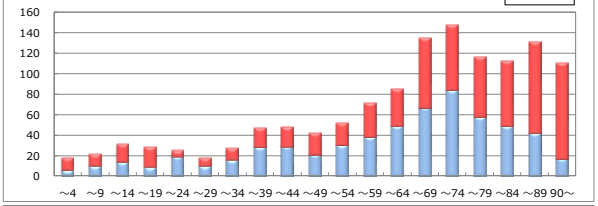
図② コーホート変化率 （各年齢層別５年間変化率、2018～2023年）



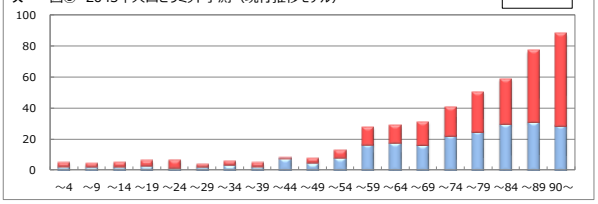
図③ 今後の人口予測（現行推移モデル）



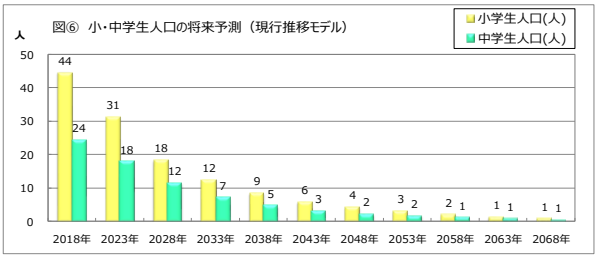
図④ 2023年人口ピラミッド



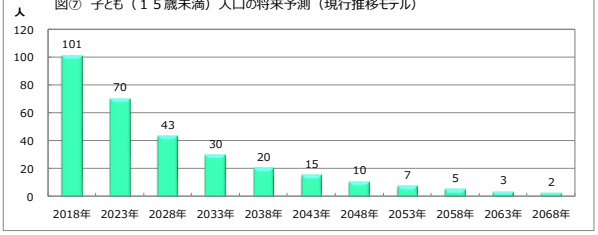
図⑤ 2043年人口ピラミッド予測（現行推移モデル）



図⑥ 小・中学生人口の将来予測（現行推移モデル）



図⑦ 子ども（１５歳未満）人口の将来予測（現行推移モデル）



農業就業者予測シミュレーション

現行推移モデル

Vr4.2.4

Copyright(c) 2019 Research Institute for Sustainable Community Company.

県名：新潟県　　地区ID：1522218　　人口予測FLG：0
市町村名：上越市　　地区名：大島区　　算出基準年度：2020　　0人階級はプラス：0.1 人として計算

	年齢層	15～	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	85～	合計	高齢者計
2015年 農業就業者	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	13	17	14	34	14	6	99	85
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	9	14	13	5	2	48	43
	男女計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	18	26	28	47	19	8	147	128
2020年 農業就業者	男	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	15	17	13	21	5	73	71
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	7	8	9	5	1	33	30
	男女計	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	22	25	22	26	6	106	101

→ 図①　→ 図④

就業者（人）	就業者増減率(%)		高齢化率(%)	
			65以上	75以上
147	-		87.1	50.3
106	全体	-27.9	95.3	50.9
	男	-26.3		
	女	-31.3		

	年齢層	15～	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	85～	合計	高齢者計
コーホート変化率	男	0.01	1.00	1.00	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.15	1.00	0.93	0.62	0.29		
	女	0.01	1.00	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00	1.10	1.10	1.40	0.89	0.64	0.38	0.26		
予測人口 2025年	男	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	15	16	8	7	50	46
	女	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	6	5	3	2	21	18
〃 2030年	男	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	14	10	4	32	28
	女	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	4	2	1	13	10
〃 2035年	男	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	9	4	17	14
	女	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	1	8	5
〃 2040年	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4	8	5
	女	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	5	2
〃 2045年	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	5	2
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1
〃 2050年	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4	2
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	1

→ 図②　→ 図⑤　→ 図⑥

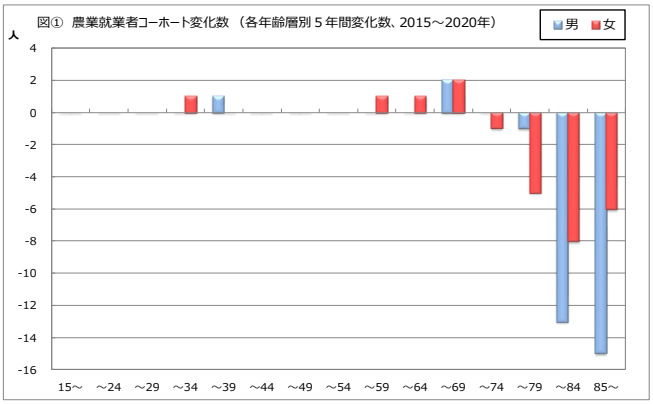
就業者（人）	就業者増減率(%)		高齢化率(%)	
	5年間	対2020比	65以上	75以上
71	-33.1	-	90.5	58.5
45	-36.9	-57.8	86.0	79.2
24	-45.4	-77.0	77.0	65.5
13	-47.1	-87.8	56.0	43.7
9	-28.3	-91.3	37.1	31.2
8	-13.8	-92.5	37.2	17.3

→ 図③

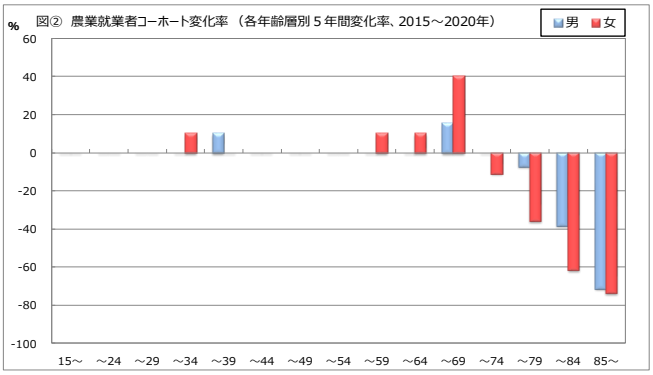
備考欄

・30年後の対2020年比は
就業者総数：　7.53　%　※90%以上が望ましい

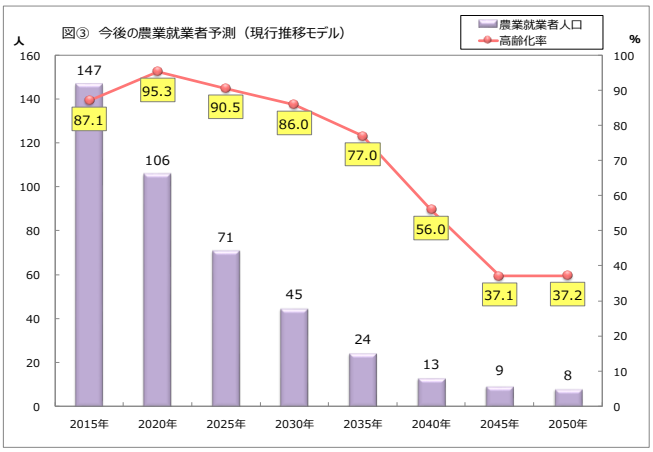
図① 農業就業者コーホート変化数（各年齢層別５年間変化数、2015～2020年）



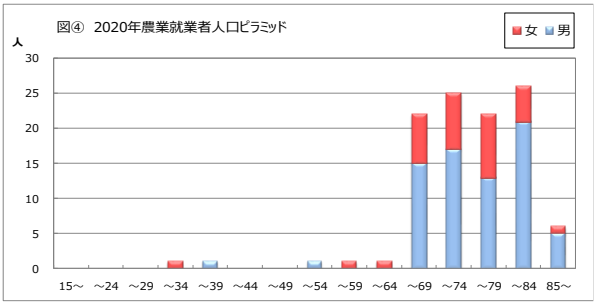
図② 農業就業者コーホート変化率（各年齢層別５年間変化率、2015～2020年）



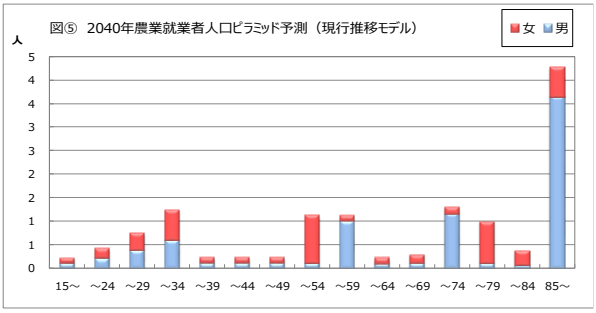
図③ 今後の農業就業者予測（現行推移モデル）



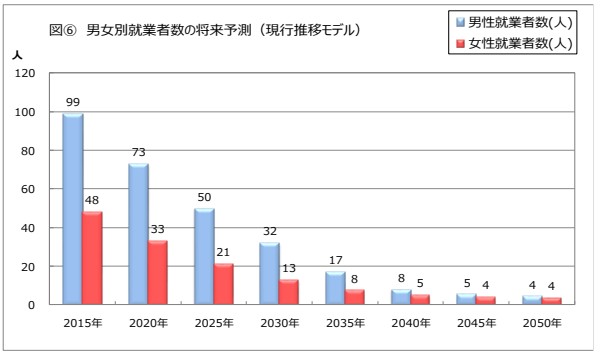
図④ 2020年農業就業者人口ピラミッド



図⑤ 2040年農業就業者人口ピラミッド予測（現行推移モデル）



図⑥ 男女別就業者数の将来予測（現行推移モデル）



人口予測シミュレーション

現行推移モデル

V4.0.4

Copyright(c) 2019 Research Institute for Sustainable Community Company.

都道府県名：	新潟県	地区ID：	1522217	人口予測FLG：	0	2018年世帯数：	1,154
市町村名：	上越市	地区名：	浦川原区	算出基準年度：	2023	2023年世帯数：	1,098

0人階級はプラス： 0.5 人として計算

	年齢層	～4	～9	～14	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～	合計	子ども計	高齢者計
2018年	男	60	67	82	83	65	63	78	80	85	111	93	97	162	163	99	95	100	52	24	1,659	209	533
	女	40	56	72	84	56	47	61	87	81	99	82	124	135	157	101	104	120	117	78	1,701	168	677
	男女計	100	123	154	167	121	110	139	167	166	210	175	221	297	320	200	199	220	169	102	3,360	377	1,210
2023年	男	29	58	68	79	65	34	47	64	79	84	106	91	96	148	147	90	77	75	29	1,464	153	566
	女	34	40	55	64	49	34	37	56	79	80	92	79	125	135	148	91	90	89	99	1,471	124	652
	男女計	63	98	116	143	114	68	84	120	158	164	198	170	221	283	295	181	167	164	128	2,935	277	1,218

→ 図④

人口（人）	人口増減率(%)	高齢化率(%) 65以上	高齢化率(%) 75以上	小学生人口(人) 男女別	小学生人口(人) 計	中学生人口(人) 男女別	中学生人口(人) 計
3,360	-	36.0	20.5	89 / 77	166	49 / 46	95
2,935	全体 -12.6	41.5	21.8	74 / 54	128	42 / 33	75
	男 -11.8						
	女 -13.5						

→ 図①

	年齢層	～4	～9	～14	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～	合計	子ども計	高齢者計
コーホート変化率	男	0.18	0.97	0.99	0.96	0.78	0.52	0.75	0.82	0.99	0.99	0.95	0.98	0.99	0.91	0.90	0.91	0.82	0.69	0.43			
	女	0.17	1.00	0.89	0.89	0.58	0.61	0.79	0.92	0.91	0.99	0.93	0.96	1.01	1.00	0.94	0.90	0.92	0.84	0.54			
予測人口 2028年	男	23	28	57	64	62	34	25	39	63	78	80	104	90	88	133	134	73	53	44	1,273	109	526
	女	22	34	38	44	37	30	27	34	51	78	74	89	80	125	127	133	83	76	101	1,281	92	646
〃 2033年	男	18	23	28	55	50	32	25	21	38	62	75	78	103	82	79	121	109	51	41	1,092	68	484
	女	17	22	30	32	26	23	23	25	31	50	73	72	89	80	118	115	122	70	95	1,112	70	599
〃 2038年	男	13	17	22	27	43	26	24	21	21	38	60	73	78	94	74	72	99	75	39	916	53	454
	女	13	17	20	27	19	16	18	22	22	30	47	70	72	89	75	106	105	103	89	959	50	567
〃 2043年	男	10	13	17	21	21	23	19	20	21	20	36	58	72	71	85	67	59	68	49	751	40	399
	女	10	13	15	18	16	11	12	16	20	22	28	45	70	72	84	68	97	88	103	809	38	513
〃 2048年	男	7	10	13	16	17	11	17	16	20	20	19	35	58	66	64	77	55	41	50	611	30	352
	女	7	10	11	13	10	10	9	11	15	19	20	27	45	70	68	76	62	82	103	670	28	461
〃 2053年	男	5	7	10	12	13	9	8	14	16	19	19	19	35	53	59	58	63	38	38	496	22	310
	女	5	7	9	10	8	6	8	8	10	15	18	20	27	45	66	61	70	52	99	545	21	394
〃 2058年	男	4	5	7	9	10	7	7	7	14	16	18	19	19	32	48	54	47	43	33	398	16	257
	女	4	5	8	8	6	5	5	7	7	10	14	17	20	27	43	60	56	59	81	440	15	326
〃 2063年	男	3	4	5	7	7	5	5	5	7	13	15	18	19	17	29	43	44	33	32	312	12	198
	女	3	4	5	6	5	4	4	5	6	7	9	13	17	20	26	38	55	47	75	348	11	261
〃 2068年	男	2	3	4	5	5	4	4	4	5	7	13	15	18	17	15	26	35	31	28	240	9	152
	女	2	3	4	4	3	3	3	3	4	6	7	9	13	17	19	23	35	46	66	271	9	207

→ 図② → 図⑤ → 図③

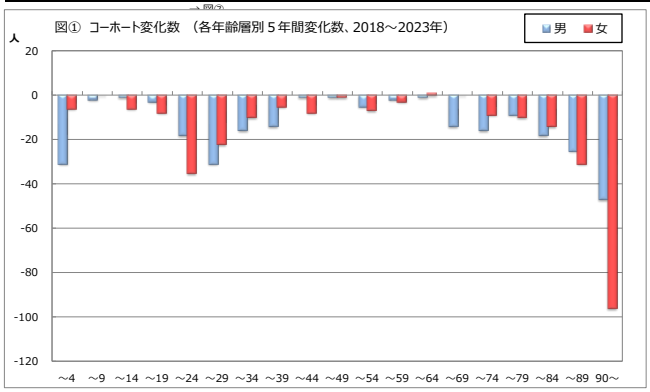
人口（人）	人口増減率(%) 5年間	人口増減率(%) 対2023年	高齢化率(%) 65以上	高齢化率(%) 75以上	小学生人口(人) 男女別	小学生人口(人) 計	中学生人口(人) 男女別	中学生人口(人) 計
2,554	-13.0	-	45.9	27.3	51 / 42	93	36 / 23	59
2,203	-13.7	-24.9	49.2	32.9	30 / 32	62	22 / 18	41
1,874	-14.9	-36.1	54.4	36.7	24 / 22	46	14 / 13	28
1,559	-16.8	-46.9	58.4	38.4	18 / 17	35	11 / 10	21
1,281	-17.8	-56.3	63.5	42.5	14 / 13	26	8 / 7	16
1,041	-18.8	-64.5	67.6	46.1	10 / 9	20	6 / 6	12
838	-19.5	-71.5	69.6	51.7	7 / 7	14	5 / 4	9
660	-21.2	-77.5	69.6	55.8	6 / 5	11	3 / 3	6
511	-22.6	-82.6	70.2	56.7	4 / 4	8	3 / 2	5

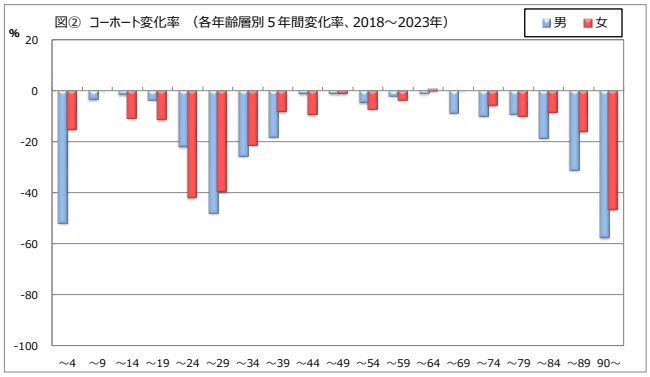
→ 図③ → 図⑥ ←

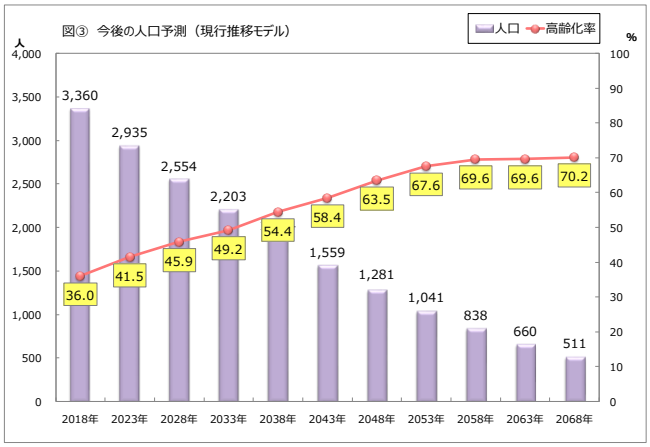
備考欄

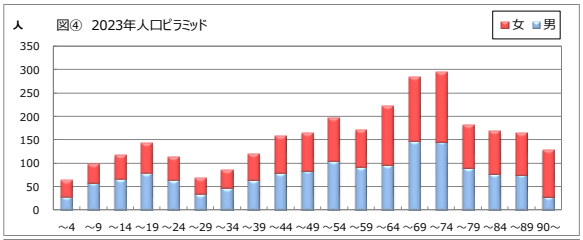
-30年後の対2023年比は

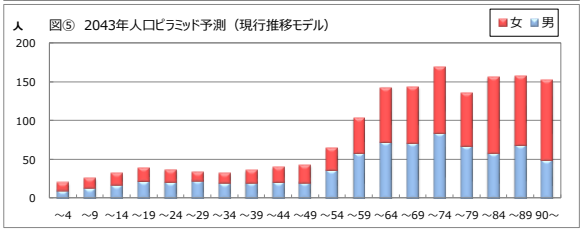
人口総数：	35.46	%	※90%以上が望ましい
高齢化率：	-26.10	%	※ 0%以上が望ましい（2023年の高齢化率が40%を超える場合のみ）
子ども人口：	15.59	%	※90%以上が望ましい

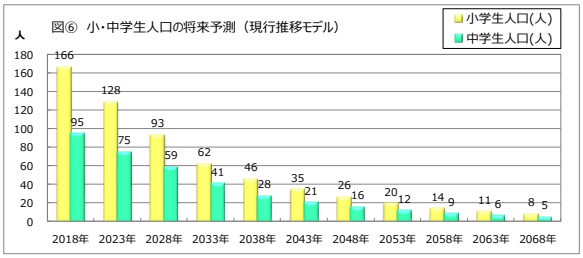


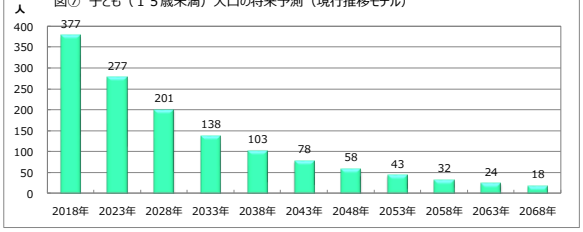












農業就業者予測シミュレーション

現行推移モデル

V14.2.4

Copyright(c) 2019 Research Institute for Sustainable Community Company.

県名：	新潟県	地区ID：	1522217	人口予測FLG：	0
市町村名：	上越市	地区名：	浦川原区	算出基準年度：	2020

0人階級はプラス： 0.1 人として計算

	年齢層	15～	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	85～	合計	高齢者計
2015年 農業就業者	男	0	0	0	0	1	0	1	1	1	9	24	26	25	20	2	110	97
	女	0	0	0	0	1	0	1	0	2	13	10	11	6	11	2	57	40
	男女計	0	0	0	0	2	0	2	1	3	22	34	37	31	31	4	167	137
2020年 農業就業者	男	0	0	0	0	0	1	1	4	1	6	12	17	16	13	6	77	64
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	8	7	5	3	6	33	29
	男女計	0	0	0	0	0	2	1	4	2	8	20	24	21	16	12	110	93

→ 図④

就業者（人）	就業者増減率(%)		高齢化率(%)	
			65以上	75以上
167	-		82.0	39.5
110	全体	-34.1	65以上	75以上
	男	-30.0	84.5	44.5
	女	-42.1		

→ 図①

	年齢層	15～	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	85～	合計	高齢者計
コーホート変化率	男	0.01	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.10	4.00	1.00	6.00	1.33	0.71	0.62	0.52	0.29		
	女	0.01	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.91	1.10	1.00	0.62	0.70	0.45	0.50	0.26		
予測人口 2025年	男	1	0	0	0	0	0	1	4	4	6	8	9	10	8	5	57	41
	女	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	6	3	3	2	18	15
〃 2030年	男	1	1	0	0	0	0	0	4	4	24	8	6	5	5	4	62	28
	女	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	2	1	10	7
〃 2035年	男	1	1	1	0	0	0	0	0	4	24	32	6	3	3	3	78	47
	女	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	6	3
〃 2040年	男	1	1	1	1	0	0	0	0	0	26	32	23	3	2	2	92	62
	女	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	1
〃 2045年	男	1	1	1	1	1	0	0	0	0	3	35	23	14	2	1	82	75
	女	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	1
〃 2050年	男	1	1	1	1	1	1	0	0	0	3	4	25	14	7	1	58	50
	女	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1

→ 図⑥

→ 図②

→ 図⑤

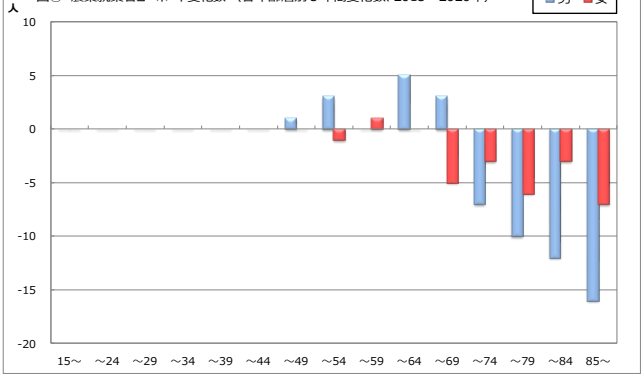
就業者（人）	就業者増減率(%)		高齢化率(%)	
	5年間	対2020比	65以上	75以上
75	-31.7	-	74.0	43.0
72	-4.0	-34.4	48.8	27.8
84	16.6	-23.5	58.8	13.5
97	15.3	-11.8	64.5	8.0
87	-10.8	-21.3	87.3	19.7
63	-27.3	-42.8	81.2	35.1

→ 図③

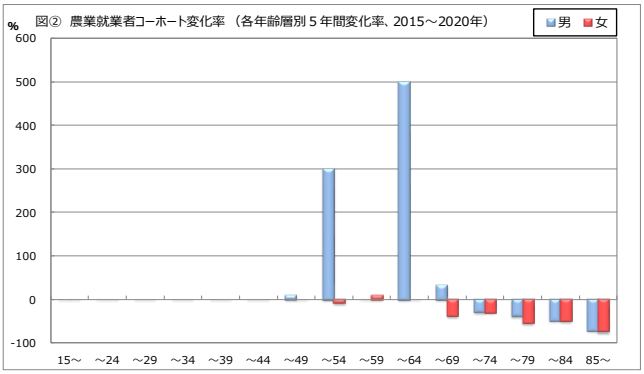
備考欄

・30年後の対2020年比は
就業者総数： 57.19 % ※90%以上が望ましい

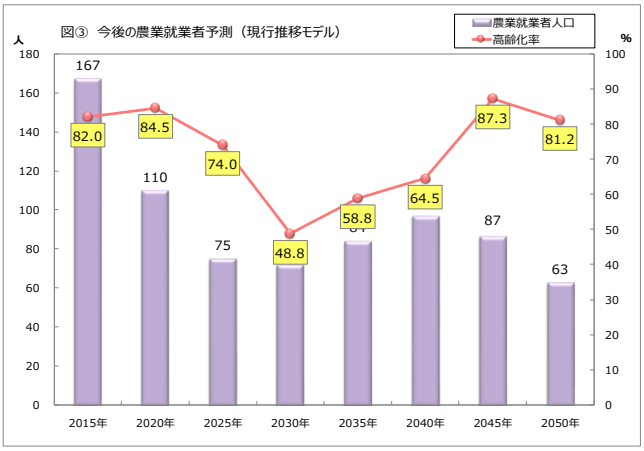
図① 農業就業者コーホート変化数（各年齢層別５年間変化数、2015～2020年）



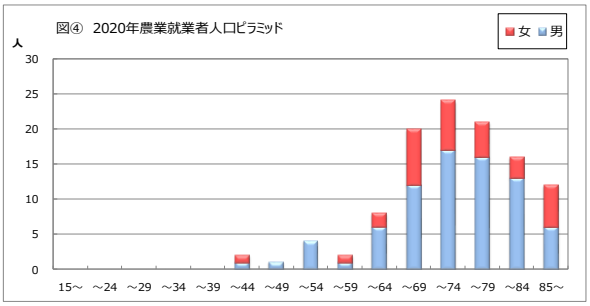
図② 農業就業者コーホート変化率（各年齢層別５年間変化率、2015～2020年）



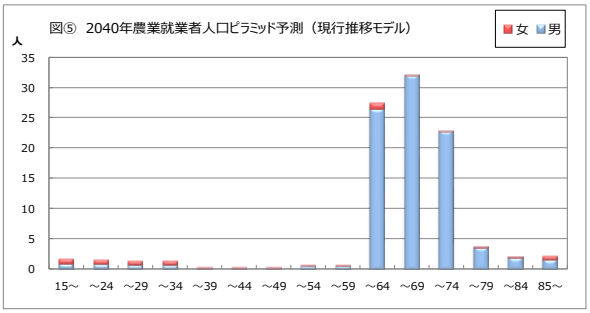
図③ 今後の農業就業者予測（現行推移モデル）



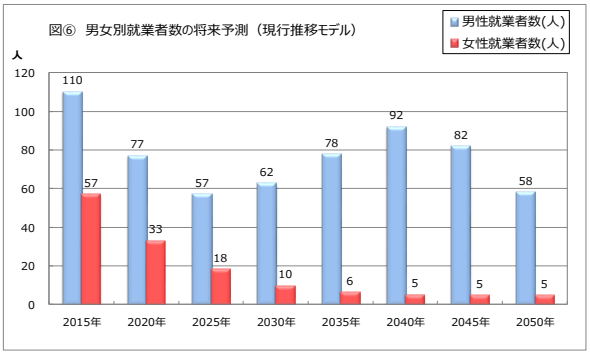
図④ 2020年農業就業者人口ピラミッド



図⑤ 2040年農業就業者人口ピラミッド予測（現行推移モデル）



図⑥ 男女別就業者数の将来予測（現行推移モデル）



人口予測シミュレーション

現行推移モデル

V4.0.4

Copyright(c) 2019 Research Institute for Sustainable Community Company.

都道府県名：	新潟県	地区ID：	1522219	人口予測FLG：	0	2018年世帯数：	792	0人階級はプラス：	0.5 人として計算
市町村名：	上越市	地区名：	牧区	算出基準年度：	2023	2023年世帯数：	736		

	年齢層	～4	～9	～14	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～	合計	子ども計	高齢者計
2018年	男	13	22	32	29	28	25	30	30	44	49	54	83	73	97	77	71	66	57	19	899	67	387
	女	17	24	25	32	18	21	32	28	47	33	46	58	76	79	87	76	111	94	71	975	66	518
	男女計	30	46	57	61	46	46	62	58	91	82	100	141	149	176	164	147	177	151	90	1,874	133	905
2023年	男	7	14	23	26	15	16	18	17	27	46	45	50	80	73	85	66	61	41	30	740	44	356
	女	4	11	20	21	18	11	14	25	25	43	32	45	54	70	75	88	69	90	89	804	35	481
	男女計	11	25	43	47	33	27	32	42	52	89	77	95	134	143	160	154	130	131	119	1,544	79	837

→ 図①　→ 図④

人口（人）	人口増減率(%)		高齢化率(%)		小学生人口(人)		中学生人口(人)	
			65以上	75以上	男女別	計	男女別	計
1,874	-		48.3	30.1	32 / 29	62	19 / 16	35
1,544	全体	-17.6	54.2	34.6	22 / 19	41	14 / 12	27
	男	-17.7						
	女	-17.5						

	年齢層	～4	～9	～14	～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～	合計	子ども計	高齢者計
コーホート変化率	男	0.08	1.08	1.05	0.81	0.52	0.57	0.72	0.57	0.90	1.05	0.92	0.93	0.96	1.00	0.88	0.86	0.82	0.69	0.43			
	女	0.08	0.65	0.83	0.84	0.56	0.61	0.67	0.78	0.89	0.91	0.97	0.98	0.93	0.92	0.95	1.01	0.92	0.84	0.54			
予測人口 2028年	男	3	8	15	19	13	9	12	10	15	28	42	42	48	80	64	73	54	42	30	607	26	343
	女	3	3	9	17	12	11	7	11	22	23	42	31	42	50	66	76	81	58	96	660	15	427
〃 2033年	男	2	4	8	12	10	8	6	7	9	16	26	39	40	48	70	55	59	37	31	487	14	301
	女	2	2	2	8	9	7	7	6	10	20	22	41	29	39	47	67	70	68	83	539	7	373
〃 2038年	男	2	3	4	6	6	6	6	3	6	10	15	24	38	40	42	60	45	41	29	384	8	257
	女	2	2	2	2	4	6	5	6	5	9	20	22	38	27	37	48	62	59	81	433	5	312
〃 2043年	男	1	2	3	3	3	4	4	3	3	6	9	14	23	38	35	36	49	31	30	296	6	219
	女	1	1	1	1	1	3	4	4	5	5	9	19	20	35	25	37	44	52	75	342	3	268
〃 2048年	男	1	1	2	2	2	2	3	2	3	3	6	8	13	23	33	30	30	34	26	223	3	176
	女	0	1	1	1	1	1	2	3	3	5	5	8	18	19	33	26	34	37	68	265	2	216
〃 2053年	男	0	1	1	2	1	1	1	1	2	3	3	5	8	13	20	28	25	20	25	162	2	132
	女	0	0	0	1	1	1	0	1	3	3	5	4	8	17	18	34	24	29	56	204	1	178
〃 2058年	男	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	5	8	11	17	23	17	19	115	1	96
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	4	4	7	16	18	31	20	46	155	1	137
〃 2063年	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	3	5	7	10	14	16	16	79	0	67
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	4	4	7	16	16	26	35	116	0	104
〃 2068年	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	4	6	8	10	13	52	0	44
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	4	4	7	15	14	33	83	0	76

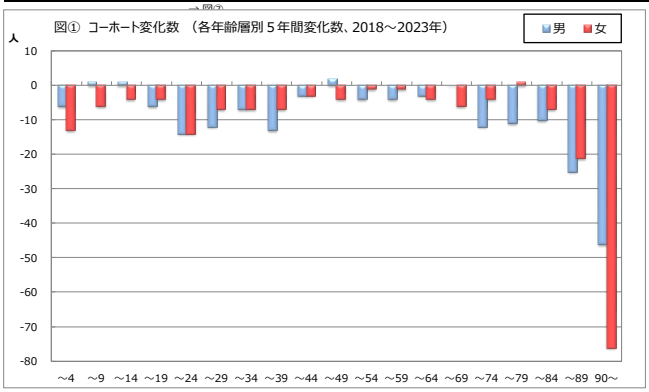
→ 図②　→ 図⑤　→ 図③　→ 図⑥

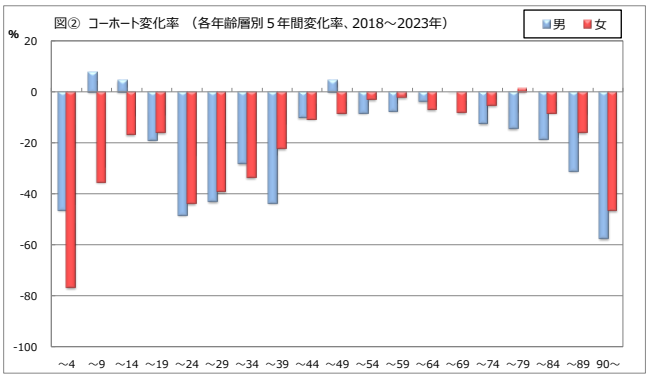
人口（人）	人口増減率(%) 5年間	対2023比	高齢化率(%) 65以上	75以上	小学生人口(人) 男女別	計	中学生人口(人) 男女別	計
1,267	-18.0	-	60.8	40.2	13 / 7	20	10 / 7	17
1,026	-19.0	-33.5	65.6	45.8	7 / 2	9	6 / 2	8
818	-20.4	-47.1	69.7	51.8	4 / 2	6	3 / 1	4
638	-21.9	-58.7	76.3	55.4	3 / 1	4	2 / 1	3
487	-23.6	-68.4	80.4	58.3	2 / 1	3	1 / 1	2
365	-25.1	-76.4	84.5	65.9	1 / 0	1	1 / 0	1
270	-26.1	-82.5	86.5	70.8	1 / 0	1	0 / 0	1
196	-27.4	-87.3	87.6	76.1	0 / 0	0	0 / 0	0
135	-30.8	-91.2	88.5	77.7	0 / 0	0	0 / 0	0

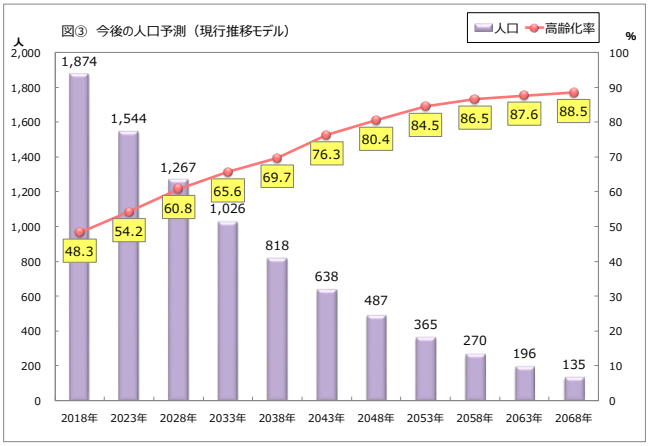
備考欄

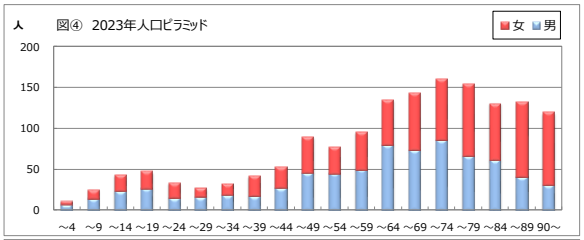
・30年後の対2023年比は

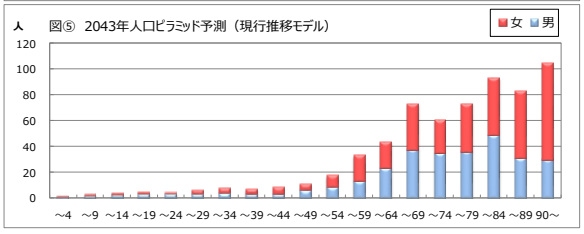
人口総数：	23.65	%	※90%以上が望ましい
高齢化率：	-30.30	%	※ 0%以上が望ましい（2023年の高齢化率が40%を超える場合のみ）
子ども人口：	3.64	%	※90%以上が望ましい

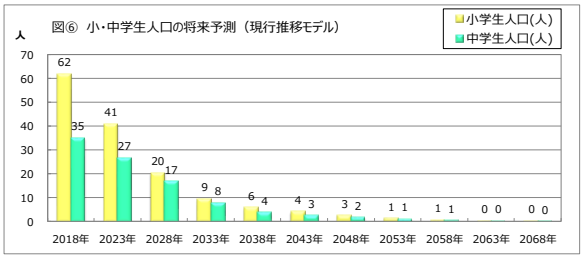


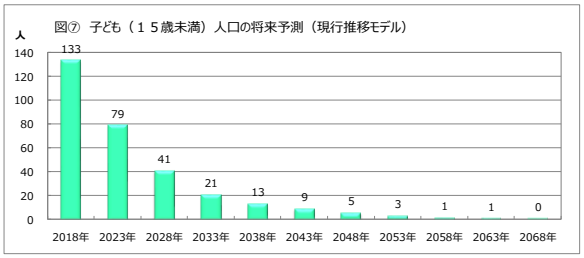












農業就業者予測シミュレーション

現行推移モデル

Vn4.2.4

Copyright(c) 2019 Research Institute for Sustainable Community Company.

県名：新潟県　　地区ID：1522219　　人口予測FLG：0
市町村名：上越市　　地区名：牧区　　算出基準年度：2020

0人階級はプラス：0.1 人として計算

	年齢層	15～	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	85～	合計	高齢者計
2015年 農業就業者	男	0	1	0	0	0	1	2	1	3	8	28	28	28	19	2	121	105
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	11	25	14	19	6	1	78	65
	男女計	0	1	0	0	0	2	2	1	4	19	53	42	47	25	3	199	170
2020年 農業就業者	男	0	0	0	0	0	0	1	5	4	11	17	22	12	13	2	87	66
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	19	8	8	0	43	42
	男女計	0	0	0	0	0	0	1	5	5	11	24	41	20	21	2	130	108

→ 図①　→ 図④

就業者（人）	就業者増減率(%)		高齢化率(%)	
			65以上	75以上
199	-		85.4	37.7
130	全体	-34.7	83.1	33.1
	男	-28.1		
	女	-44.9		

	年齢層	15～	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	～69	～74	～79	～84	85～	合計	高齢者計
コーホート変化率	男	0.01	1.00	0.91	1.00	1.00	1.00	1.00	2.50	4.00	3.67	2.13	0.79	0.43	0.46	0.29		
	女	0.01	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.91	1.00	1.10	0.91	0.64	0.76	0.57	0.42	0.26		
予測人口 2025年	男	1	0	0	0	0	0	0	3	20	15	23	13	9	6	4	95	56
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	11	3	2	24	22
〃 2030年	男	1	1	0	0	0	0	0	0	10	73	31	18	6	4	3	149	62
	女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	5	1	12	10
〃 2035年	男	2	1	1	0	0	0	0	0	1	37	156	24	8	3	2	235	193
	女	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8	3
〃 2040年	男	2	2	1	1	0	0	0	0	1	4	78	122	10	4	1	226	216
	女	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	1
〃 2045年	男	1	2	2	1	1	0	0	0	1	4	8	61	52	5	1	139	128
	女	1	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
〃 2050年	男	1	1	1	2	1	1	0	0	1	4	8	6	26	24	2	78	66
	女	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0

→ 図②　→ 図⑤　→ 図⑥

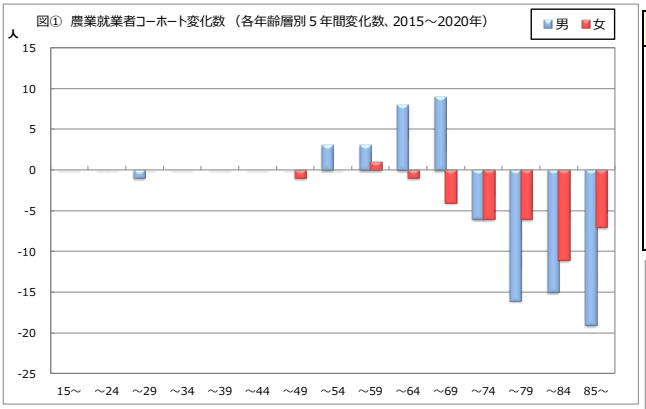
就業者（人）	就業者増減率(%) 5年間	就業者増減率(%) 対2020比	高齢化率(%) 65以上	高齢化率(%) 75以上
119	-8.6	-	65.4	30.0
161	35.3	23.7	44.9	13.7
242	50.7	86.4	81.0	6.4
233	-3.9	79.2	93.2	7.1
146	-37.4	12.2	87.9	40.5
85	-41.8	-34.7	78.4	61.9

→ 図③

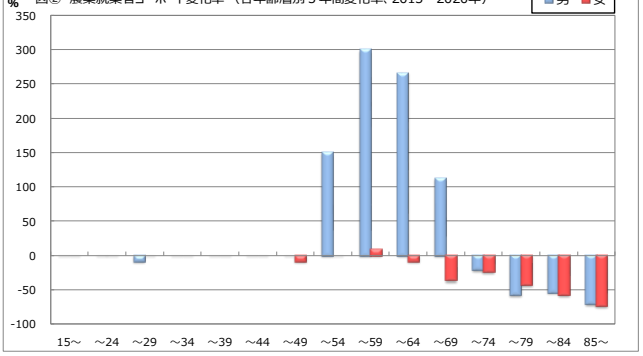
備考欄

・30年後の対2020年比は
就業者総数：　65.33　%　※90%以上が望ましい

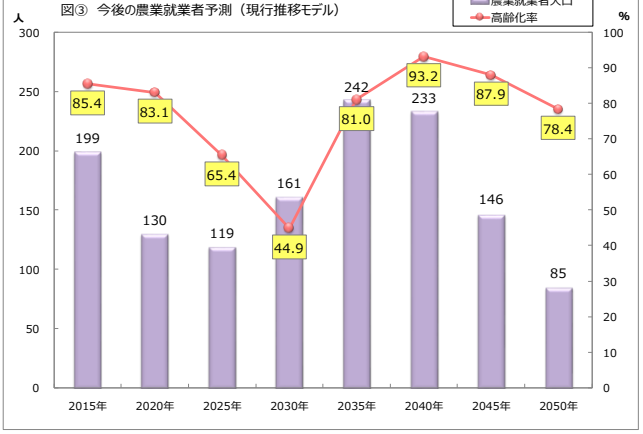
図① 農業就業者コーホート変化数（各年齢層別５年間変化数、2015～2020年）



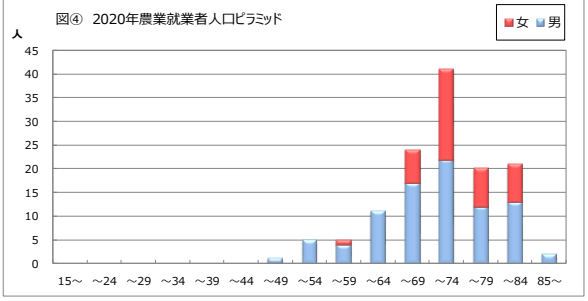
図② 農業就業者コーホート変化率（各年齢層別５年間変化率、2015～2020年）



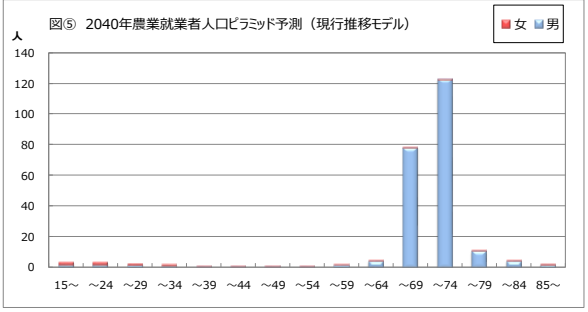
図③ 今後の農業就業者予測（現行推移モデル）



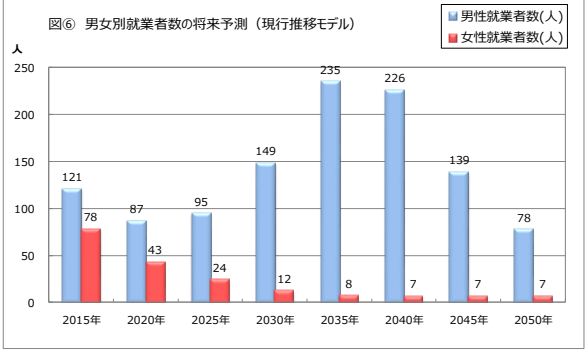
図④ 2020年農業就業者人口ピラミッド



図⑤ 2040年農業就業者人口ピラミッド予測（現行推移モデル）



図⑥ 男女別就業者数の将来予測（現行推移モデル）



令和5年度
持続可能な地区別まちづくり支援事業　地区別まちづくり住民ワークショップ
令和5（2024）年3月
編集・発行　上越市創造行政研究所
〒943-0804 新潟県上越市新光町 1-8-11（上越保健センター2 階）
TEL: 025-526-3490 E-mail:souzou@city.joetsu.lg.jp
URL:http://www.city.joetsu.niigata/jp /site/souzou-gyosei/